資料１

2024年度 神戸市子ども・子育て支援事業計画
及び神戸市次世代育成支援対策推進行動計画
「神戸っ子すこやかプラン2024」の検証について

神戸市

もくじ

ページ

1　検証の概要

（１）神戸っ子すこやかプラン 2024 の概要 …… 1

（２）検証の方法 …… 1

2　計画の検証

（１）教育・保育施設の利用状況（2025 年度） …… 2

（２）保育所・認定こども園・小規模保育等定員数・待機児童数の推移 …… 3

（３）市民（保護者）調査結果 …… 4

（４）施設利用者調査結果 …… 13

（５）「子育てしやすく働きやすい職場環境づくり」の状況 …… 56

3　地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について …… 63

4　2024 年度 主な事業進捗状況 …… 65

1　検証の概要

（1）神戸っ子すこやかプラン 2024 の概要

2003 年７月に制定された次世代育成支援対策推進法及び 2012 年８月に制定された子ども・子育て支援法に基づき、2020 年３月に子ども・子育てに関する総合計画として「神戸っ子すこやかプラン 2024」を策定し、子育て支援を総合的に進めている。

（2）検証の方法

本計画は、国の次世代育成支援対策推進法に基づく「行動計画策定指針」及び「教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の整備並びに子ども・子育て支援給付及び地域子ども・子育て支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針」に示されているとおり、各個別事業の進捗状況に加え、個別事業を束ねた施策や計画全体の成果について利用者側の視点に立った点検・評価を行うため、市民（保護者）調査、施設利用者調査を実施し、PDCA サイクルに基づいて、毎年度「神戸市子ども・子育て会議」において検証する。

〈検証資料〉

①　教育・保育施設の利用状況

「住民基本台帳に基づく人口(町丁目別・年齢別)」(2025 年４月１日現在）の０～５歳の人口に占める、保育所、認定こども園、幼稚園、小規模保育、事業所内保育、家庭的保育を利用する児童数の割合を調査することで各種施設等の利用状況を把握するとともに、待機児童と上記施設等の定員の状況を確認する。

②「神戸っ子すこやかプラン 2024」検証アンケート

・市民（保護者）調査

３歳児健診を受診する児童の保護者を対象に、個別事業・施策の「認知度、利用度、満足度」を調査

・施設利用者調査

施設利用者を対象に、各施設・施策の「満足度」を調査

〔実施施設〕

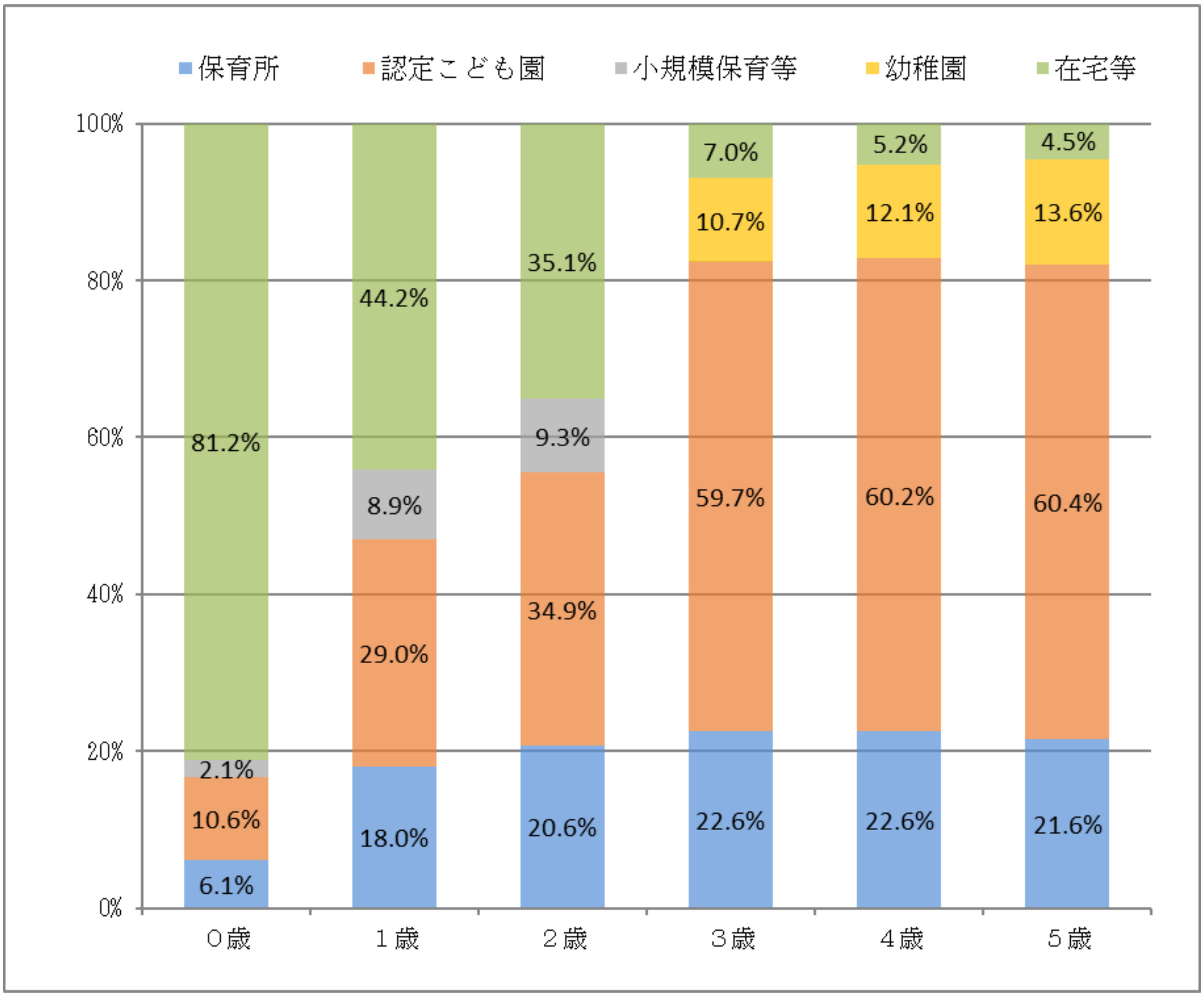
保育所、認定こども園、幼稚園、児童館、大学と連携した子育てひろば、学童保育、一時保育、子育てリフレッシュステイ、病児保育、ファミリー･サポート･センター、小規模保育、事業所内保育、家庭的保育、おやこふらっとひろば

③「子育てしやすく働きやすい職場環境づくり」の状況

関係機関が行う取組をまとめ、市内企業の利用状況等を確認する。

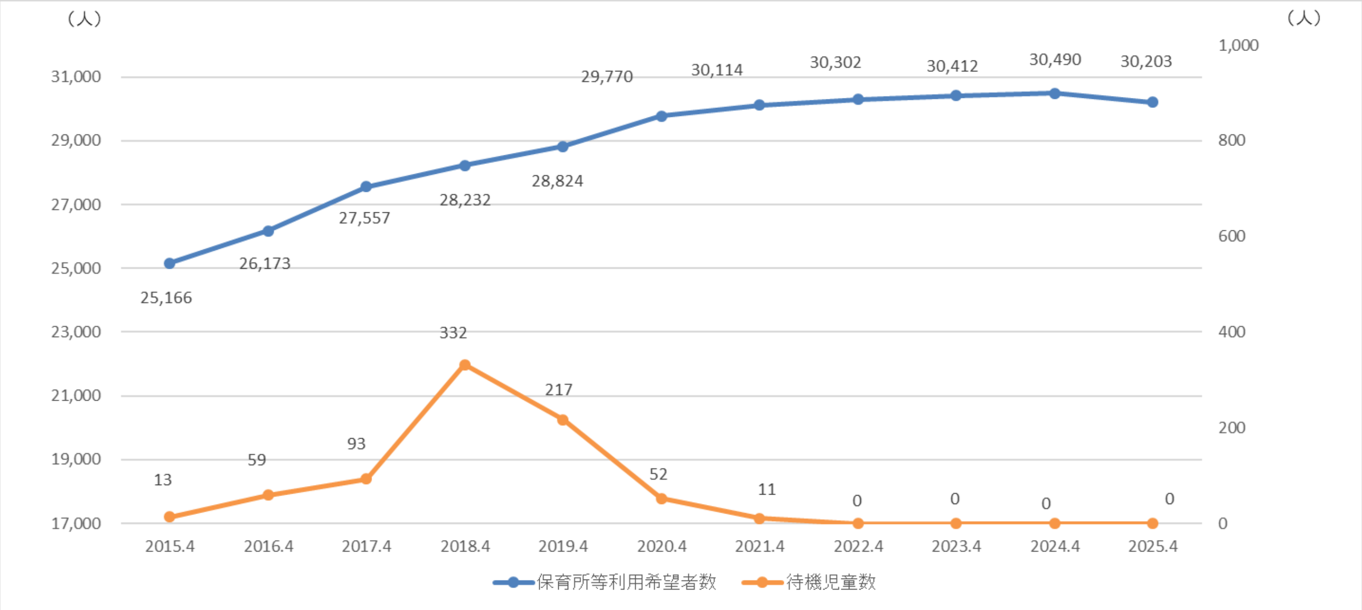
２　計画の検証

（１）教育・保育施設の利用状況（2025 年度）



就学前児童（０～５歳児）の教育・保育施設の利用状況を見てみると、０歳児は 81.2%、１～２歳児では約 35%～45%と在宅での育児比率が高い。３～５歳児は 90%以上が幼稚園・認定こども園・保育所等へ入所している状況である。

（２） 保育所等利用希望者数・待機児童数の推移



保育所等利用希望者数と待機児童数の推移をみると、女性の就労機会の増加などを背景に保育所等の利用希望者数が増加し､2018 年４月は 332 人､2019 年４月の待機児童は 217 人という結果となっていた。これまで、毎年度、保育所等利用定員の拡大に取り組み、2019 年度約 1,400 人、2020 年度約 900 人、2021 年度約 600 人分を拡大したことにより、2022 年４月には待機児童数ゼロを達成した。以降４年連続で待機児童ゼロを維持し、地域毎の保育ニーズに対応した受け入れ枠を確保している。

引き続き、地域毎の保育ニーズをきめ細かく把握し、多様な保育ニーズへの対応や、保育人材の確保対策などに努めていく。

（３）市民（保護者）調査結果

１　調査概要

・2025 年８月に３歳児健診を受診する児童の保護者に対し、問診票に調査票を同送し、健診の場で回収

・回収数 358／配布数 630（回収率 56.8%）

２　回答者の基本情報

・母親の回答が大半であり、回答者全体の年代は 30 代が７割弱、40 代が２割、20 代が１割弱となっている。

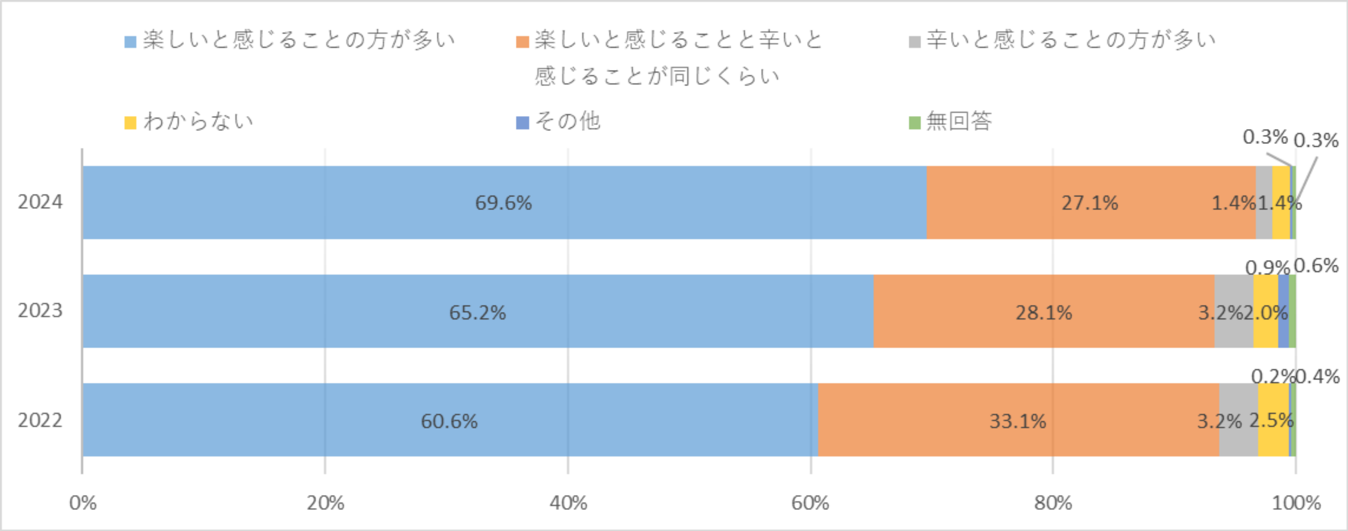
・お子さんの数は、２人が５割強、１人が３割弱、３人以上が２割弱となっている。

・近居親族がいる方が７割弱、近居親族がいない方が２割強となっている。

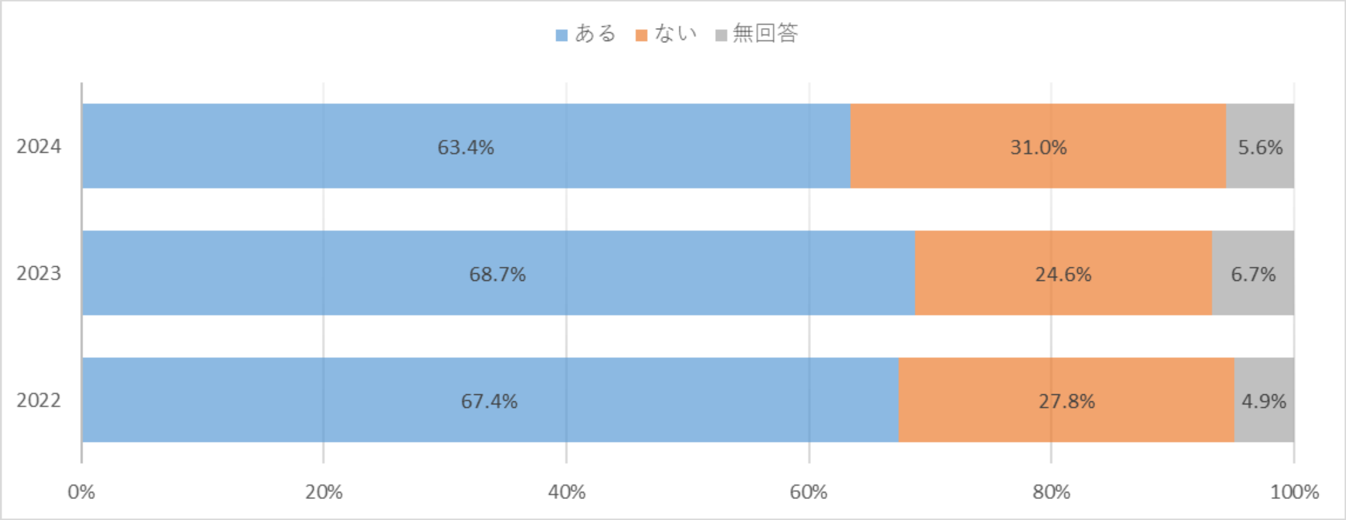
・３歳児健診を受診したこどものうち、７割弱が保育所や幼稚園などのいずれかの施設に入所（園）しており、３割弱が在宅育児をされている。

３　調査結果

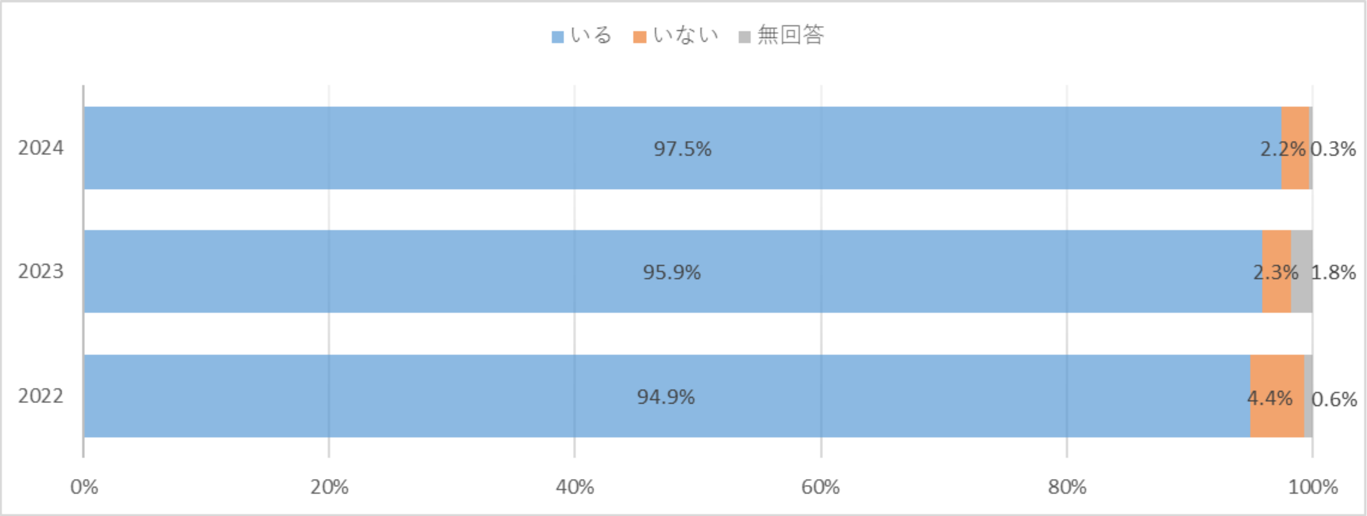
（１）子育てを楽しいと感じることが多いかどうか



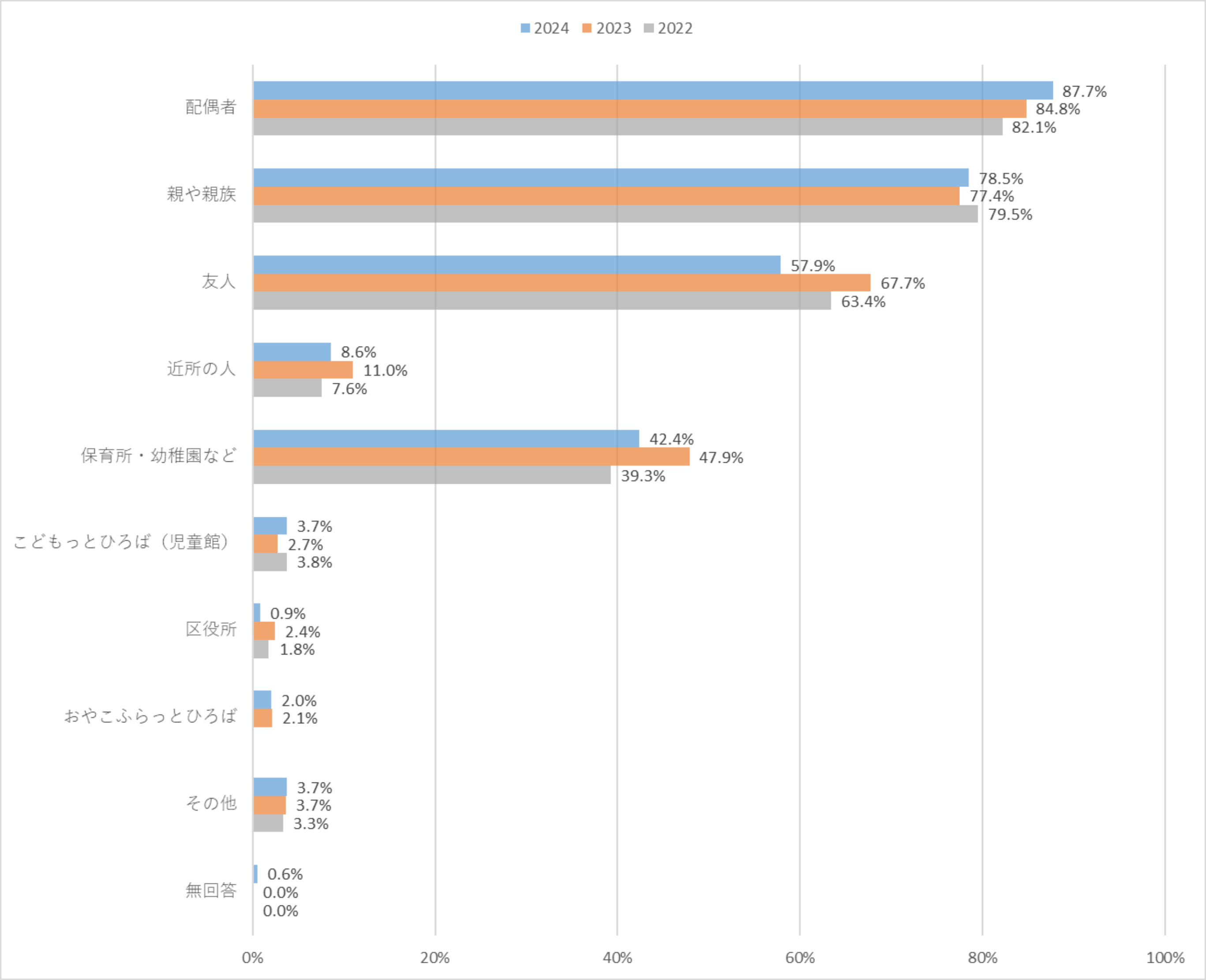
（２）こどもとの外出時に困ること・困ったことがあるか



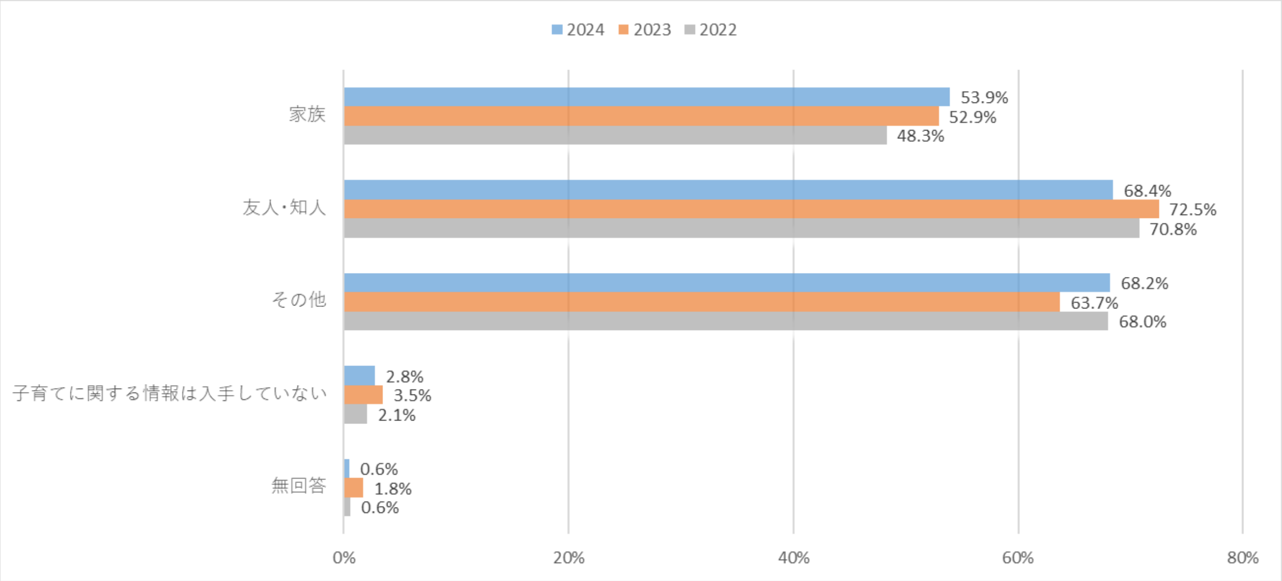
（３）子育てについて気軽に相談できる人がいるか



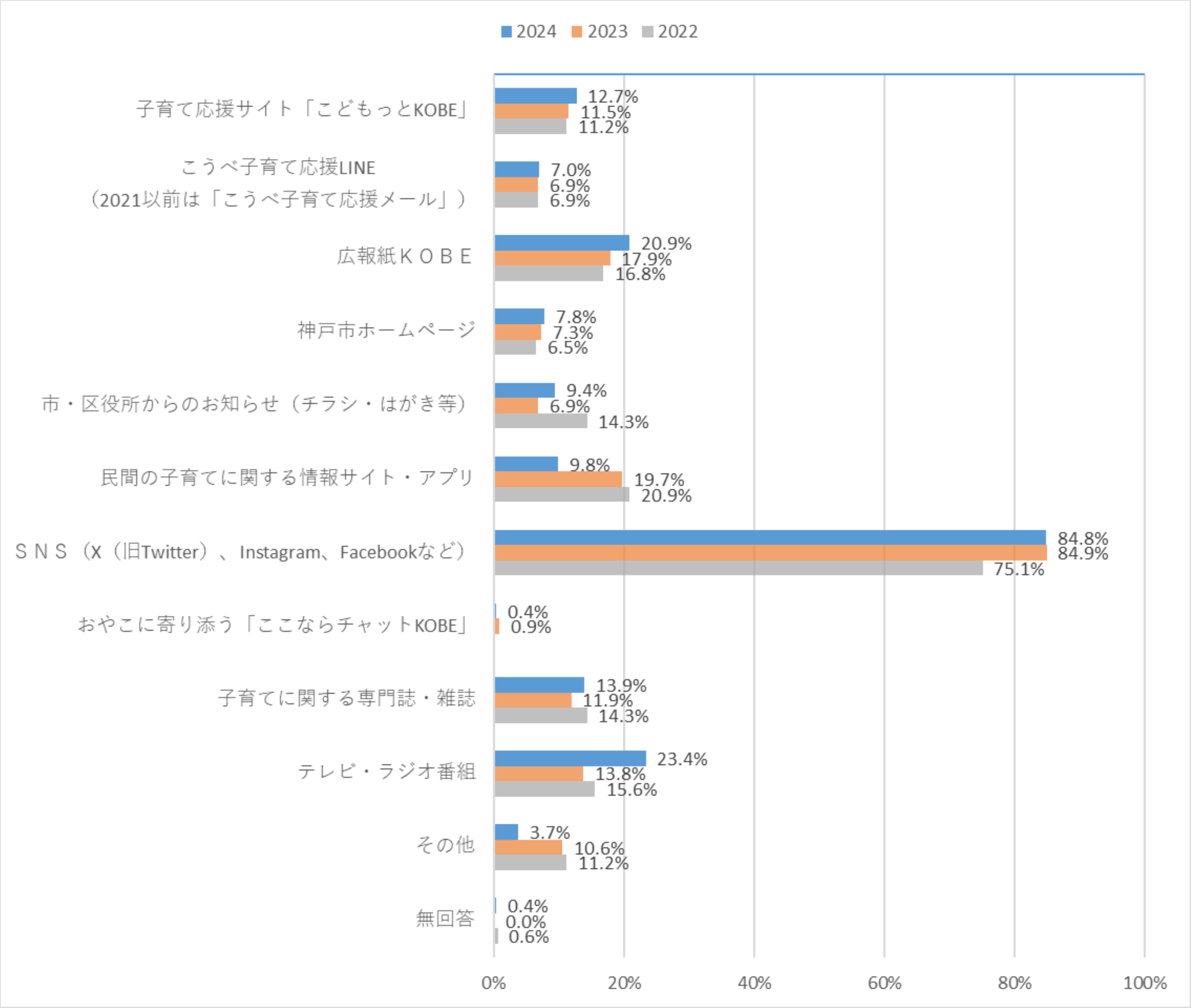
（３―２）「いる」と答えた方の相談者の割合（複数回答）



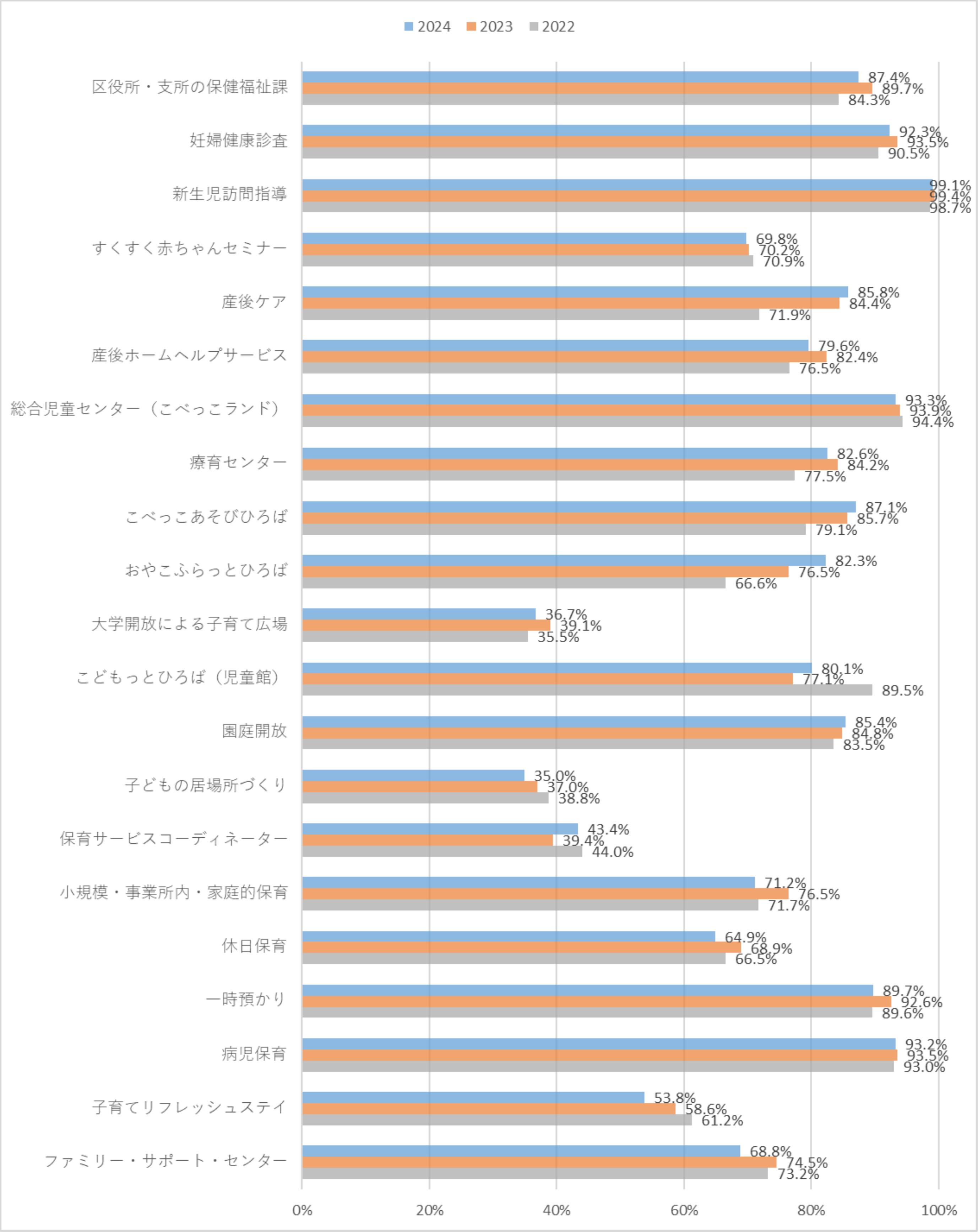
（４）育児に関する情報についてどこから入手しているか（複数回答）



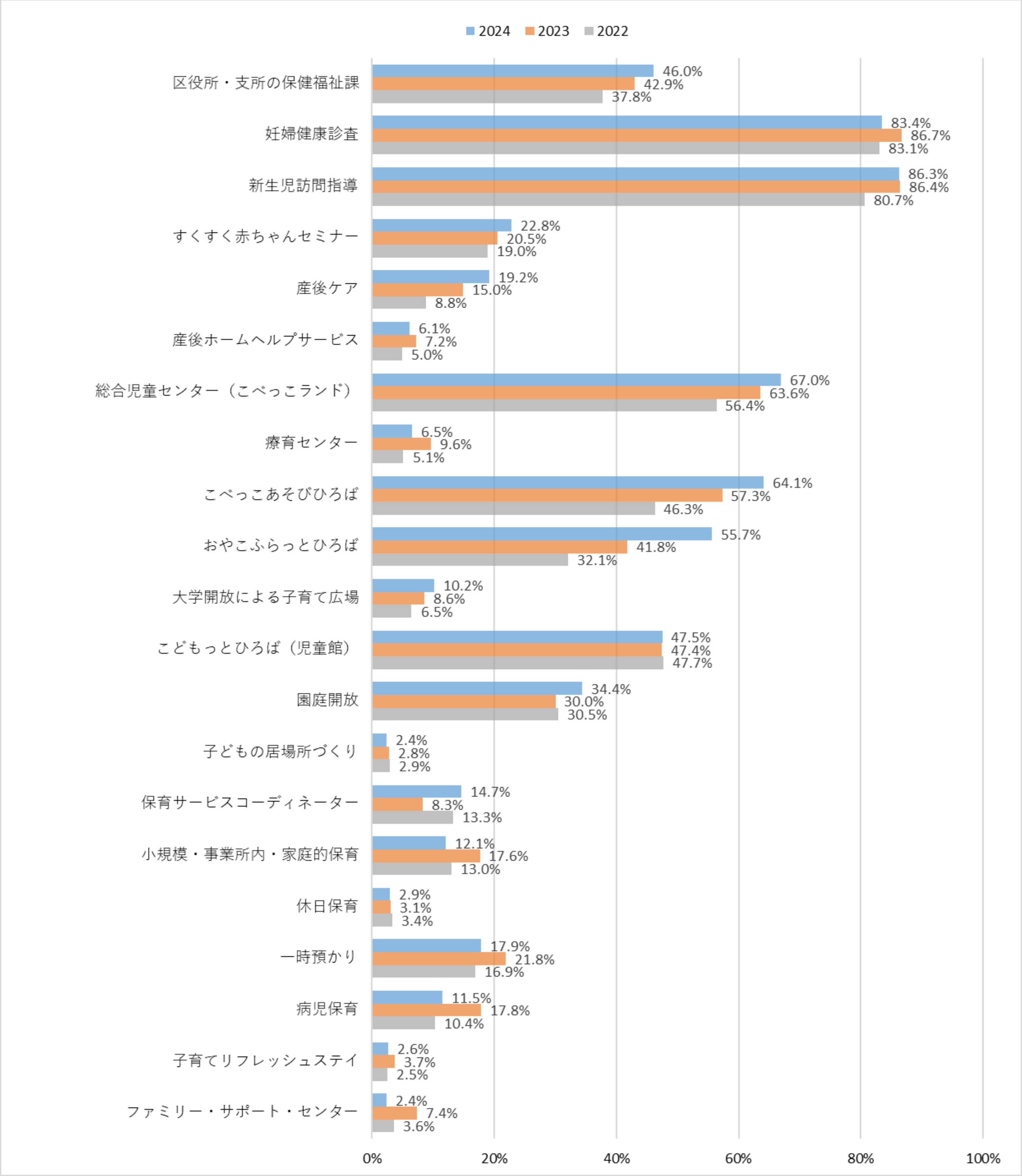
（４－２）「その他」と回答した人のうち、育児に関する情報の主な入手先（複数回答）



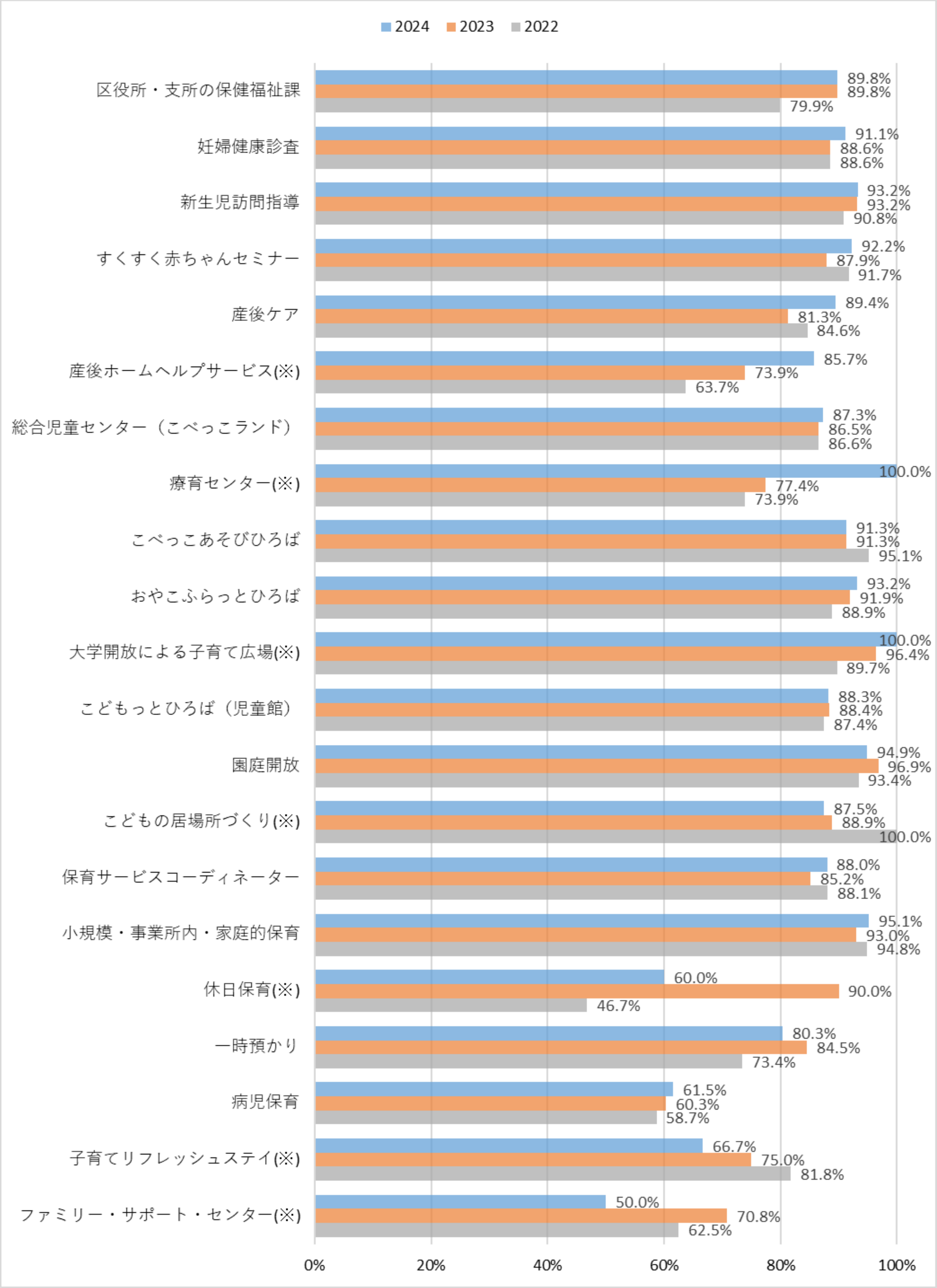
（５）各事業における認知度



（６）各事業における利用度

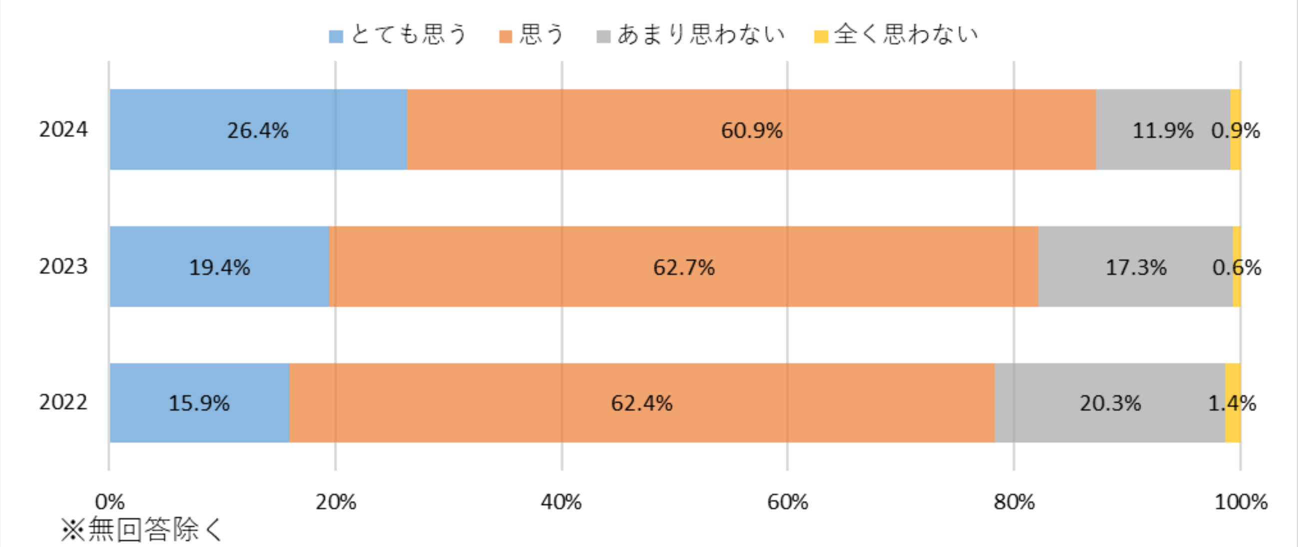


（７）各事業における満足度



（※）産後ホームヘルプサービスは回答数 21、療育センターは回答数 22、大学開放による子育て広場は回答数 35、こどもの居場所づくり事業は回答数 8、休日保育は回答数 10、子育てリフレッシュステイは回答数 9、ファミリー・サポート・センターは回答数 8 のため、調査結果の取り扱いに留意が必要

（８）神戸で子育てして良かったと思いますか。



※無回答除く

（８－２）「とても思う」「思う」とお答えの方は、具体的にどのようなところがよかったと思いますか
（以下 29 項目のうち３つまで回答）

【生活環境】
(1)海や山などの自然の豊かさ　(2)動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設
(3)こども連れで外出しやすいまち(駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等)
(4)交通の利便性の充実(通勤・通学に便利)
(5)子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援
(6)労働時間の短縮やフレックス制の推進など、就労環境

【結婚・妊娠・出産・子育て期にあたたかい街こうべの実現】
(7)子育てに関する講座の開催　(8)子育てに関する冊子の配布やインターネット等による情報提供
(9)子育てについて気軽に相談できる窓口　(10)健診や新生児訪問等の母子保健事業
(11)HAT 神戸をはじめとする小児救急体制

【経済的支援の推進】
(12)多子世帯・ひとり親世帯等の保育料　(13)こどもに関する医療費

【地域における子育て支援の充実と青少年の健全育成の推進】
(14)保育園・認定こども園や幼稚園の園庭開放　(15)子育てサークルや、保護者同士の交流の場
(16)こどもっとひろば（児童館)、おやこふらっとひろばなど親子で気軽に集い、相談できる場
(17)こどもを預けてリモートワークができるコワーキング施設 ※2023 年度より追加
(18)地域子育て支援センターなどでの子育て支援ネットワーク

【仕事と子育ての両立支援】
(19)保育園・認定こども園・学童保育所などの整備
(20)保育園・認定こども園の保育時間の延長や保育内容
(21)幼稚園の預かり保育、長時間・長期休暇中預かり保育
(22)子育てリフレッシュステイなど、一時的にこどもを預けられる保育サービス
(23)病児の児童を一時的に保育する病児保育

【教育環境の充実】
(24)防災教育や英語教育など特色ある神戸の教育内容
【特に支援が必要なこども・家庭への対応】
(25)児童虐待防止対策 (26)障がい児施策 (27)貧困の連鎖防止に向けた施策
(28)ひとり親家庭等への支援 (29)里親委託などの社会的養育体制の充実

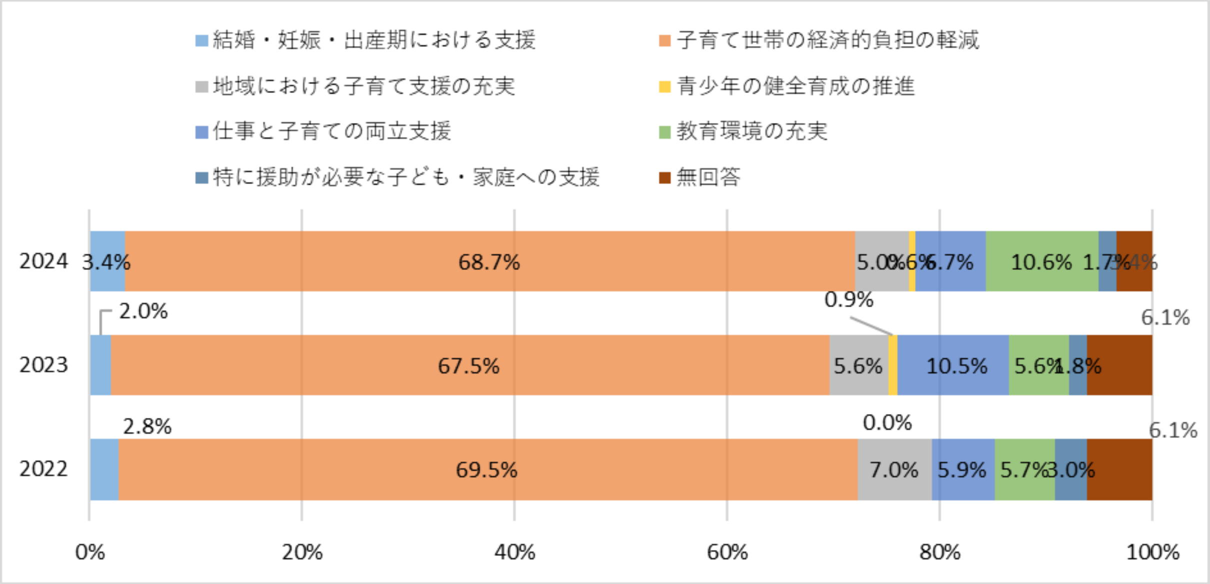
【その他】
(30)その他

順位	2024	2023	2022
1	こべっこランド、こべっこあそびひろば、動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設	こべっこランド、こべっこあそびひろば、動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設	動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設
	58.9%	54.9%	50.9%
2	海や山などの自然の豊かさ	海や山などの自然の豊かさ	海や山などの自然の豊かさ
	37.3%	38.4%	42.4%
3	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利）	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利）	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利）
	26.4%	28.5%	27.3%
4	HAT神戸をはじめとする小児救急体制 保育園・認定こども園・学童保育所などの整備	HAT神戸をはじめとする小児救急体制	HAT神戸をはじめとする小児救急体制
	17.5%	18.3%	21.2%
5	こどもっとひろば（児童館）、おやこふらっとひろばなど親子で気軽に集い、相談できる場	子ども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、駐輪場や地下鉄海岸線の利用料免除等）	子ども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等）
	16.9%	16.9%	17.0%

（８−３）「あまり思わない」「全く思わない」とお答えの方は、具体的にどのようなところがよくないと思いますか（３つまで回答　※選択肢は（８－２）と同じ）

順位	2024	2023	2022
1	子どもに関する医療費	子どもに関する医療費	子どもに関する医療費
	38.6%	35.5%	44.5%
2	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援	労働時間の短縮やフレックス制の推進など、就労環境	子ども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等） 多子世帯・ひとり親世帯の保育料
	14.0%	17.1%	18.0%
3	こべっこランド、こべっこあそびひろば、動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設 子育てリフレッシュステイなど、一時的に子どもを預けられる保育サービス	保育園・認定こども園・学童保育所などの整備	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援
	12.3%	15.8%	17.2%
4	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利） 労働時間の短縮やフレックス制の推進など、就労環境 多子世帯・ひとり親世帯の保育料	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援 多子世帯・ひとり親世帯の保育料	保育園・認定こども園・学童保育所などの整備
	10.5%	14.5%	9.4%
5	保育園・認定こども園・学童保育所などの整備 保育園・認定こども園の保育時間の延長や保育内容	病児の児童を一時的に保育する病児保育	病児の児童を一時的に保育する病児保育
	8.8%	11.8%	8.6%

（９）子育て支援策について、今後神戸市に期待すること



（４）施設利用者調査結果

ページ

①保育所 …… 14

②認定こども園 …… 16

③幼稚園 …… 19

④児童館 …… 22

⑤大学と連携した子育てひろば（※） …… 25

⑥学童保育 …… 28

⑦一時預かり（一時保育含む） …… 35

⑧子育てリフレッシュステイ（※） …… 38

⑨病児保育（※） …… 41

⑩ファミリー・サポート・センター（※） …… 43

⑪小規模保育 …… 46

⑫事業所内保育（※） …… 49

⑬家庭的保育（※） …… 51

⑭おやこふらっとひろば（※） …… 53

(※)回収数が少ないため、調査結果の取り扱いに留意が必要

①保育所

１　調査概要

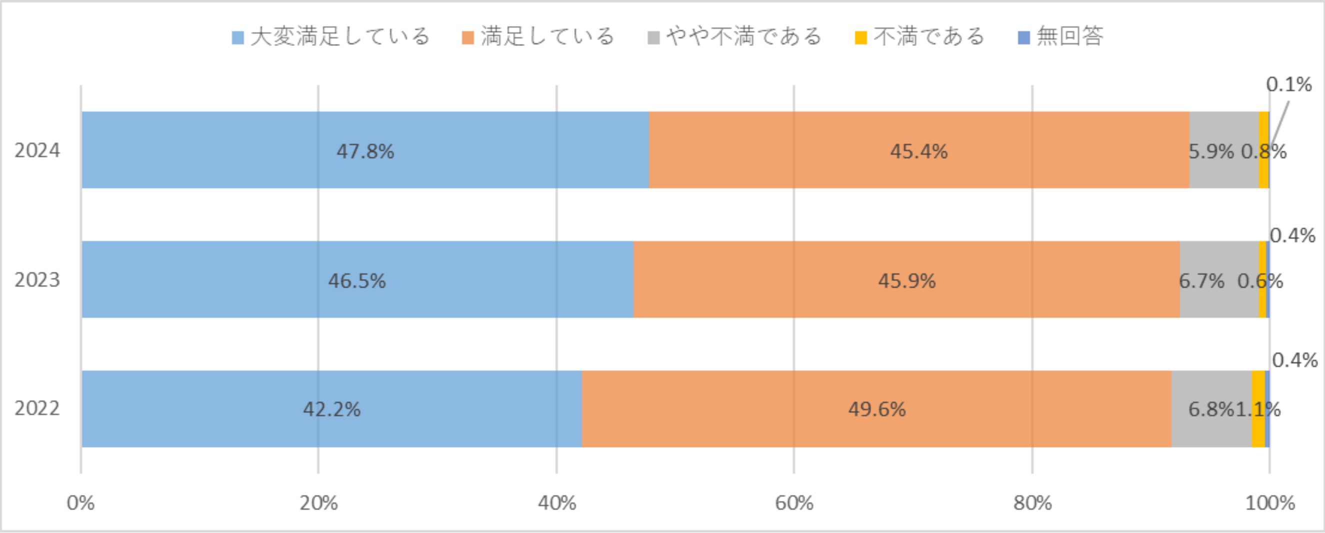
・2025年７月、公立保育所56箇所及び私立保育園71箇所計127箇所を通じて、保育所ごとに各年齢２名ずつ無作為抽出したこどもの保護者を対象に実施
・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
・回収数　894／配布数1,536（回収率58.2%）

２　回答者の基本情報

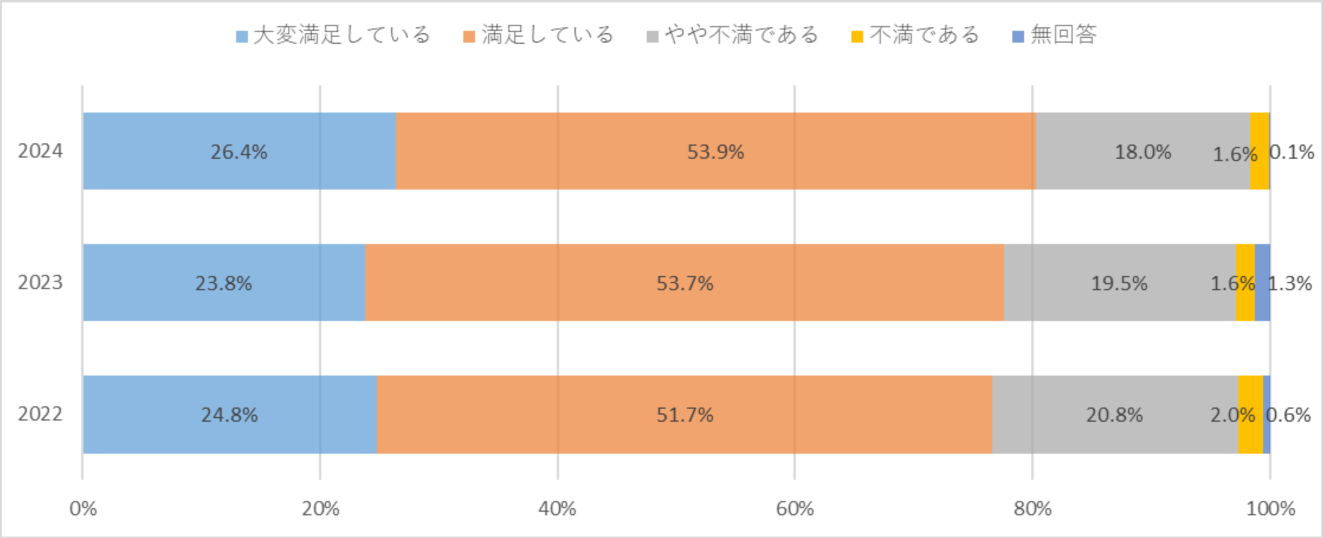
・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が６割、「パート」が３割となっている。

３　調査結果

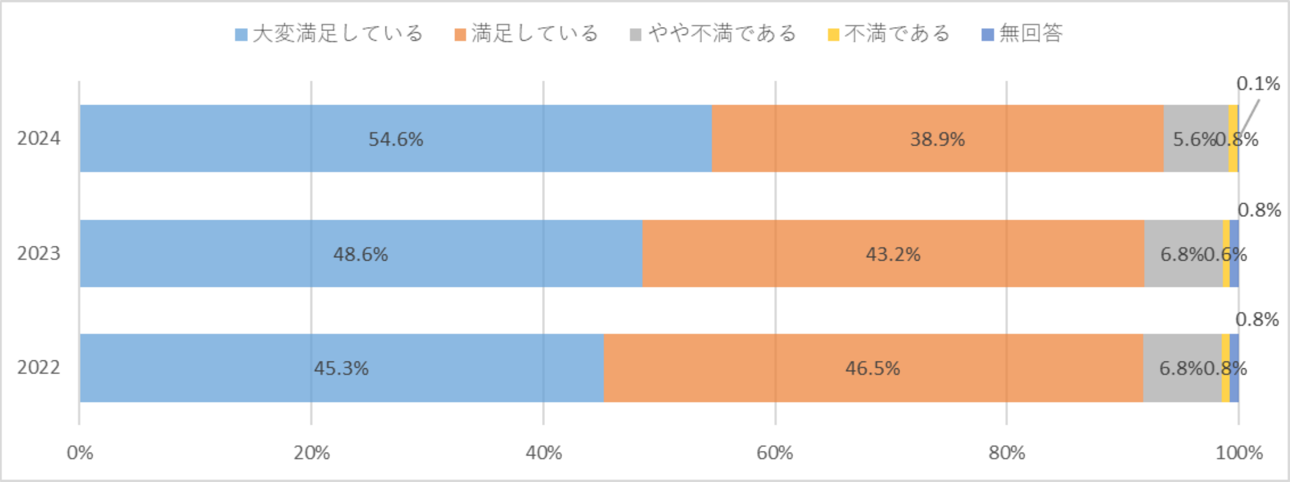
（１）保育内容全般



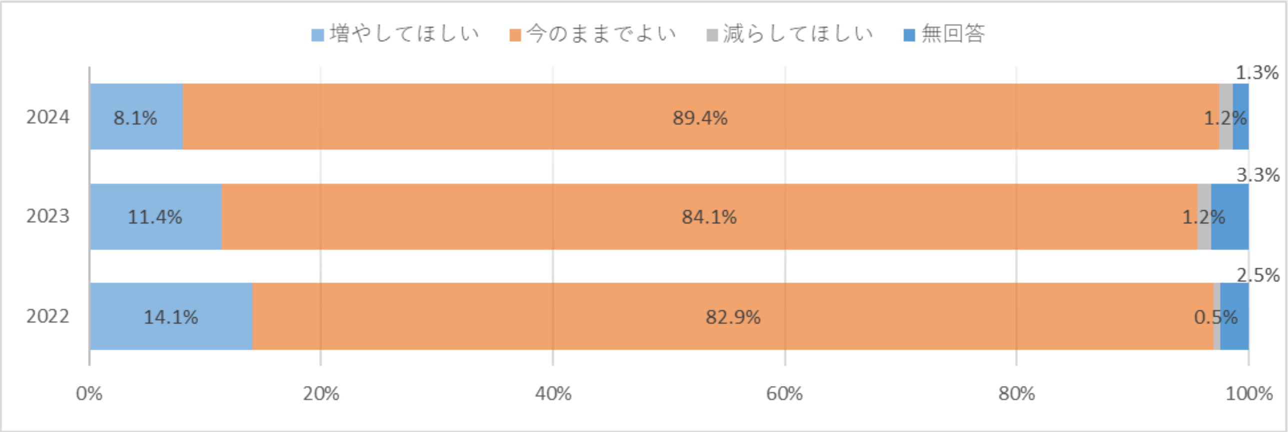
（２）建物や園庭などの施設



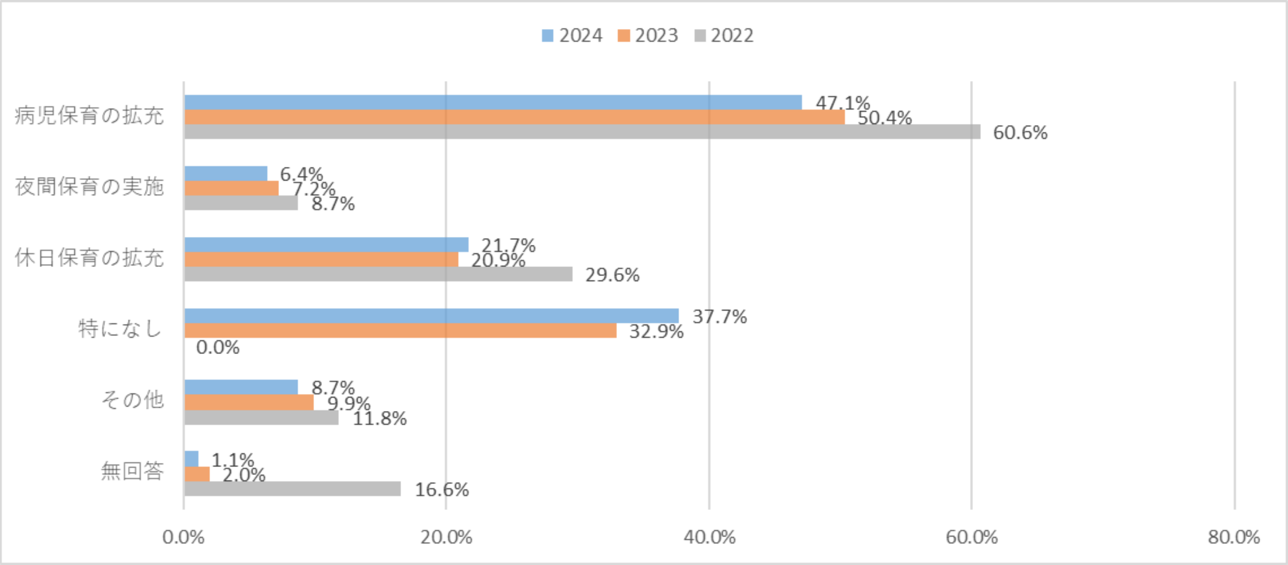
（３）職員の対応



（４）地域の親子との交流（園庭開放など）



（５）特に充実してほしい支援策（複数回答）



※「特になし」の選択肢は、2023 年度より追加

②認定こども園

1　調査方法

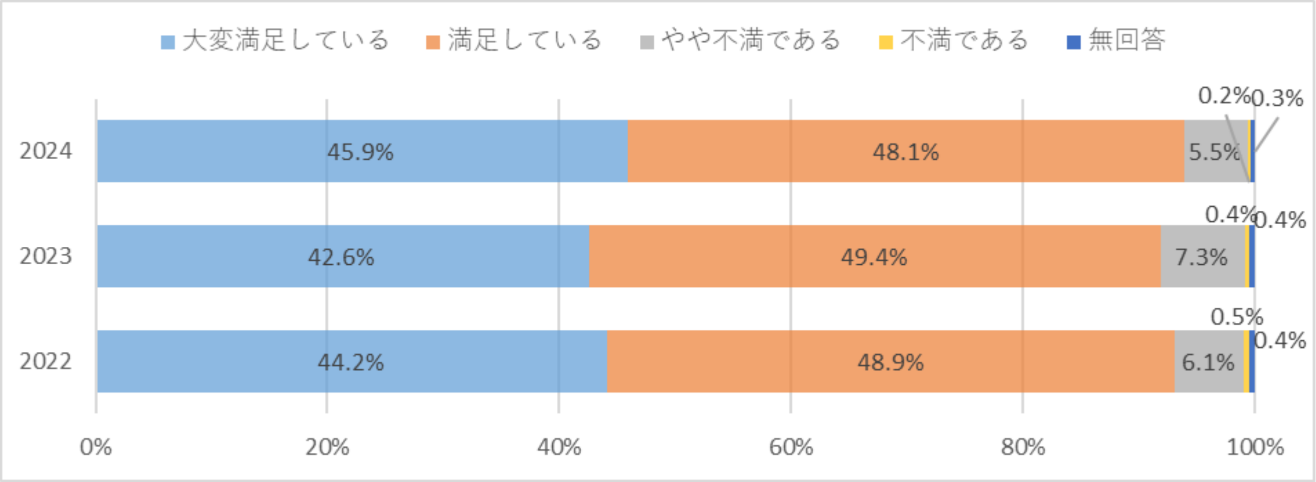
・2025 年７月、幼保連携型認定こども園 174 箇所及び幼稚園型認定こども園 27 箇所計 201 箇所に通うこどもの中から、認定こども園ごとに各年齢２名ずつ無作為抽出し、こどもの保護者を対象に実施
・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集
・回収数 1,315／配布数 2,297（回収率 57.2%）

2　回答者の基本情報

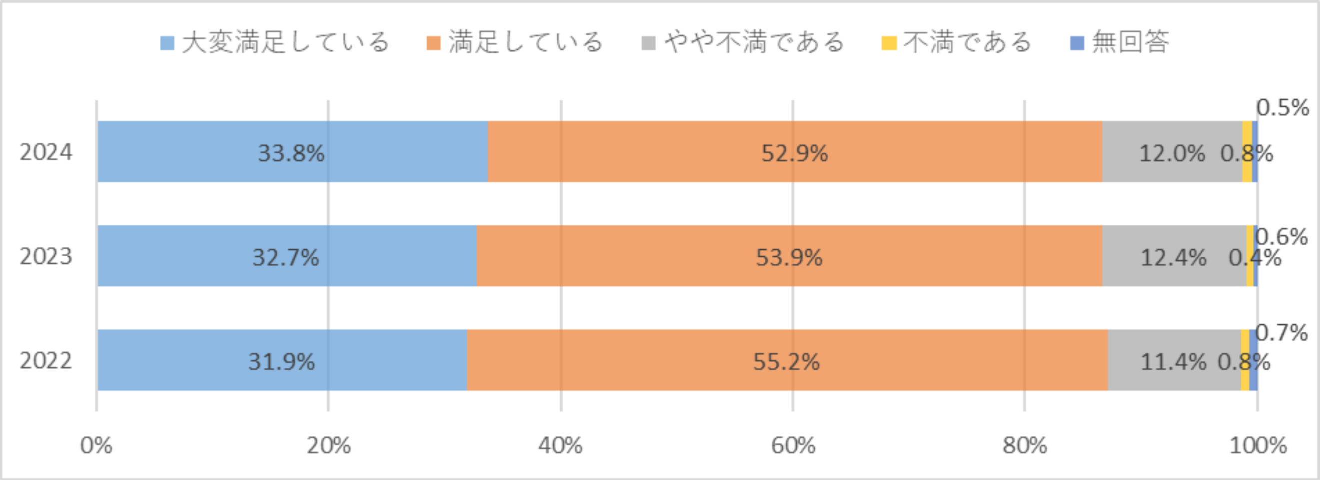
・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が６割弱、「パート」が３割弱となっている。

3　調査結果

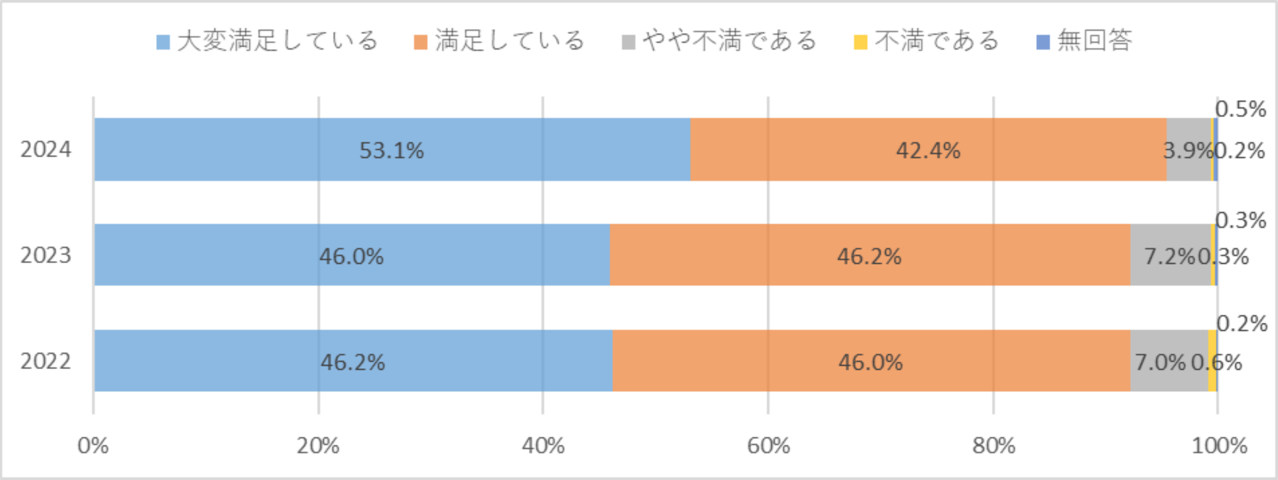
（１）保育内容全般



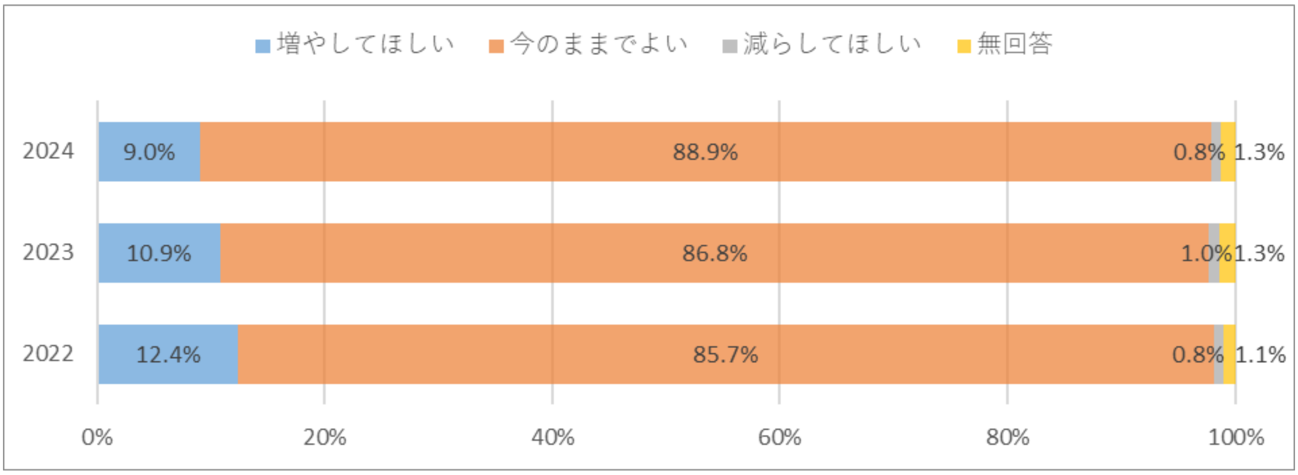
（２）建物や園庭などの施設



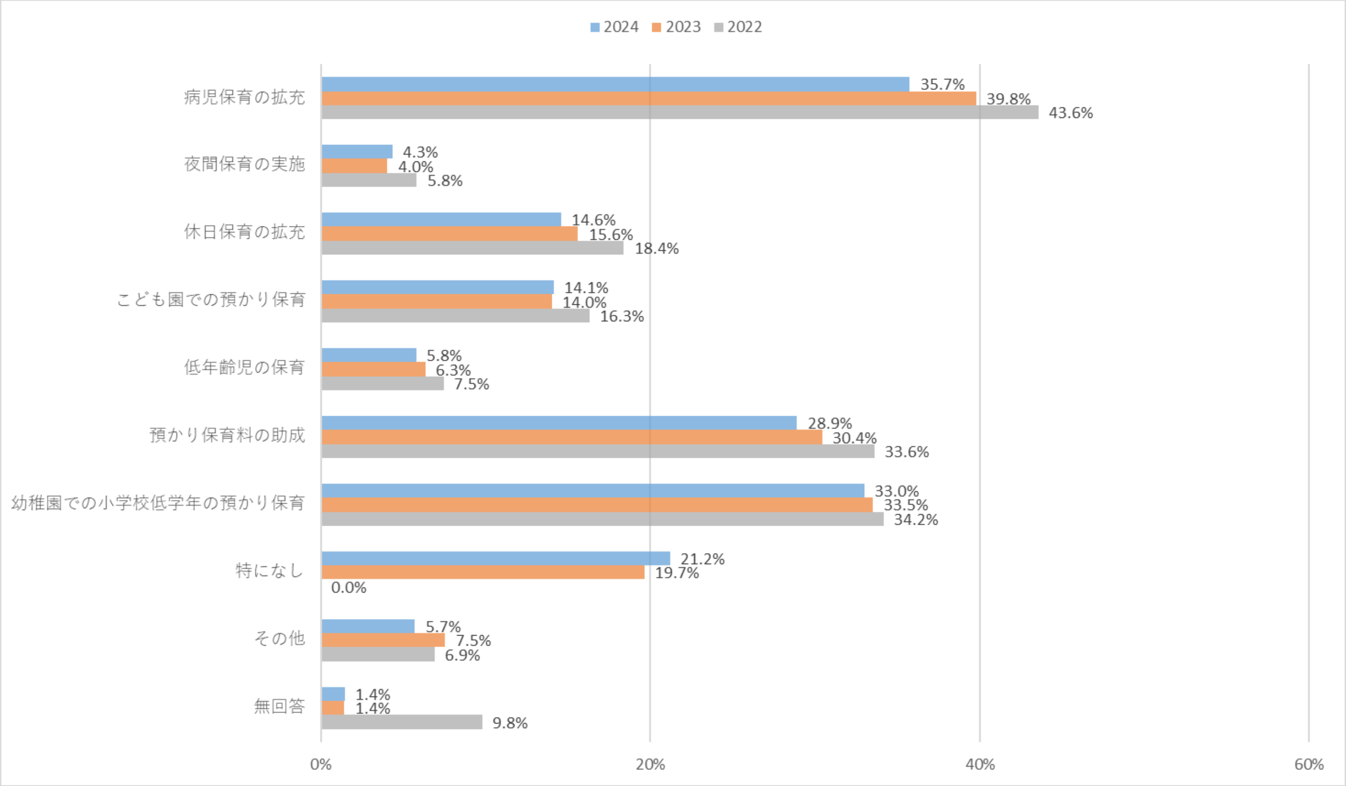
（３）職員の対応



（４）地域の親子との交流（園庭開放など）



（５）今後、充実して欲しい支援策について（複数回答）



※「特になし」の選択肢は、2023 年度より追加。

③幼稚園

1　調査方法

・2025 年 7 月、公立幼稚園 28 箇所及び私立幼稚園 37 箇所計 65 箇所を通じて、幼稚園ごとに、各年齢２名ずつ無作為抽出されたこどもの保護者を対象に実施

・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集

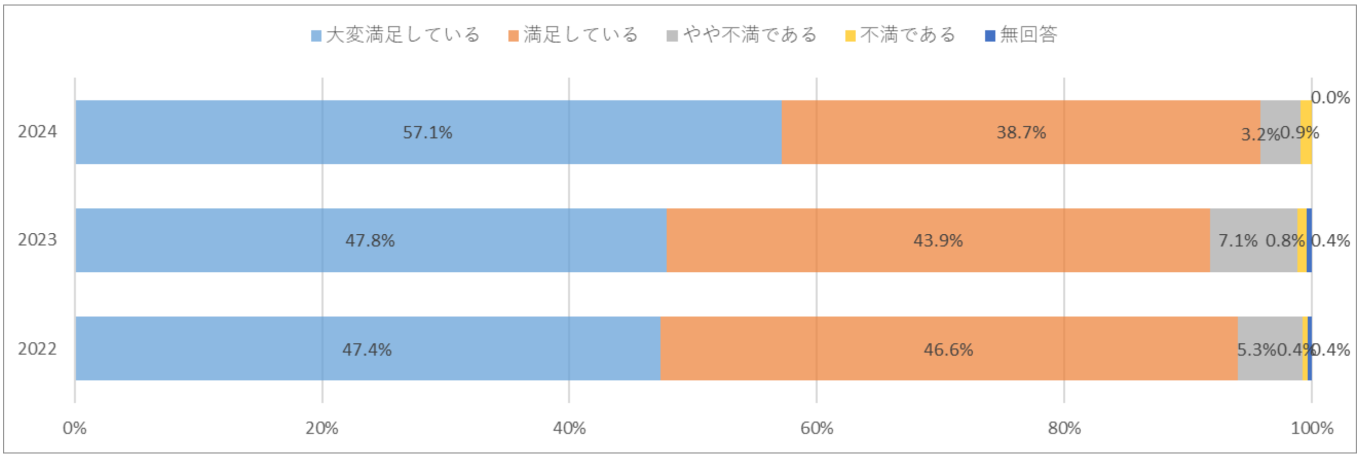
・回収数 217／配布数 325（回収率 66.8%）

2　回答者の基本情報

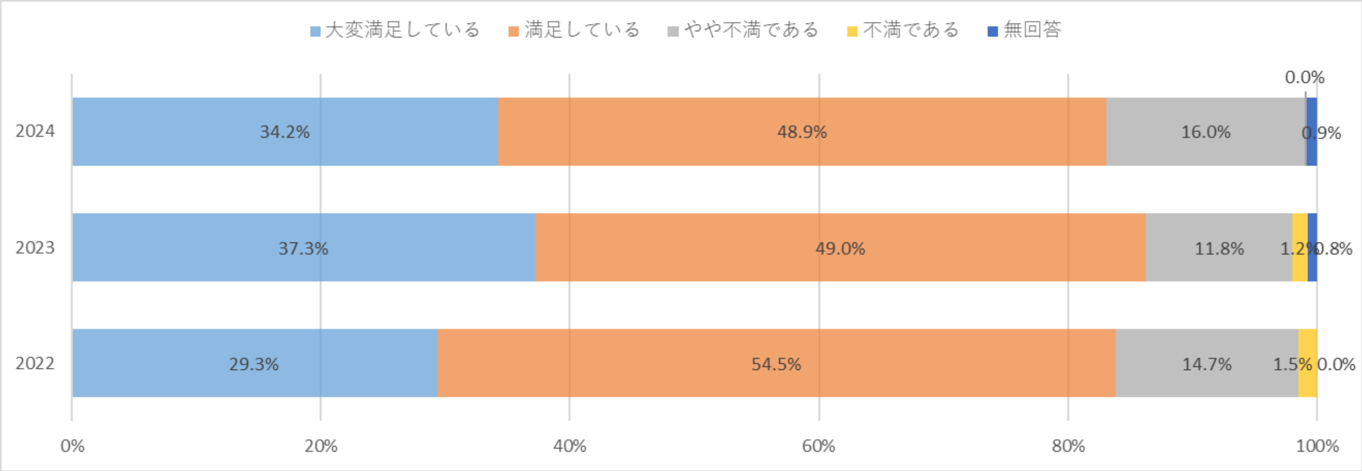
▪ 就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「働いていない」が６割程度、「パート」が３割強となっている。

3　調査結果

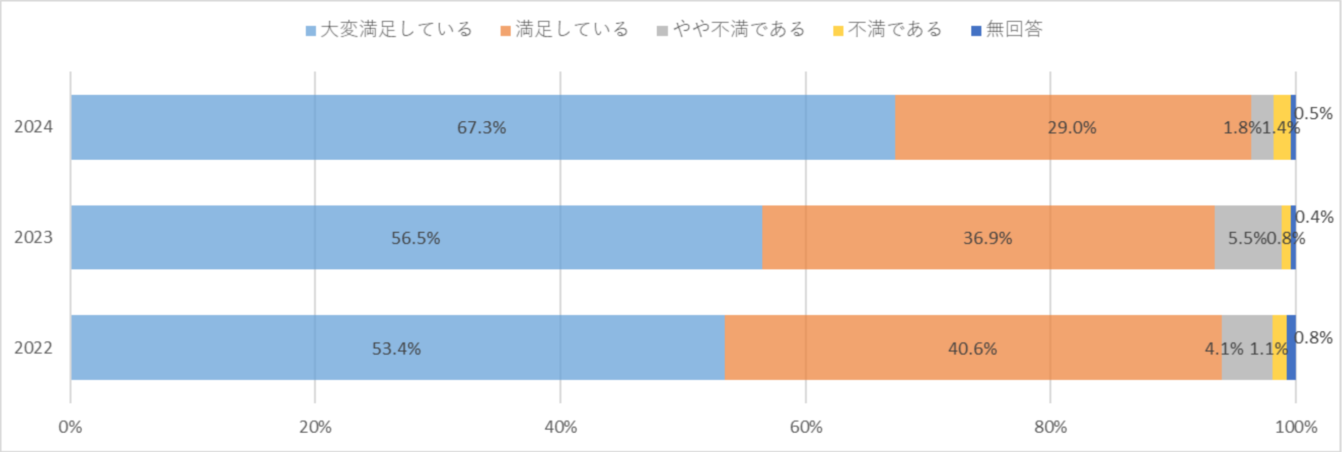
（１）保育内容全般



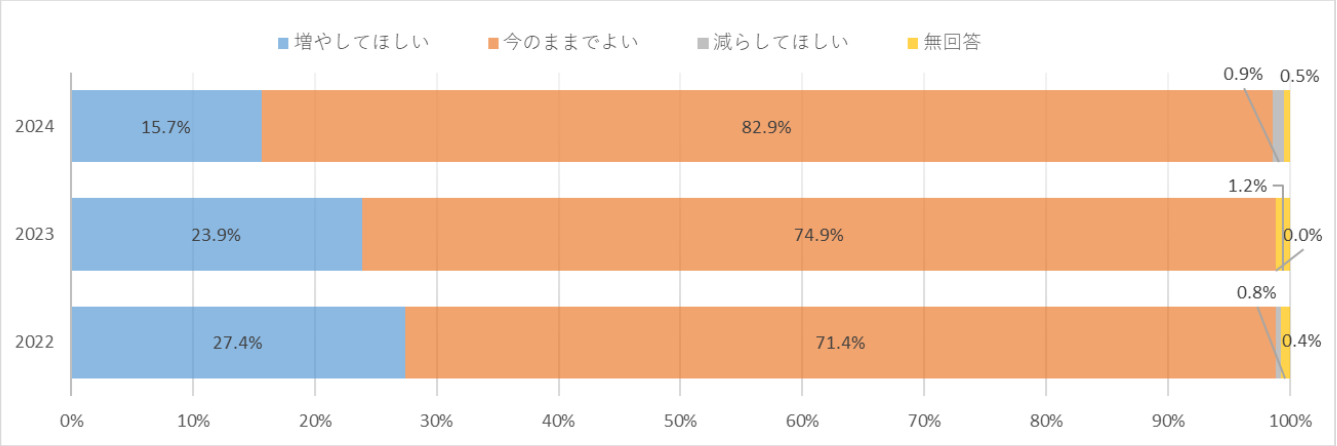
（２）建物や園庭などの施設



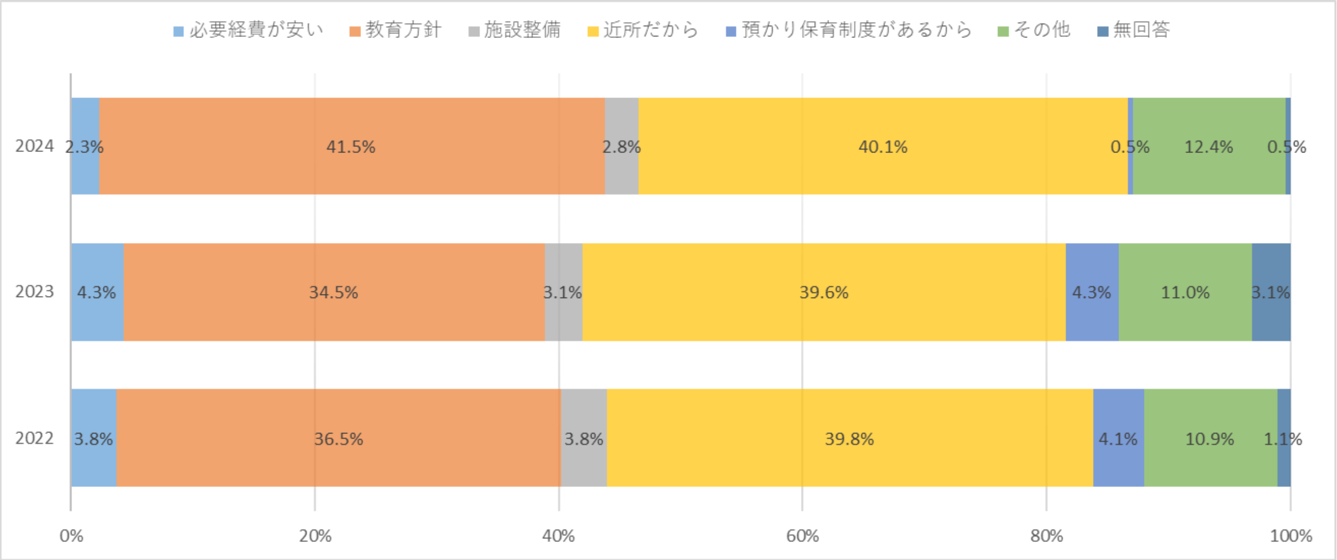
（３）職員の対応



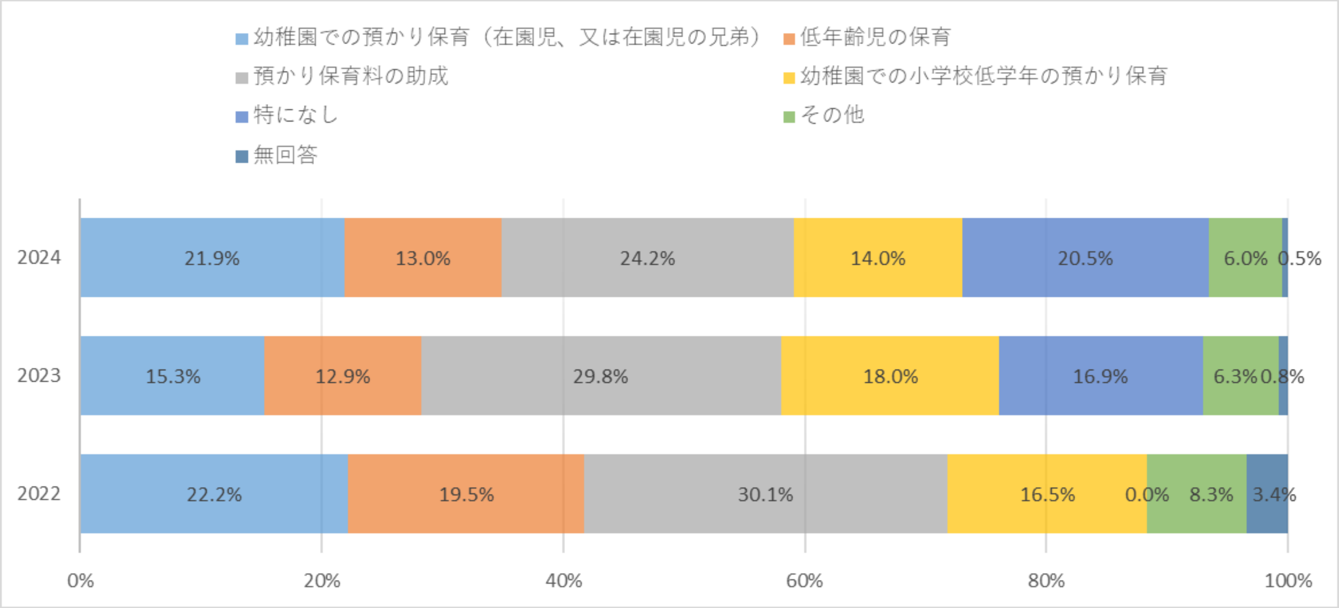
（４）未就園児保育や園庭開放



（５）現在通う園を選択した理由



（６）どのような子育て支援が必要か



※「特になし」の選択肢は、2023 年度より追加。

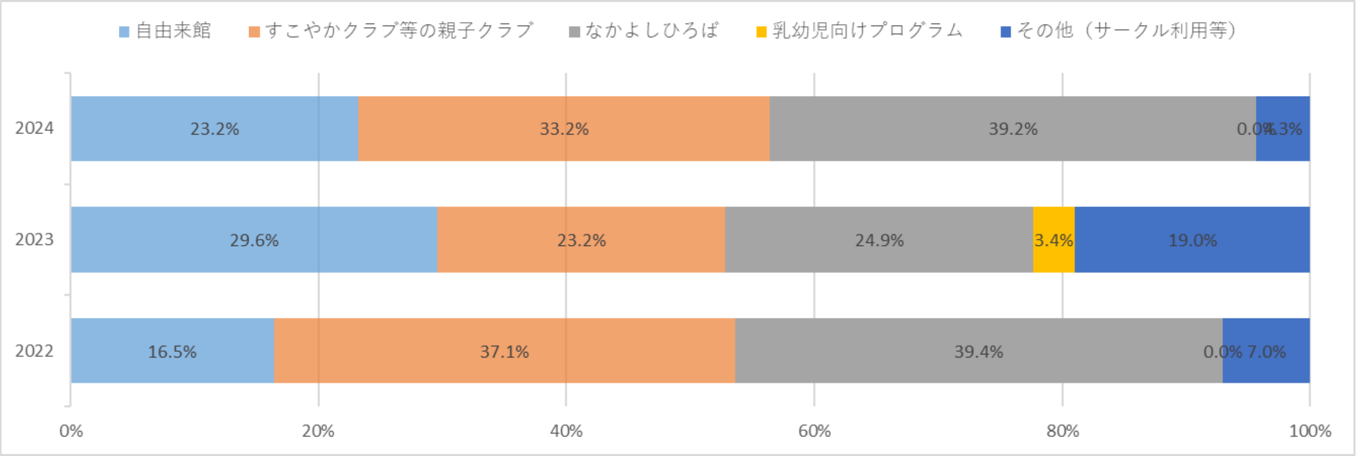
④児童館（午前中）

	【公立児童館 115 ヵ所】	【民設児童館５ヵ所】
１　調査方法	児童館を通じて、利用者に二次元コードを記載した調査票を配布、もしくは利用者にメール等で WEB サイトを案内し、WEB サイトから回答を収集	
２　調査期間	2025 年１月～３月	
３　回収率	回収数 730／配布数‐（回収率‐）	回収７／配布数‐（回収率‐）

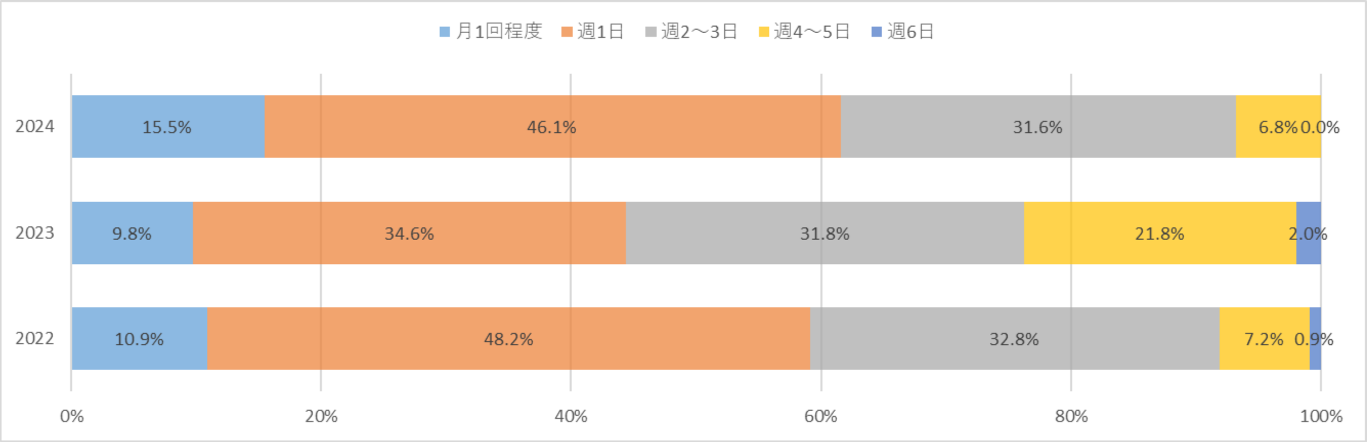
※公立児童館については、「児童館の指定管理者による管理運営状況の評価に関するアンケート」を活用

４　調査結果

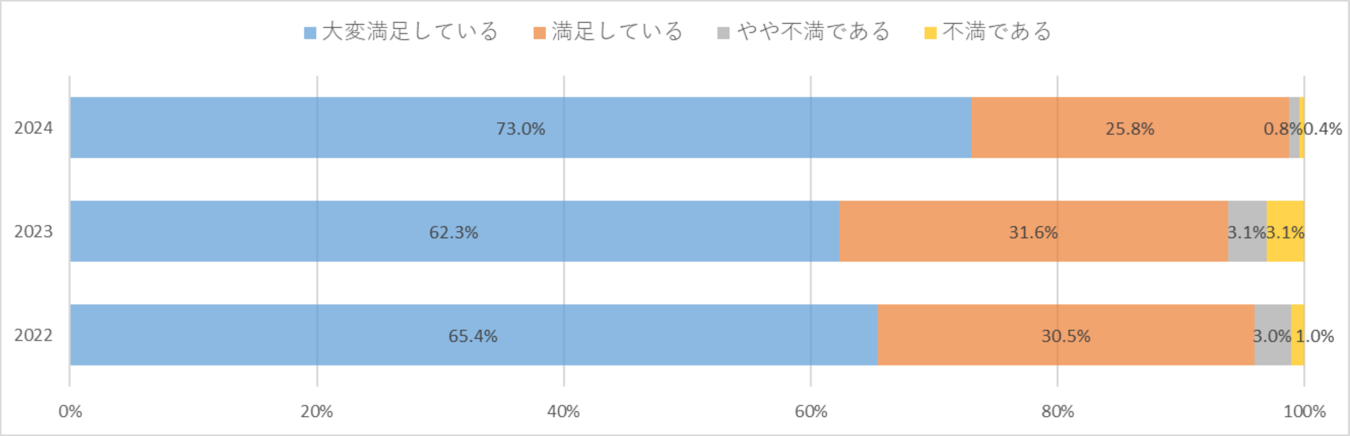
（１）何を利用したか



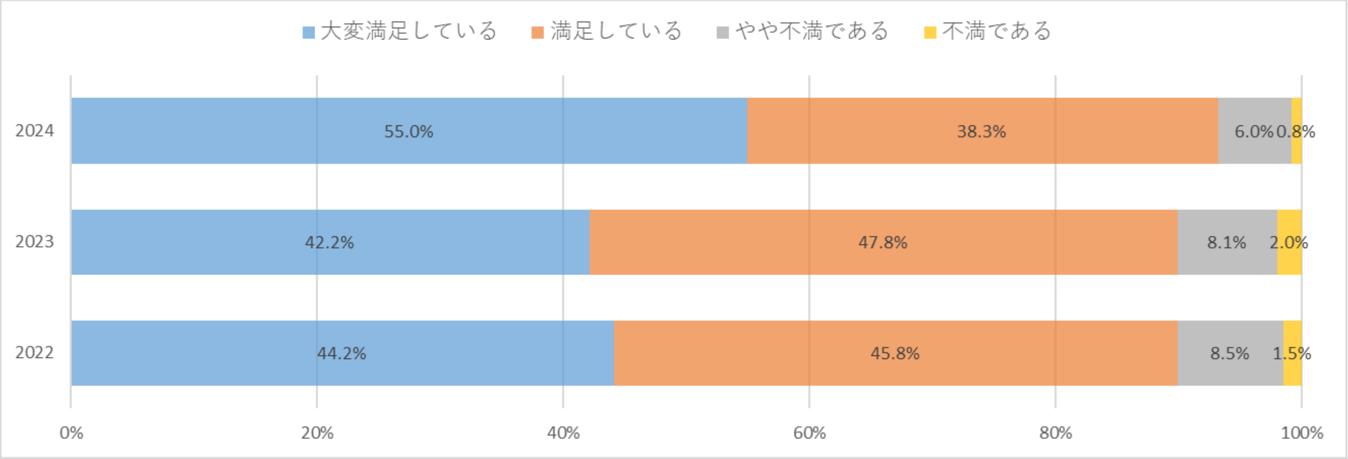
（２）利用の頻度



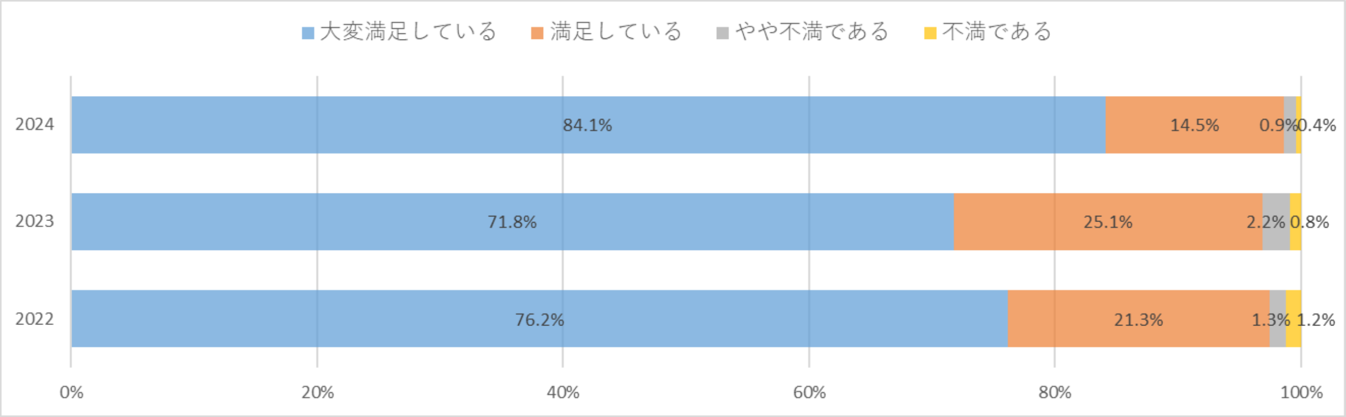
（３）サービス内容



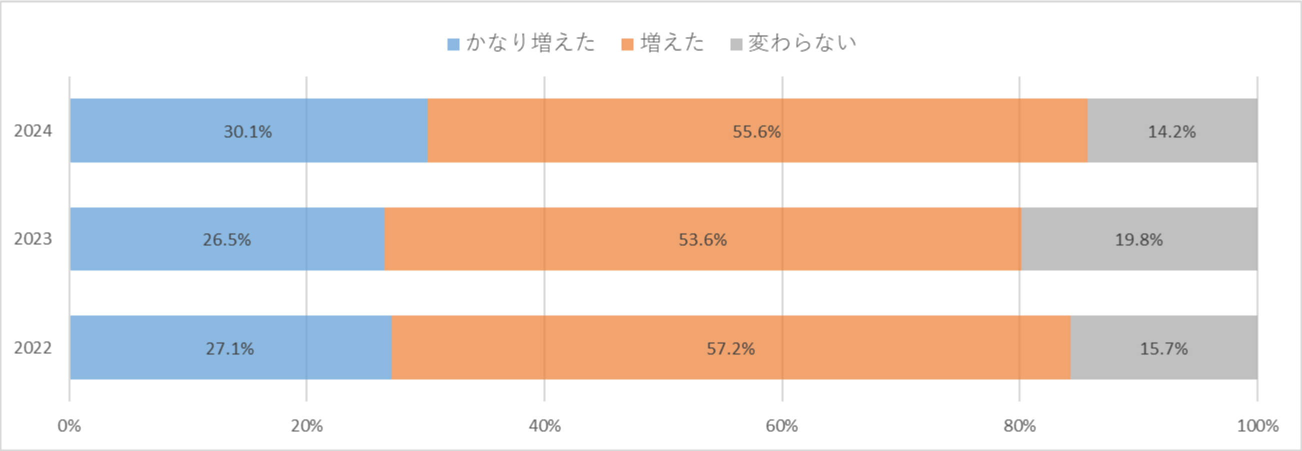
（４）施設



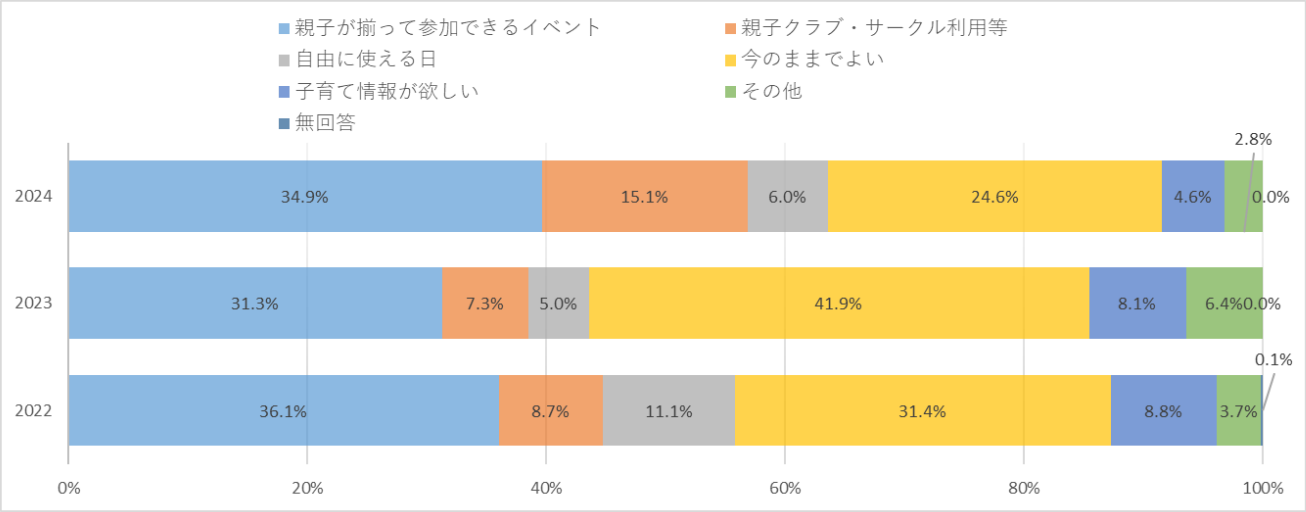
（５）職員の対応



（６）利用により新しい知人が増えたか



（７）児童館で増やしてほしいサービス



⑤大学連携（大学と連携した子育て支援事業）

1　調査概要

・2025 年 7 月、大学と連携した子育て支援事業を実施している施設（8 大学 10 か所）の利用者を対象に実施

・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集

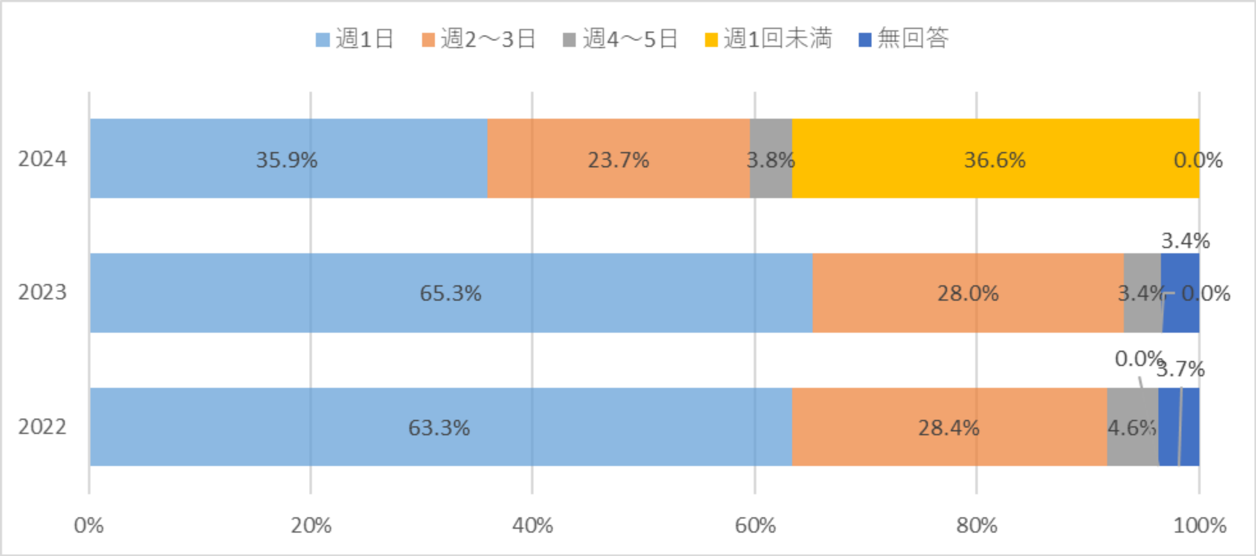
・回収数 131/配布数 244（回収率 53.7%）

2　回答者の基本情報

・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「働いていない」が 6 割弱、「フルタイム」が 3 割強となっている。

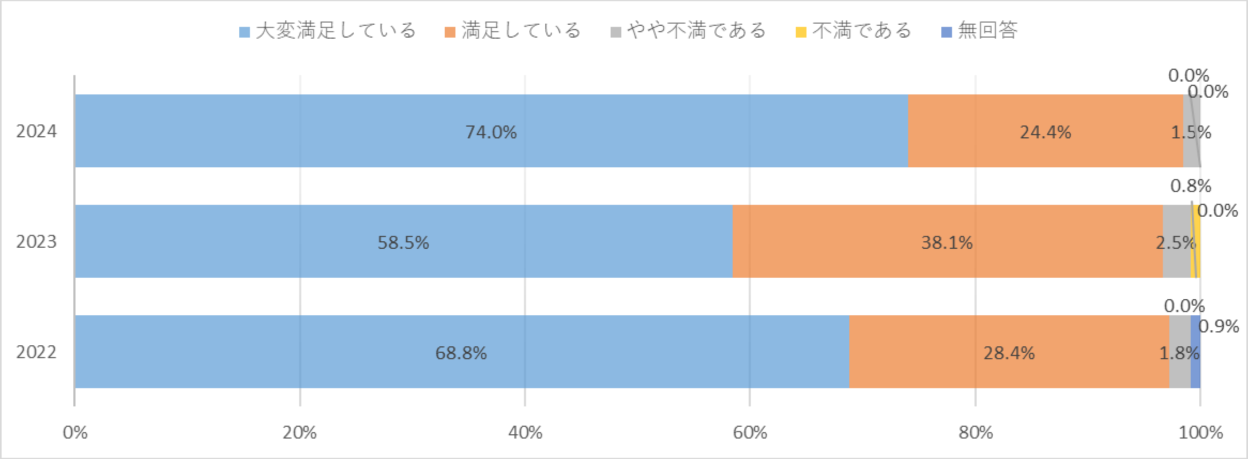
3　調査結果

（1）利用の頻度

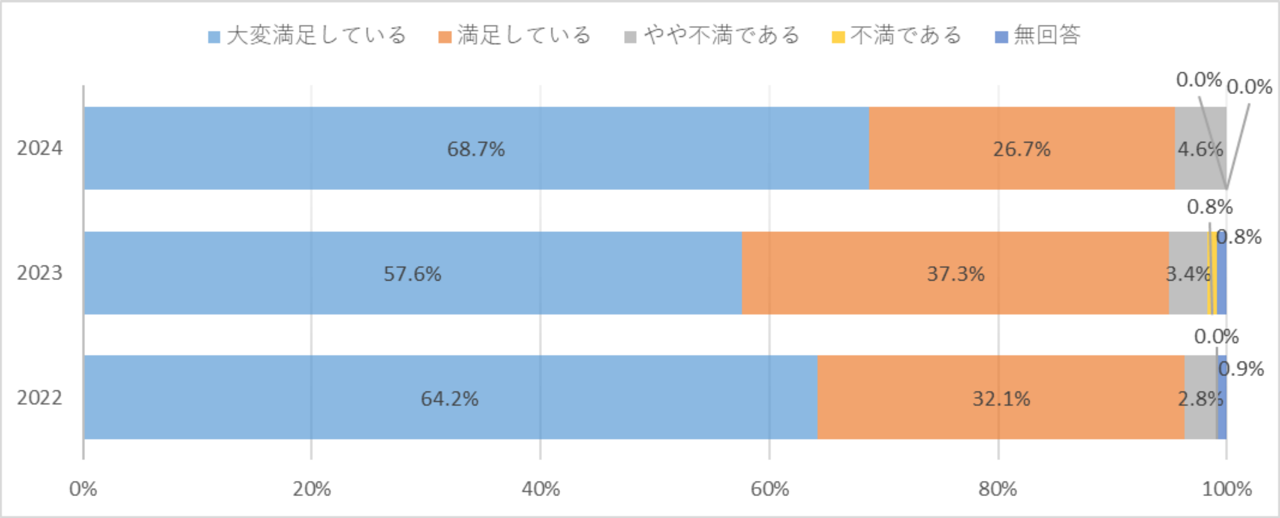


※「週 1 回未満」の選択肢は 2024 年度に追加

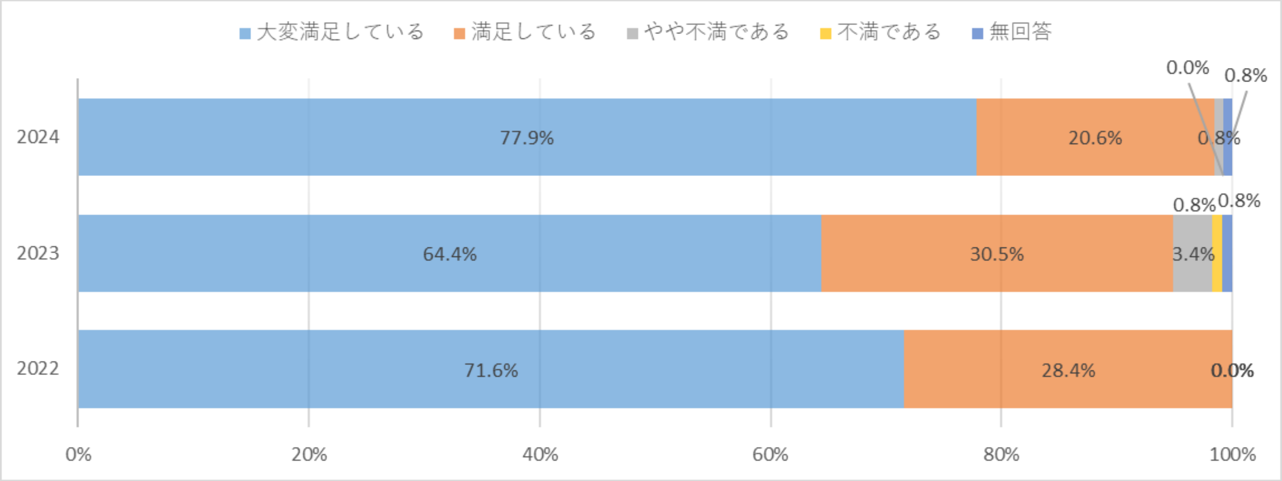
（2）サービス内容



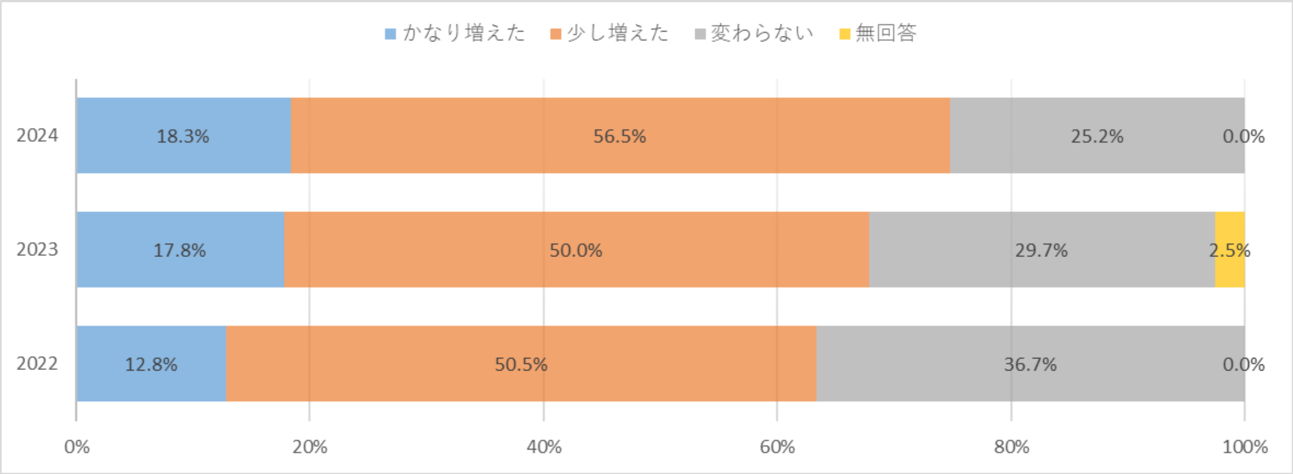
（３）施設



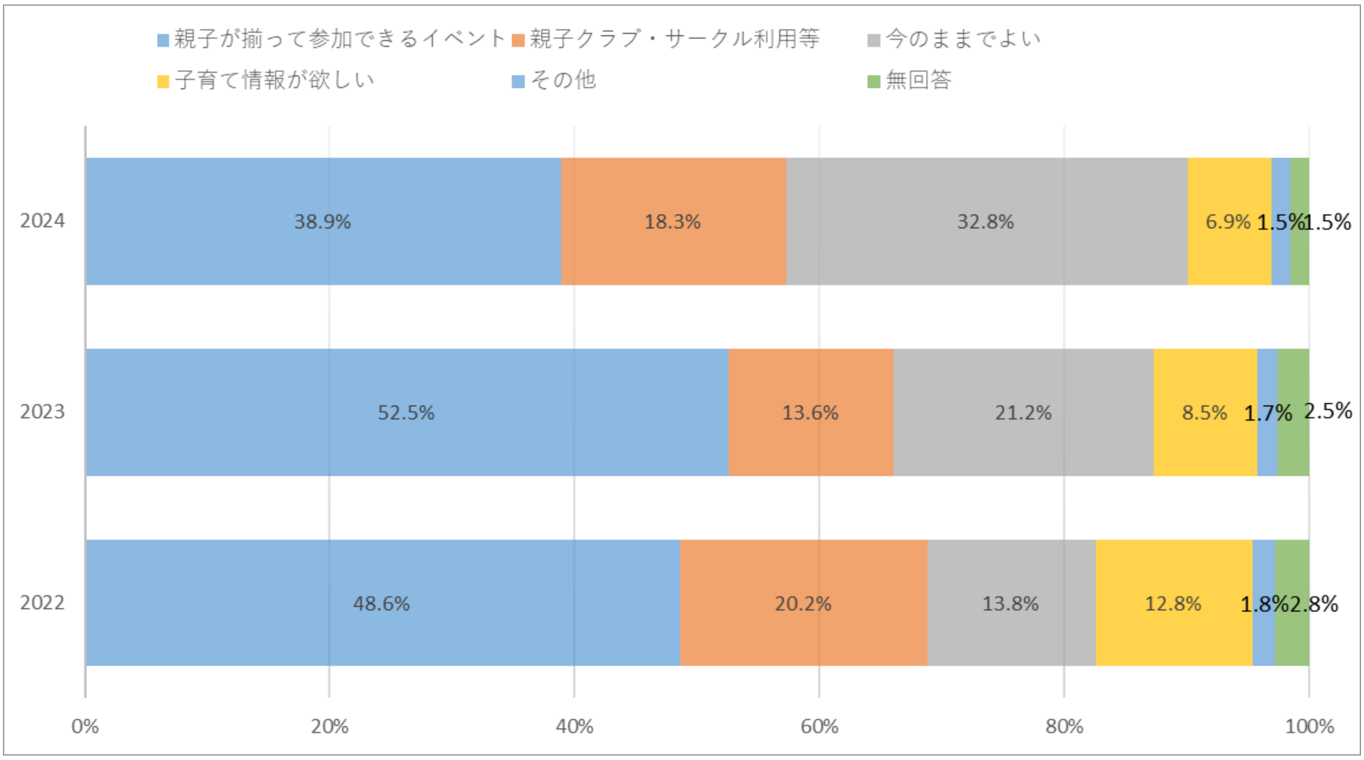
（４）支援員の対応



（５）利用により新しい知人が増えたか



（６）増やしてほしいサービス



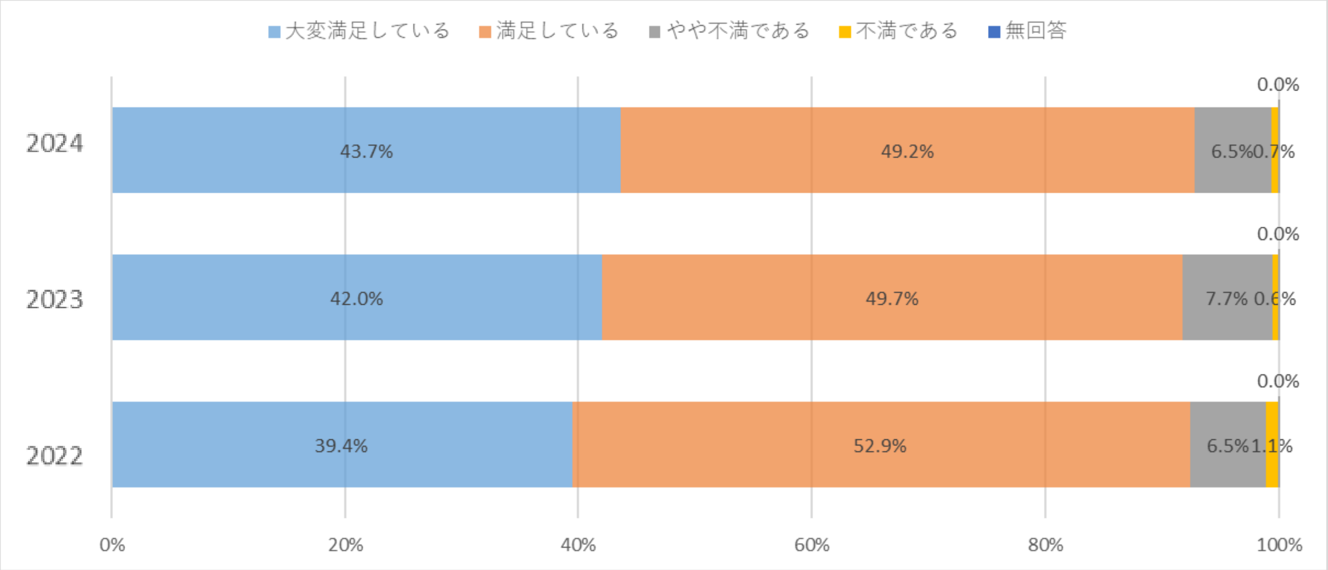
⑥学童保育

	【公設学童保育所 215 箇所】	【民設学童保育所 39 箇所】
1　調査方法	学童保育所を通じて、二次元コードを記載したこども用と保護者用の調査票を配布、もしくは利用者の保護者にメール等で WEB サイトを案内し、WEB サイトから回答を収集	
2　調査期間	2025 年１月～３月	
3　回収率	（１）保護者 回収数 3,199／配布数－（回収率－） （２）こども 回収数 3,199／配布数－（回収率－）	（１）保護者 回収数 44／配布数－（回収率－） （２）こども 回収数 44／配布数－（回収率－）

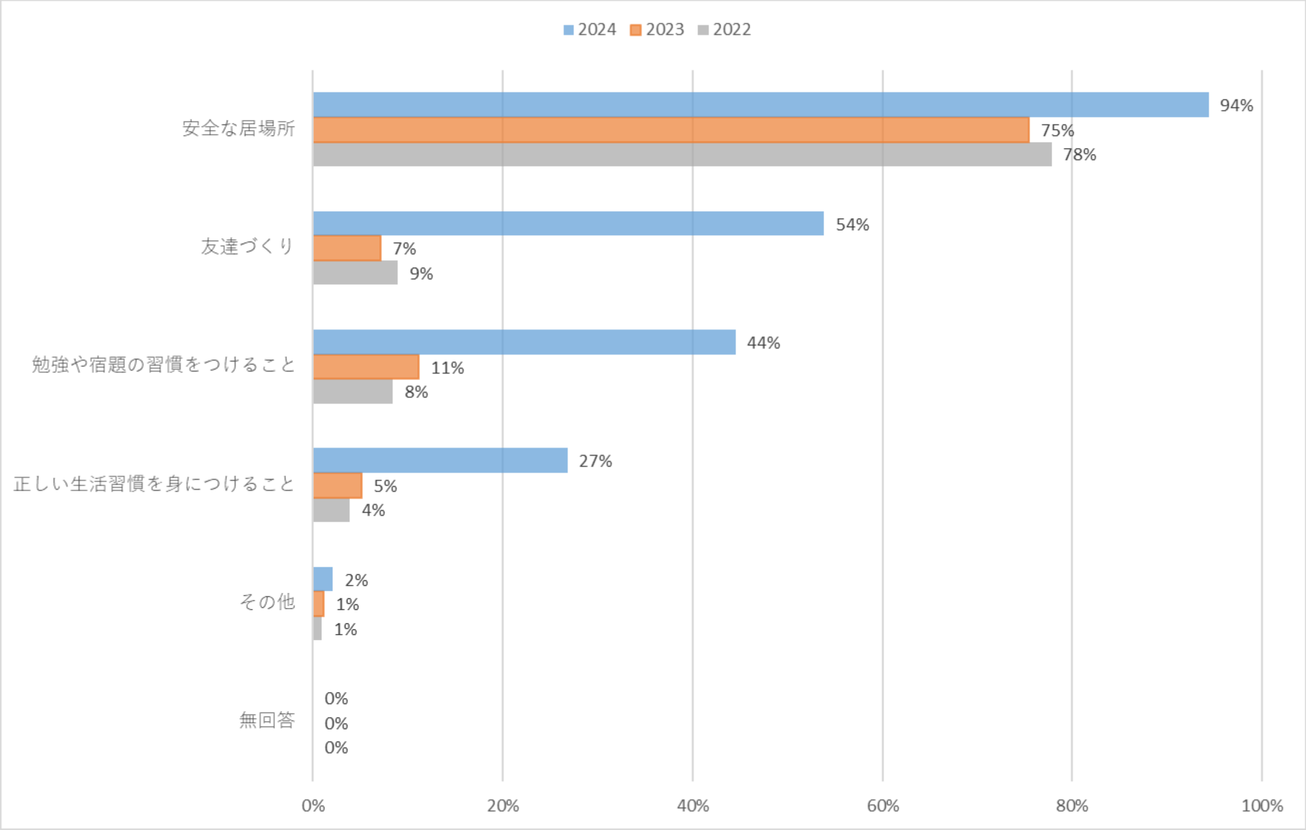
※公設学童保育所については「児童館の指定管理者による管理運営状況の評価に関するアンケート」を活用

４　調査結果（保護者用）

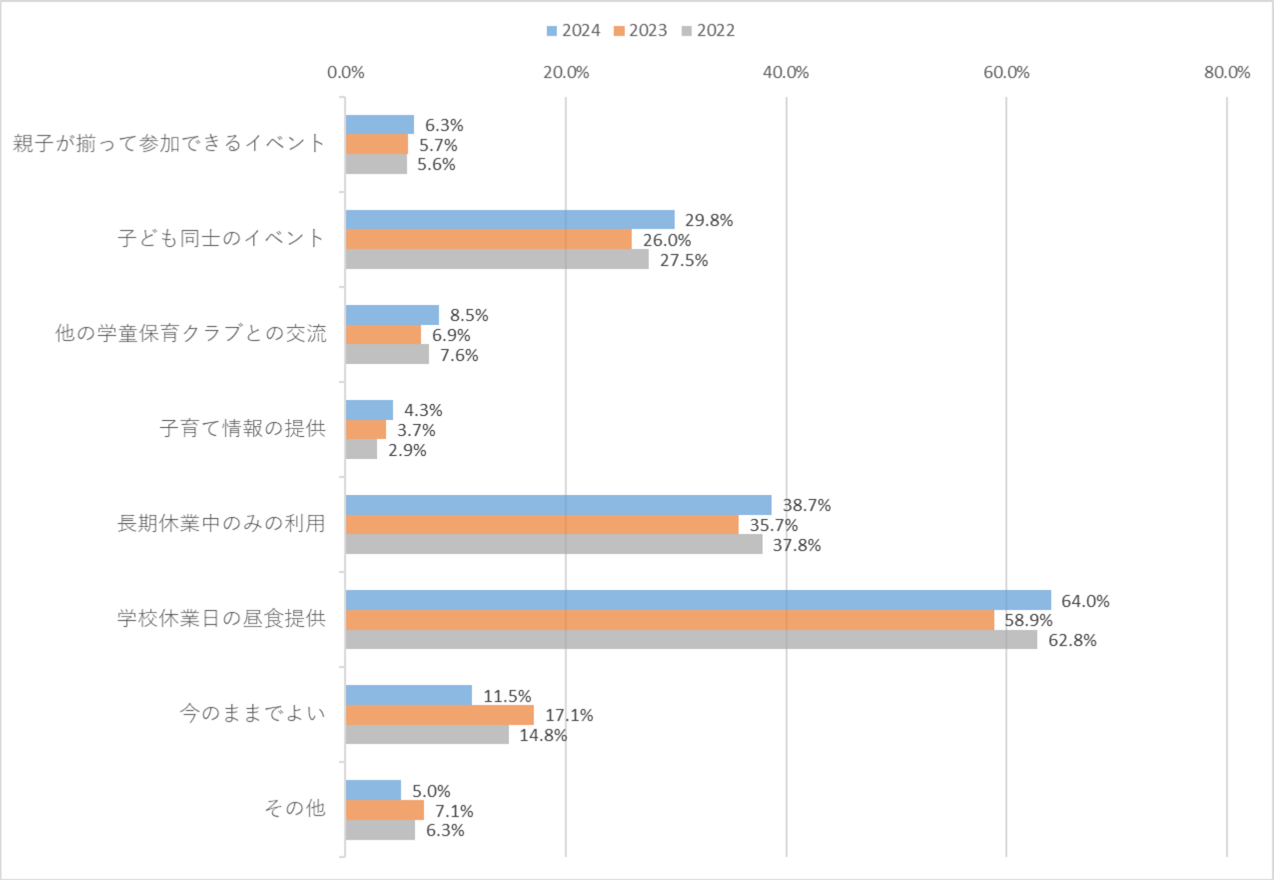
（１）サービス内容



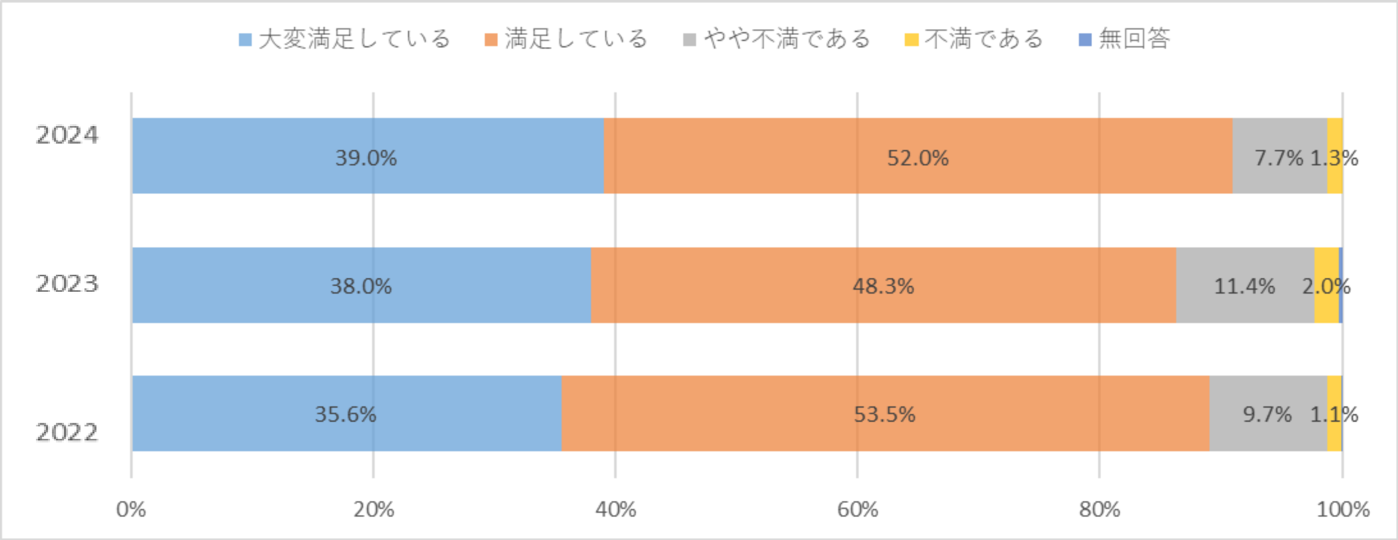
（２）学童保育に期待していること
※2024 年度より、単一回答から複数回答に変更。



（３）増やしてほしいサービス（複数回答）

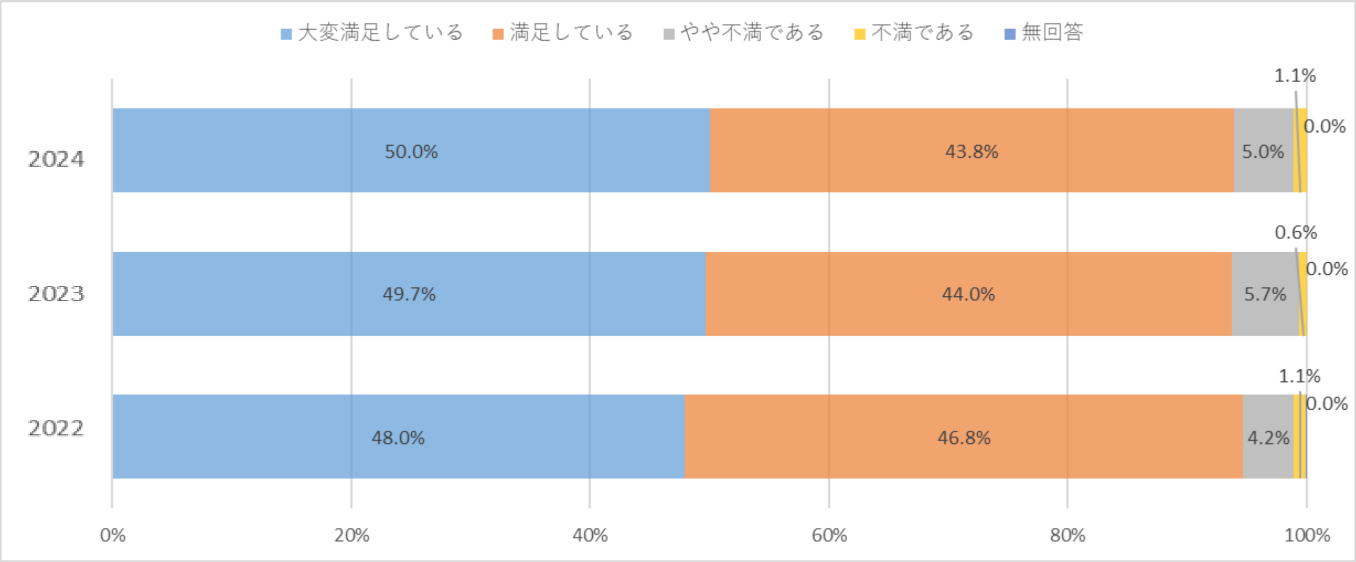


（４）施設



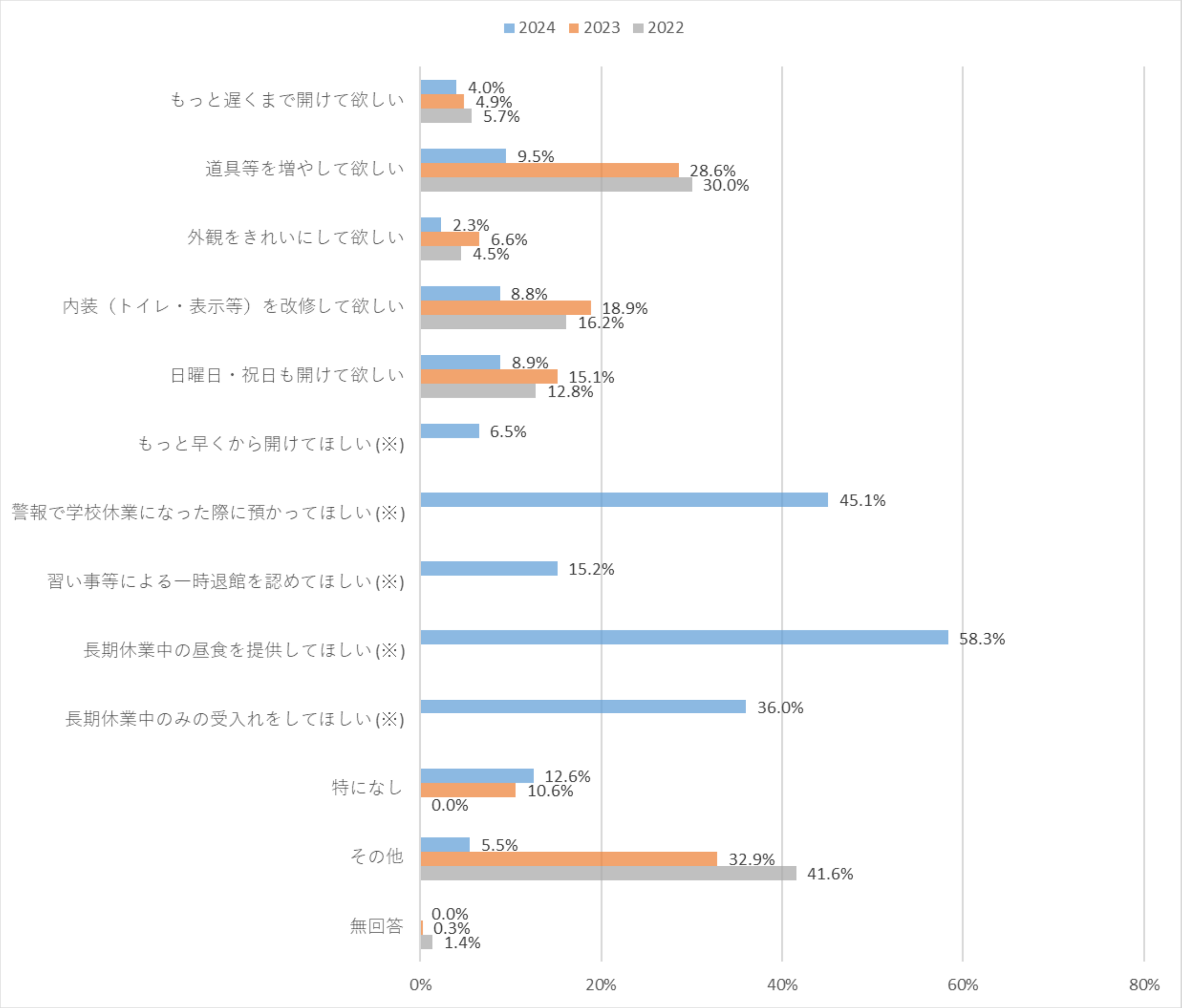
大変満足している
満足している
やや不満である
不満である
無回答
2024
2023
2022
39.0%
52.0%
7.7%
1.3%
38.0%
48.3%
11.4%
2.0%
35.6%
53.5%
9.7%
1.1%
0%
20%
40%
60%
80%
100%

（５）職員の対応



大変満足している
満足している
やや不満である
不満である
無回答
2024
2023
2022
50.0%
43.8%
5.0%
1.1%
0.0%
49.7%
44.0%
5.7%
0.6%
0.0%
48.0%
46.8%
4.2%
1.1%
0.0%
0%
20%
40%
60%
80%
100%

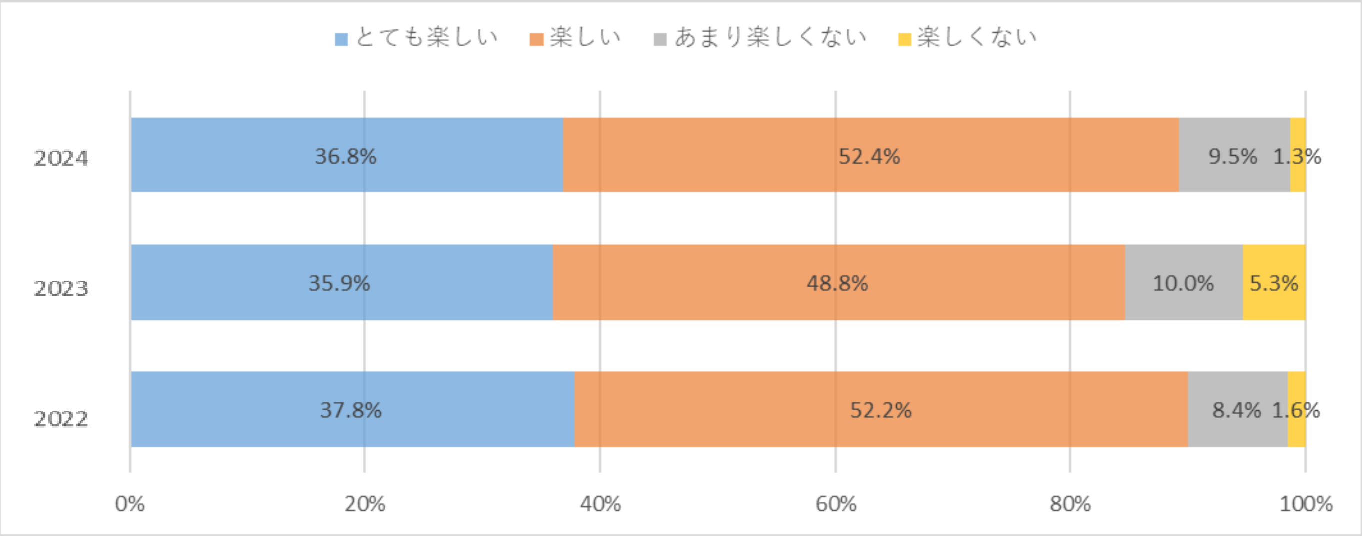
（６）利用に関する要望（複数回答）



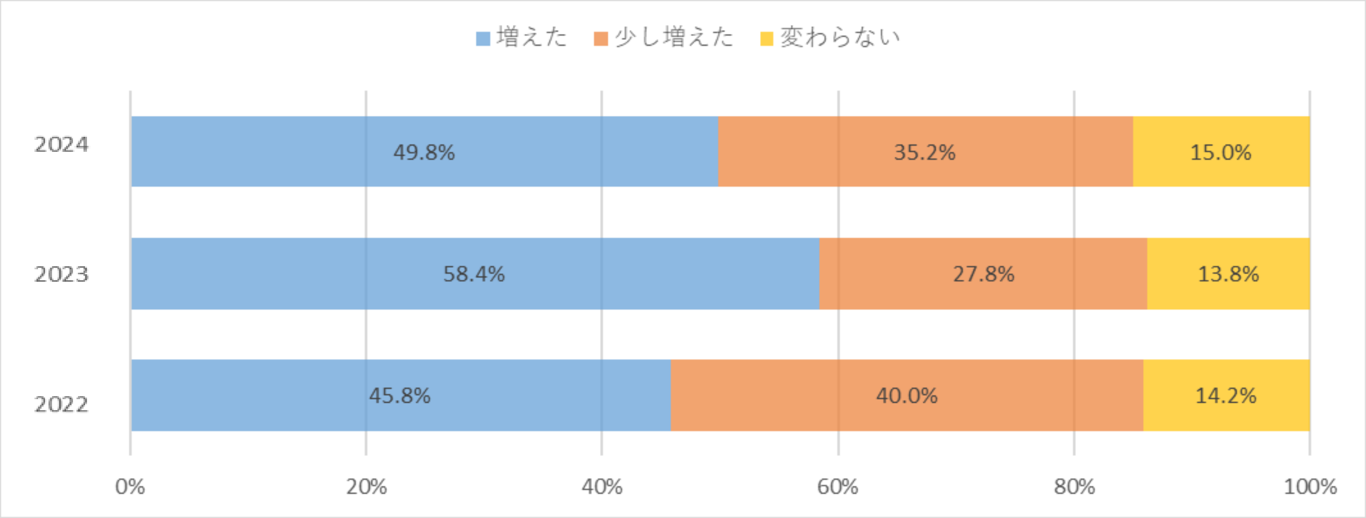
(※)の項目は、2024 年度から選択肢を追加。

５　調査結果（こども用）

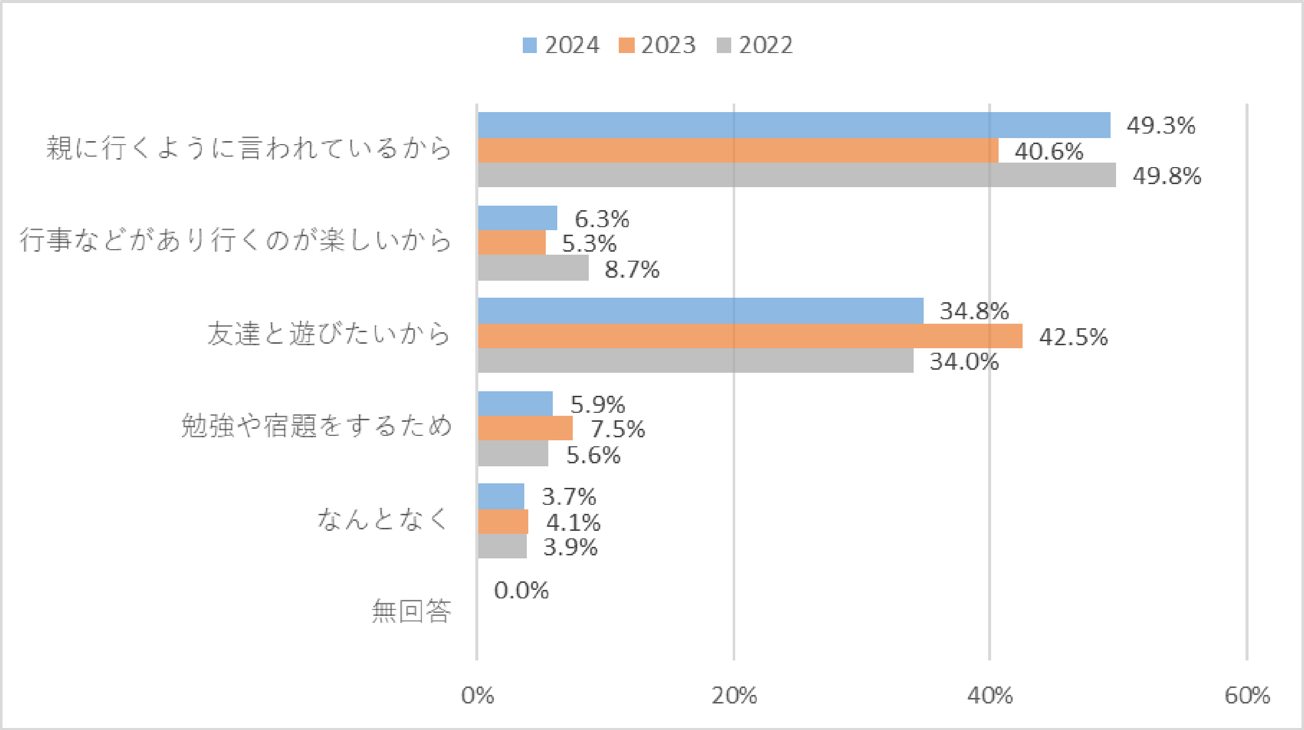
（１）学童に来るのは楽しいか



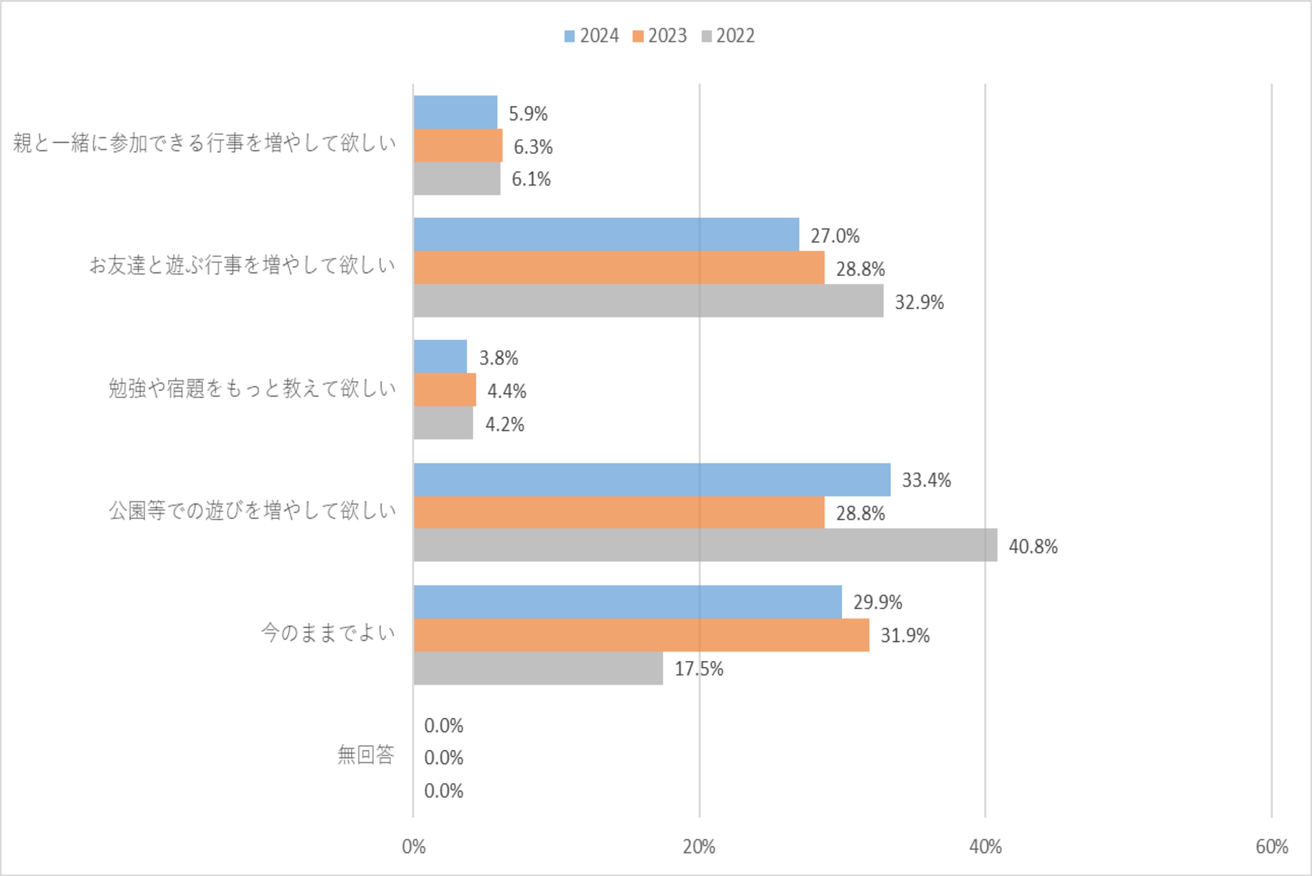
（２）学童で新しい友達は増えたか



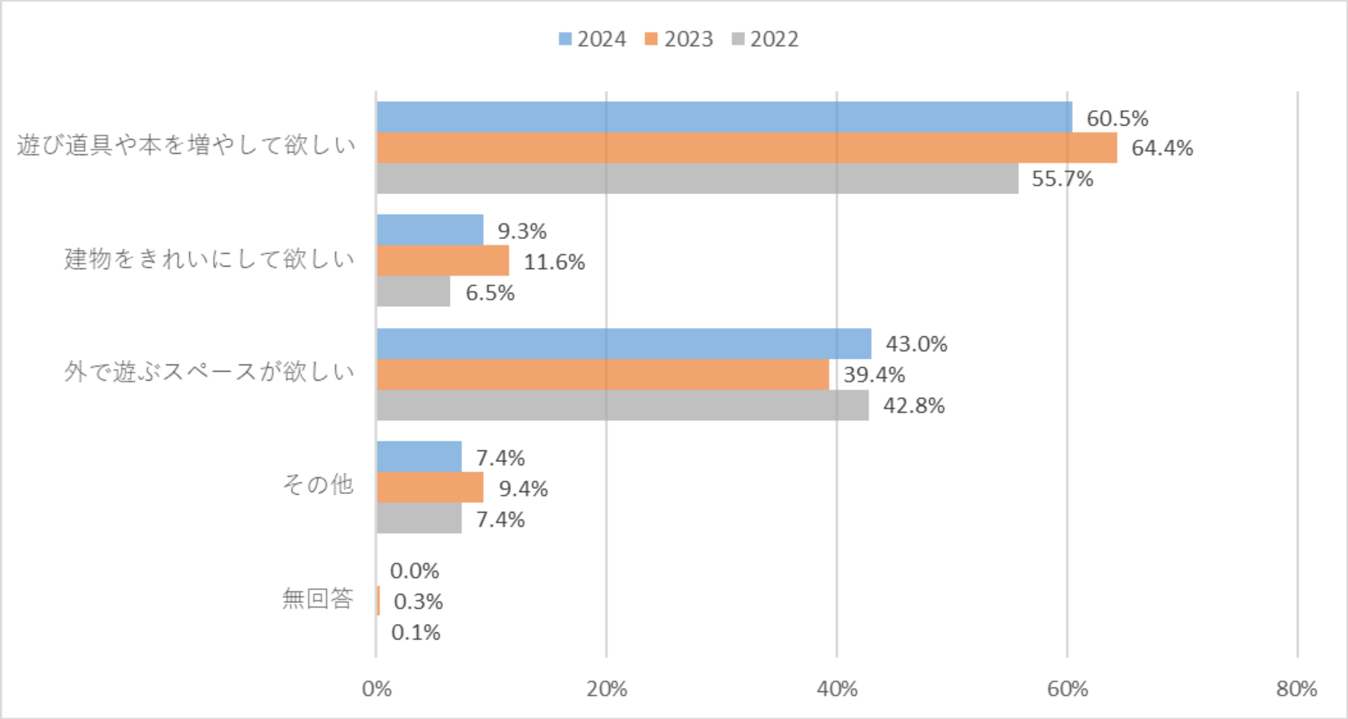
（３）学童に来る理由



（４）学童にどんなことがあれば楽しいか



（５）何をしてほしいか



※補足

・（３）（４）について

2022 年度は、民設学童保育利用者に対しては複数回答、公設学童保育所利用者に対しては単数回答で調査。

・（５）について

複数回答で調査しているが、2022 年度の公設学童保育所利用者に対する調査票上に複数回答である旨を記載していなかったため、単数回答が９割程度を占めている。

⑦一時預かり（一時保育含む）

1　調査方法

・2025 年７月、一時預かり（一時保育含む）実施園（保育所（園）、認定こども園、小規模保育、事業所内保育）371 園で、調査期間中の利用者を対象に実施

・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集

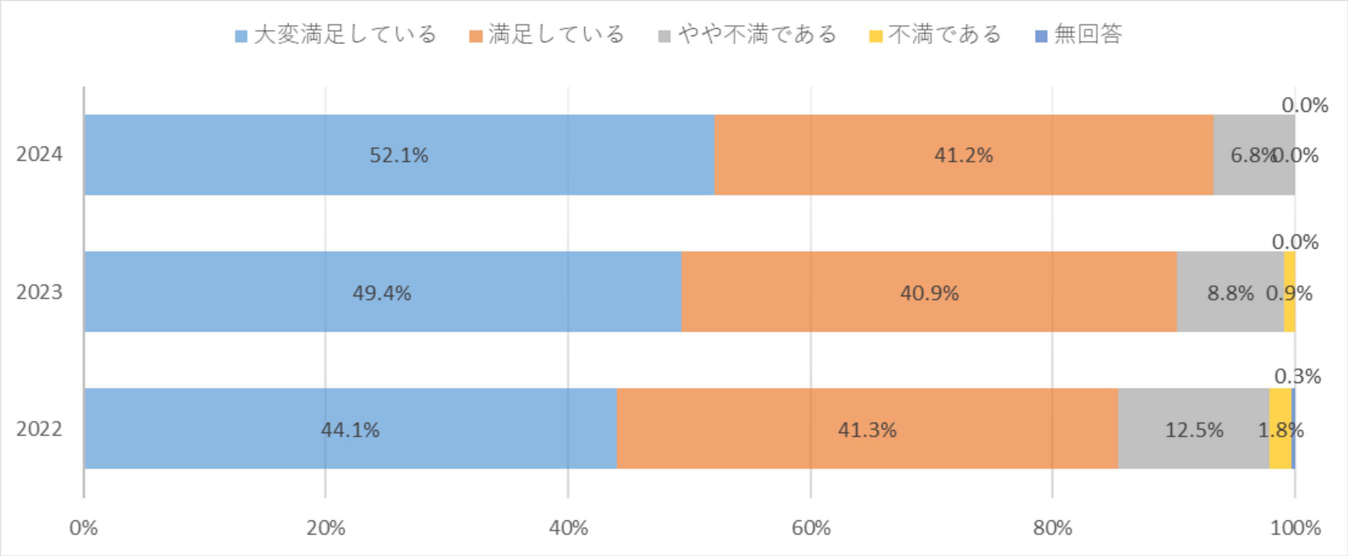
・回収数 311／配布数 335（回収率 92.8%）

2　回答者の基本情報

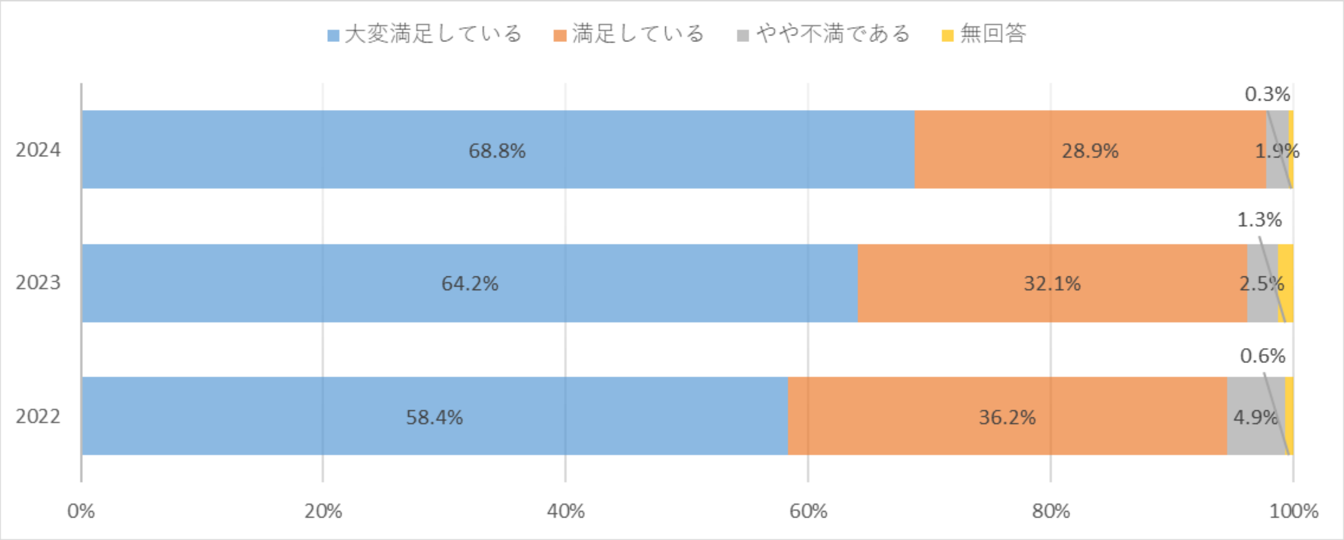
・利用者の就業状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「パート」が約３割強、「働いていない」が５割弱、「フルタイム」が２割弱となっている。

3　調査結果

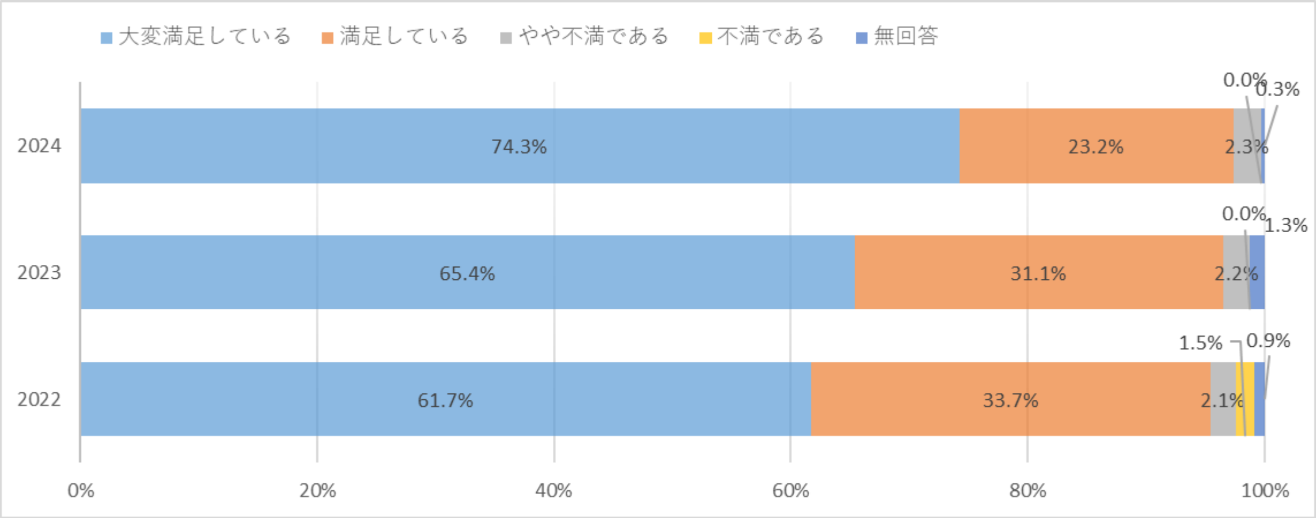
（１）サービス内容



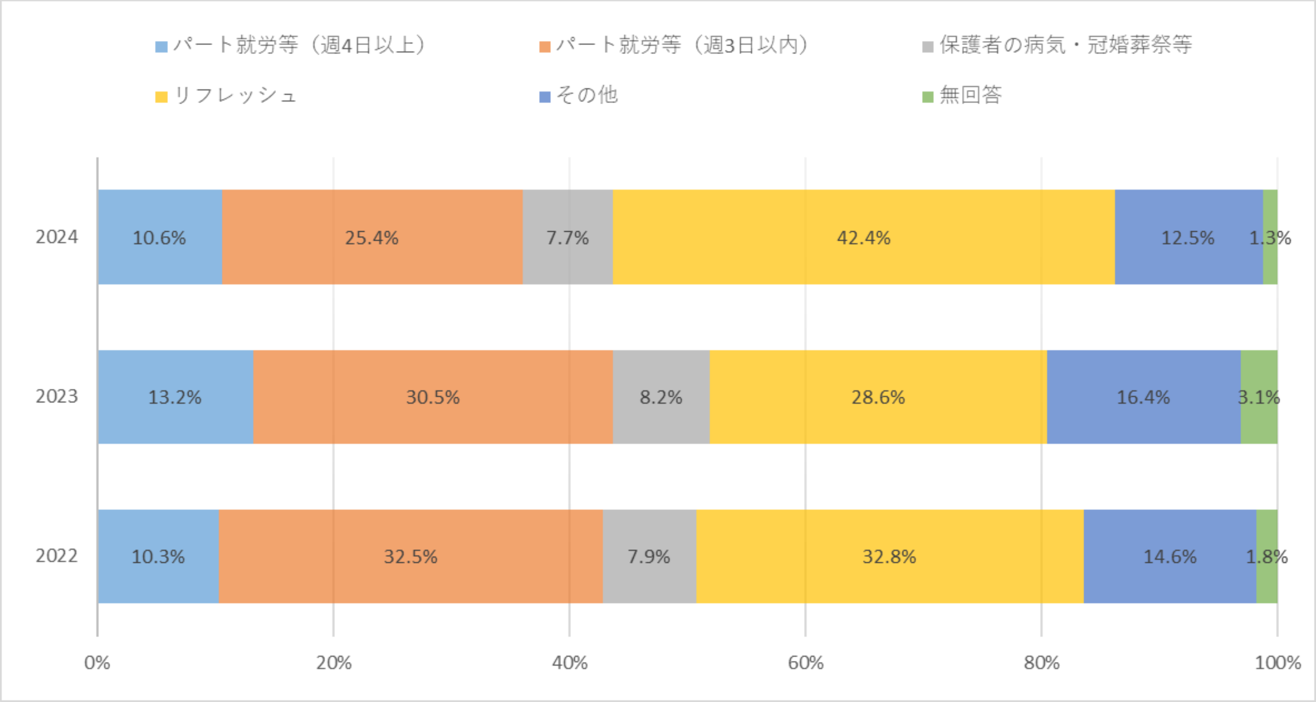
（２）施設



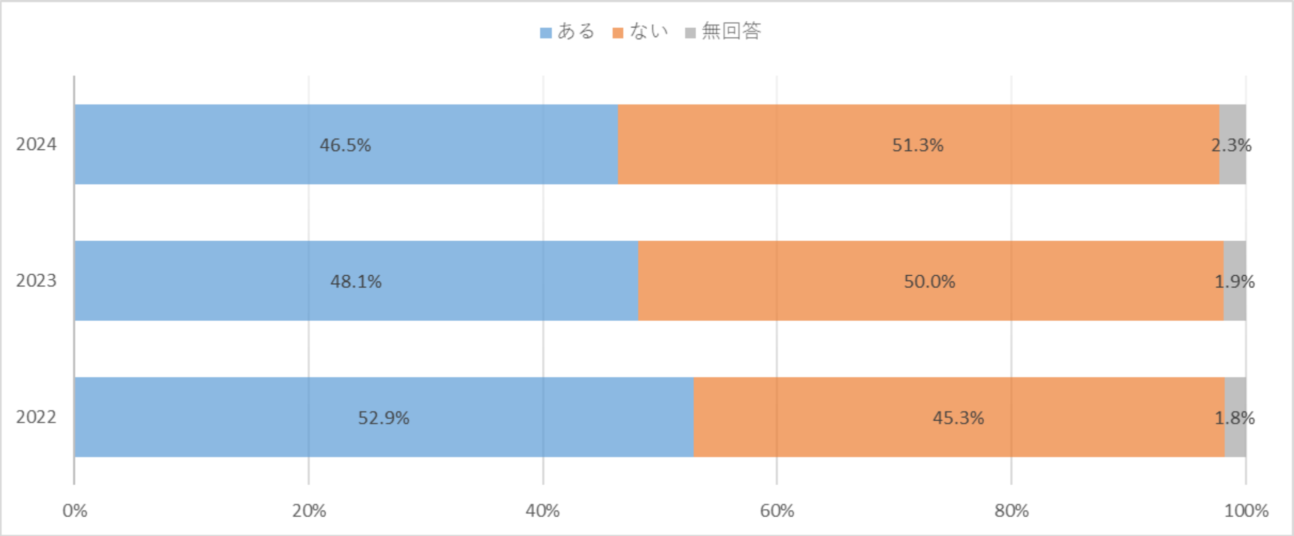
（３）職員の対応



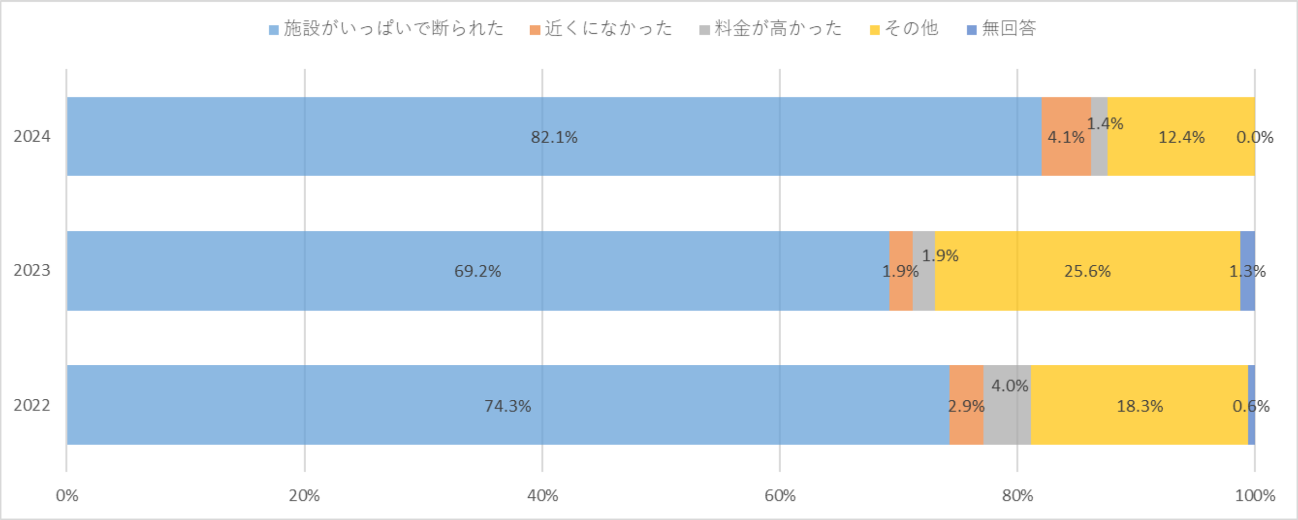
（４）一時保育を利用した理由



（５）一時保育を利用できず困ったこと



（５―２）「ある」と回答した人のうち、利用できなくて困った理由



⑧子育てリフレッシュステイ

１　調査方法

・2025 年７月、子育てリフレッシュステイを実施している施設（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、児童心理治療施設）24 箇所で、調査期間中の利用者を対象に実施

・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集

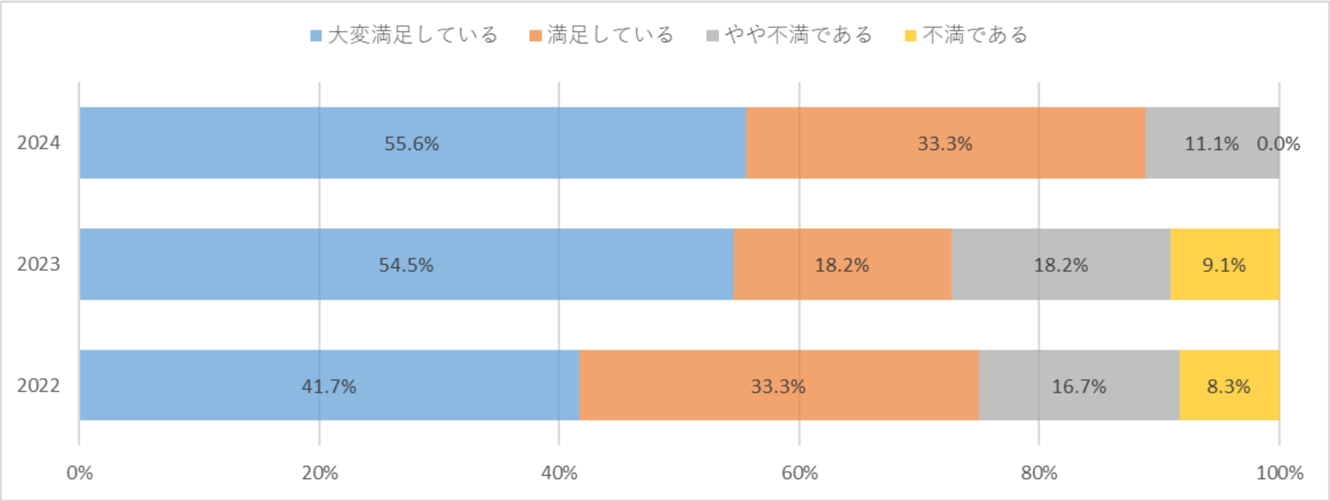
・回収数 9／配布数 41（回収率 22.0%）

２　回答者の基本情報

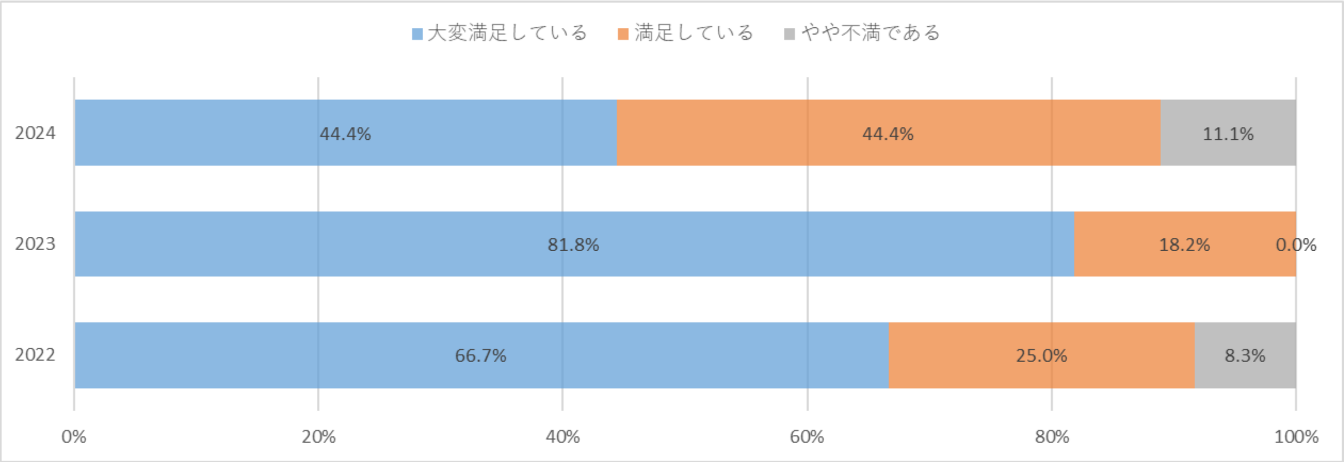
・利用者の就業状況について、父親は「フルタイム」が半数、「いない」が半数であり、母親は「フルタイム」が４割、「働いていない」が２割、「パート」が４割となっている。

３　調査結果

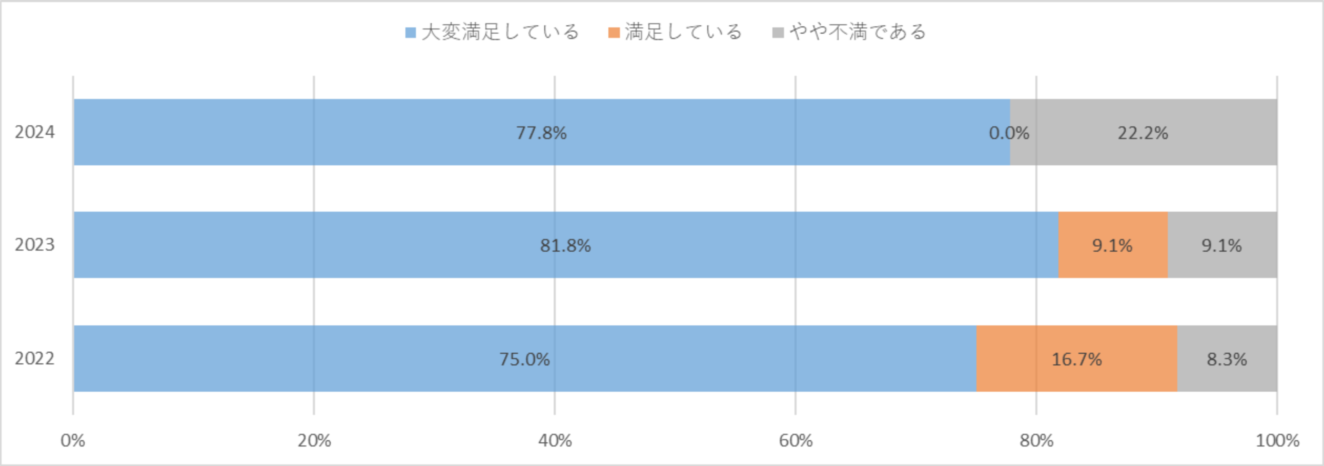
（１）サービス内容



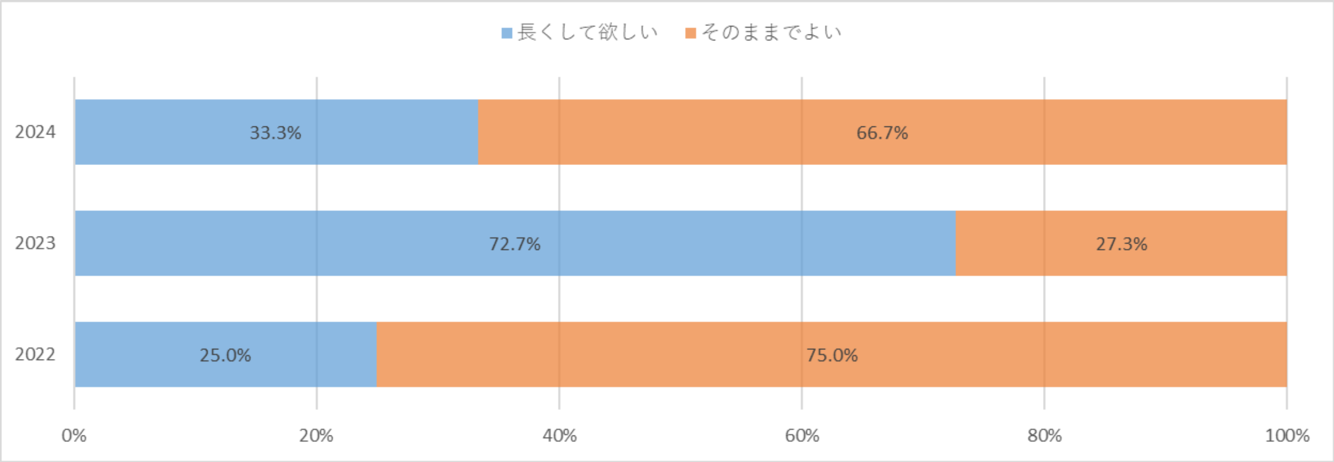
（２）施設



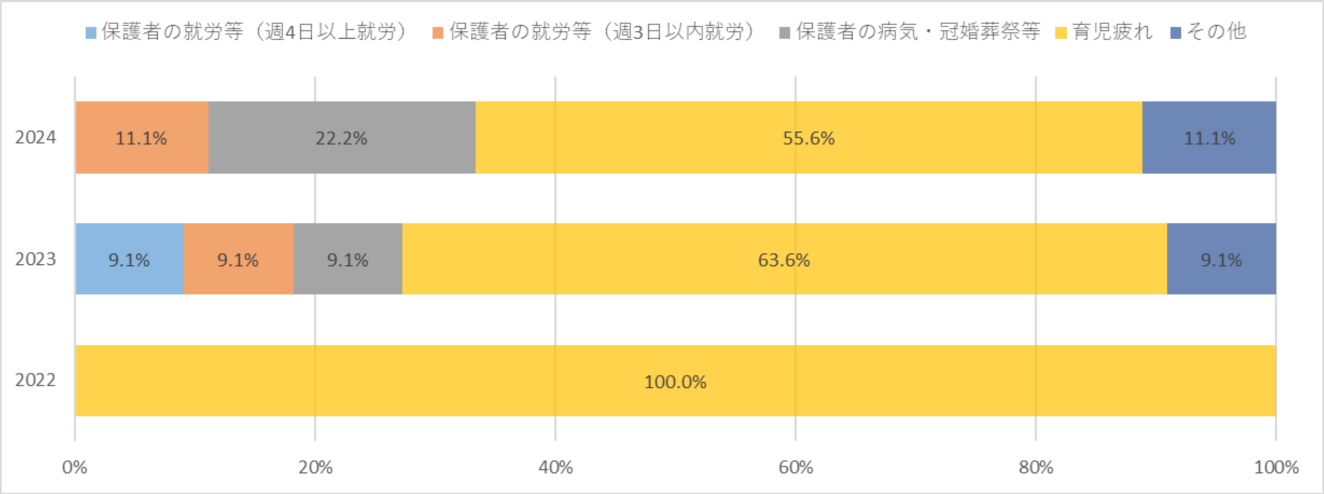
（３）職員の対応



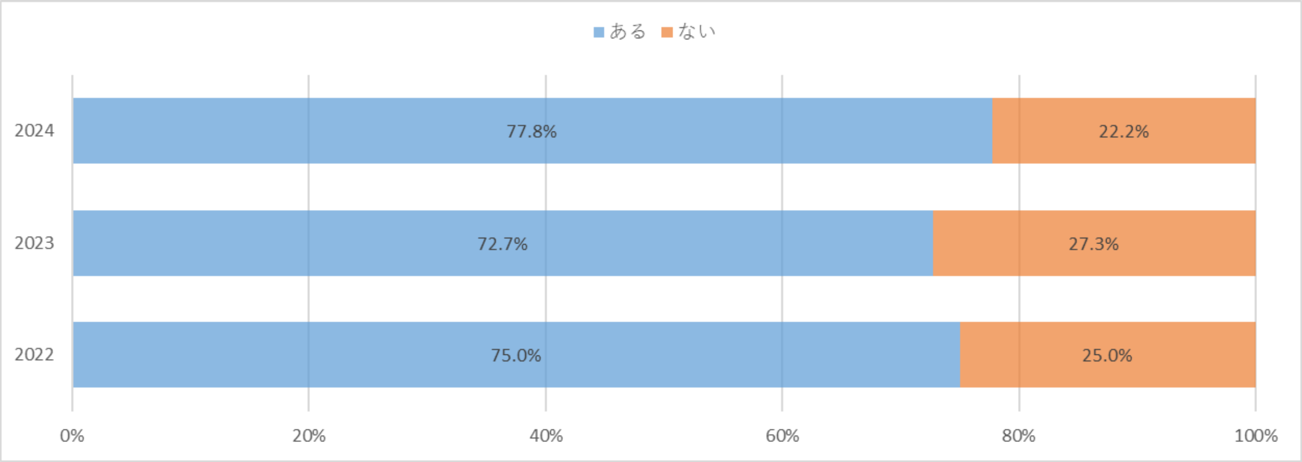
（４）月 10 日間の利用上限



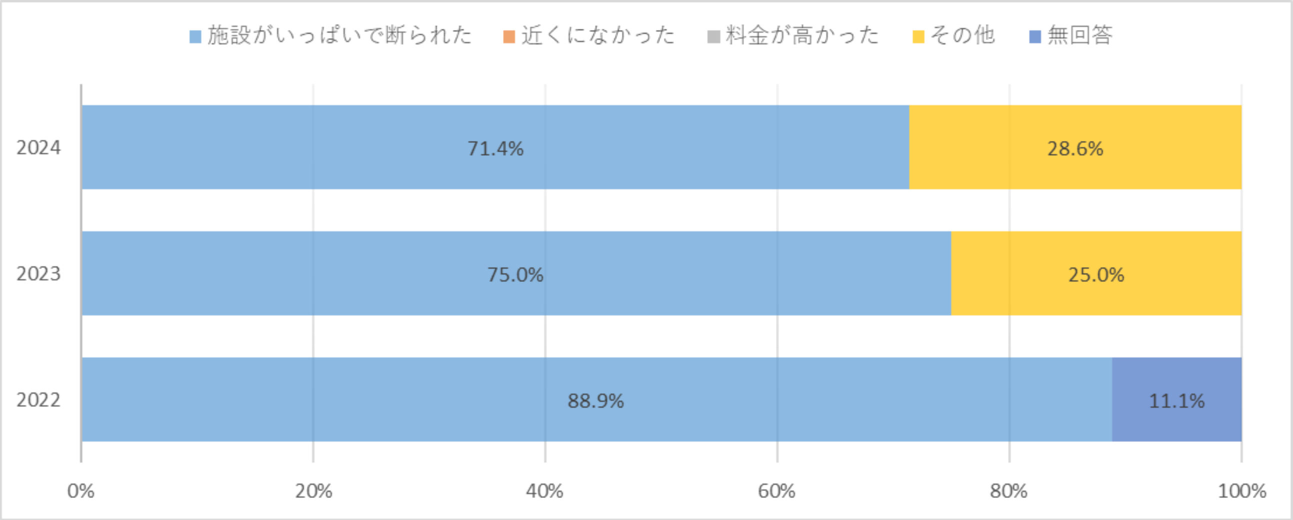
（５）子育てリフレッシュステイを利用した理由



（６）利用できなくて困ったこと



（６－２）「ある」と回答した人のうち、利用できなくて困った理由



⑨病児保育

１　調査方法

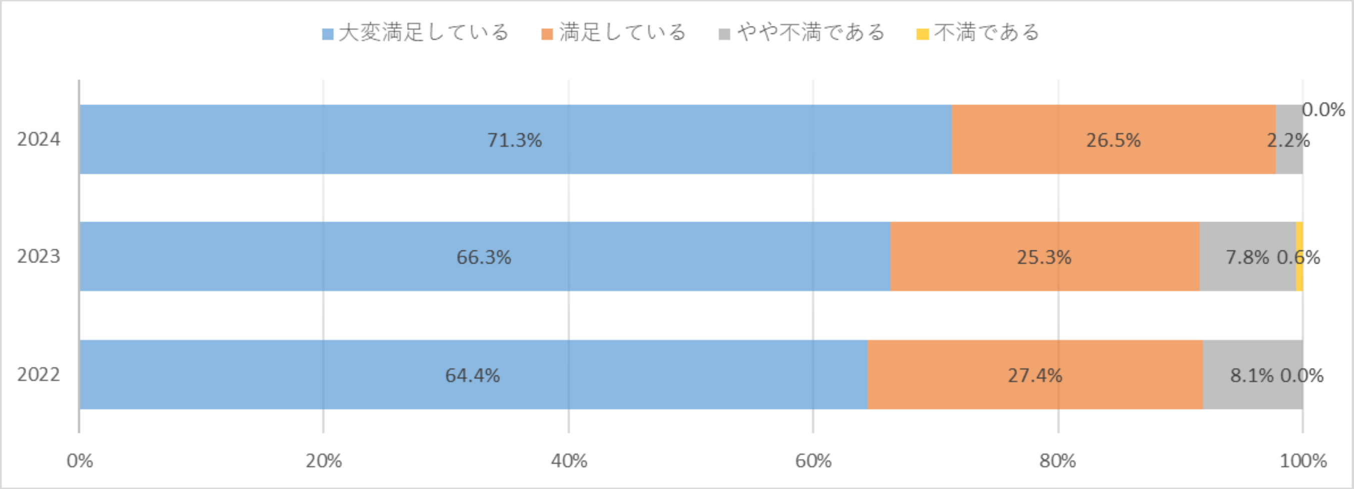
・2025年７月、病児保育を実施している全施設（23箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
・回収数181／配布数954（回収率19.0%）

２　回答者の基本情報

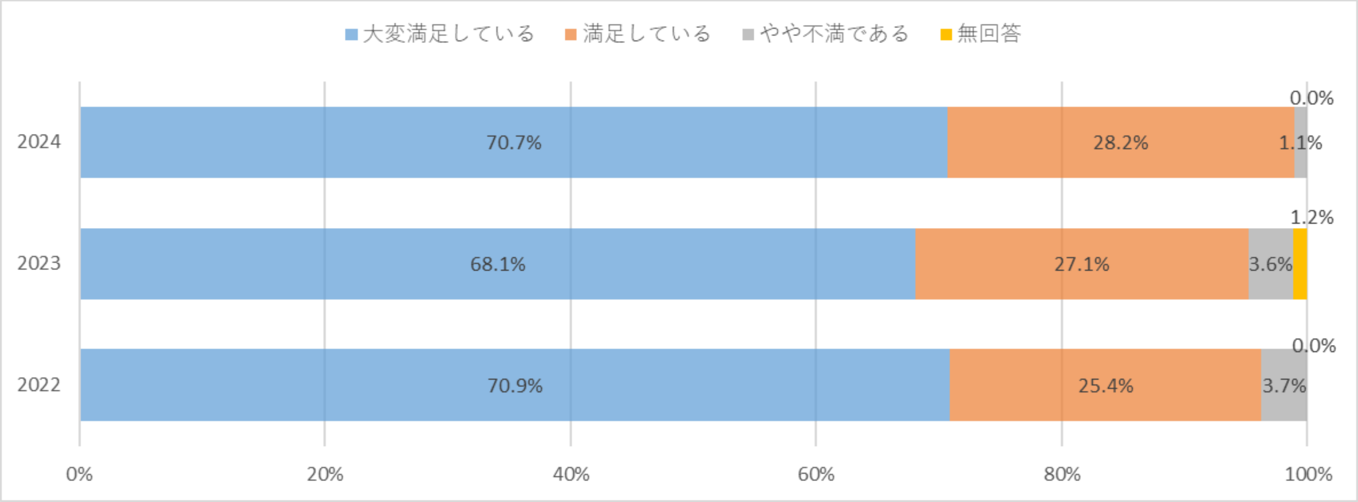
・利用者の就業状況は、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親も「フルタイム」が８割強であり、「パート」が２割弱となっている。

３　調査結果

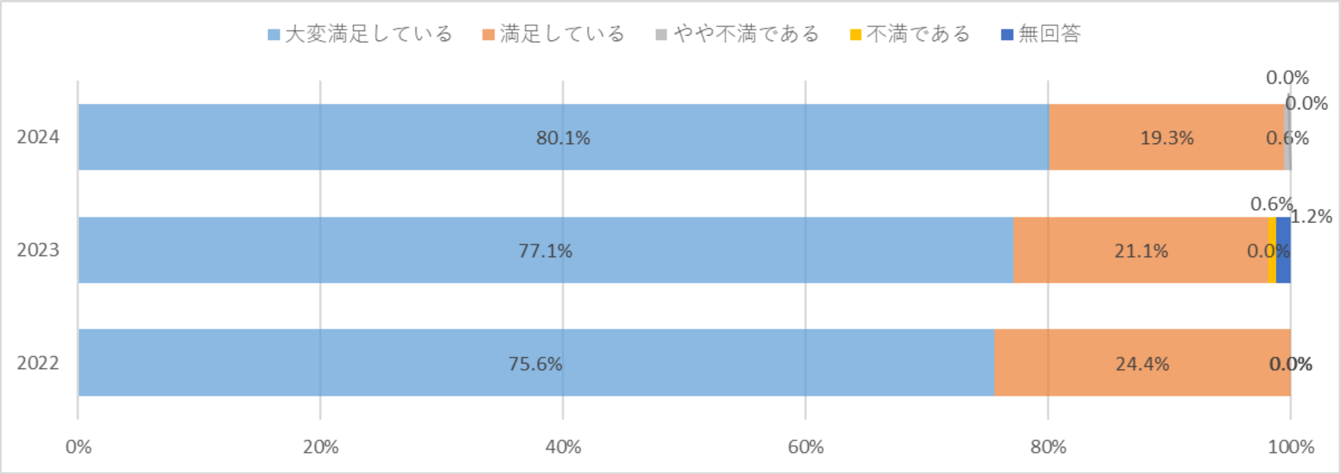
（１）サービス内容



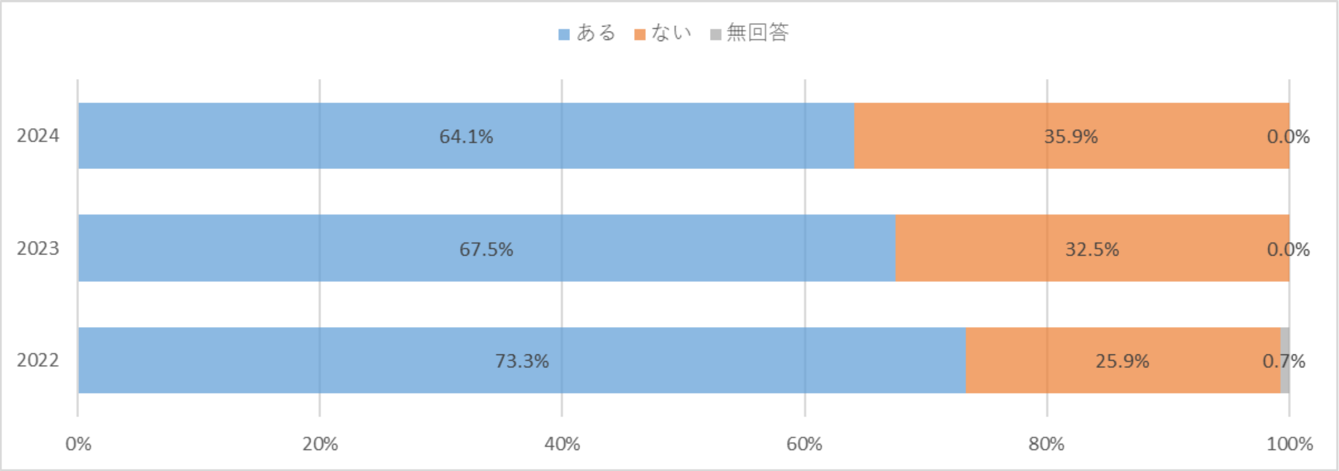
（２）施設



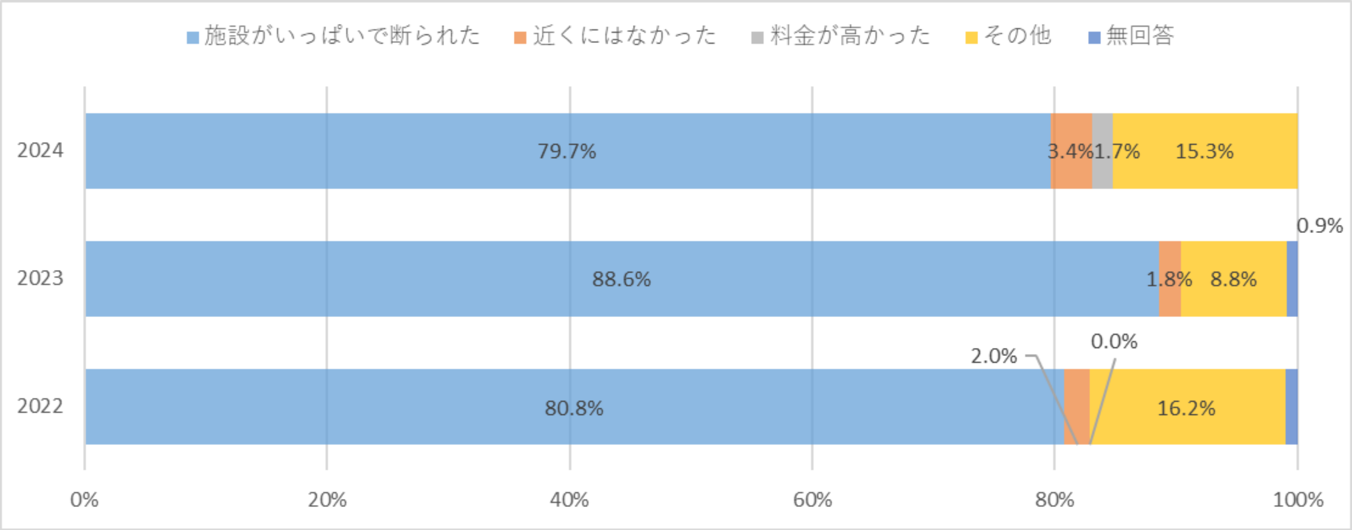
（３）職員の対応



（４）病児保育を利用できなくて困ったことはあるか



（４－２）「ある」と回答した人のうち、利用できなくて困った理由



⑩ファミリー・サポート・センター

1　調査方法

・2025 年７月、ファミリー・サポート・センター依頼会員(協力会員を兼ねる人を含む)から 300 名を無作為抽出し、施設を通じて調査期間中の利用者を対象に実施

・二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集

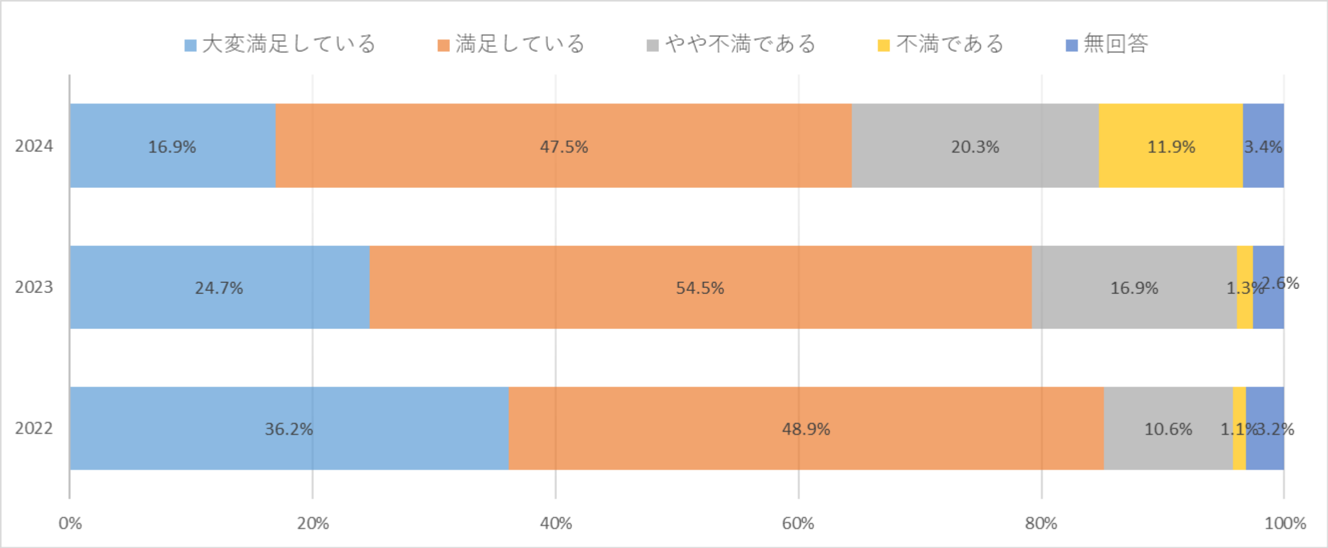
・回収数 59／配布数 300（回収率 19.7%）

2　回答者の基本情報

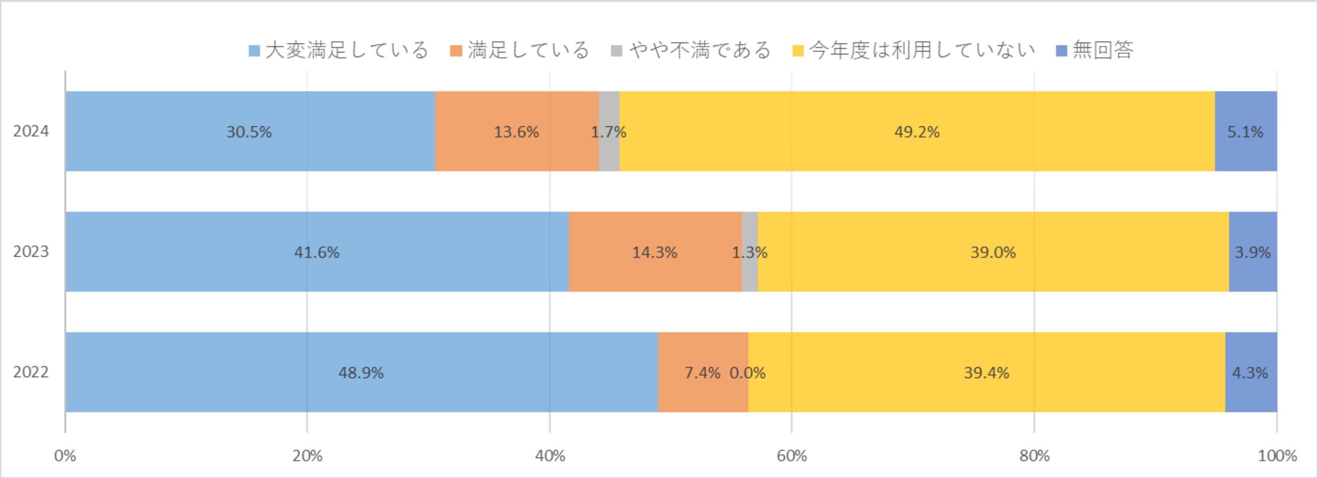
・就業状況は、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が７割、「パート」が１割強、「働いていない」が１割強となっている。

3　調査結果

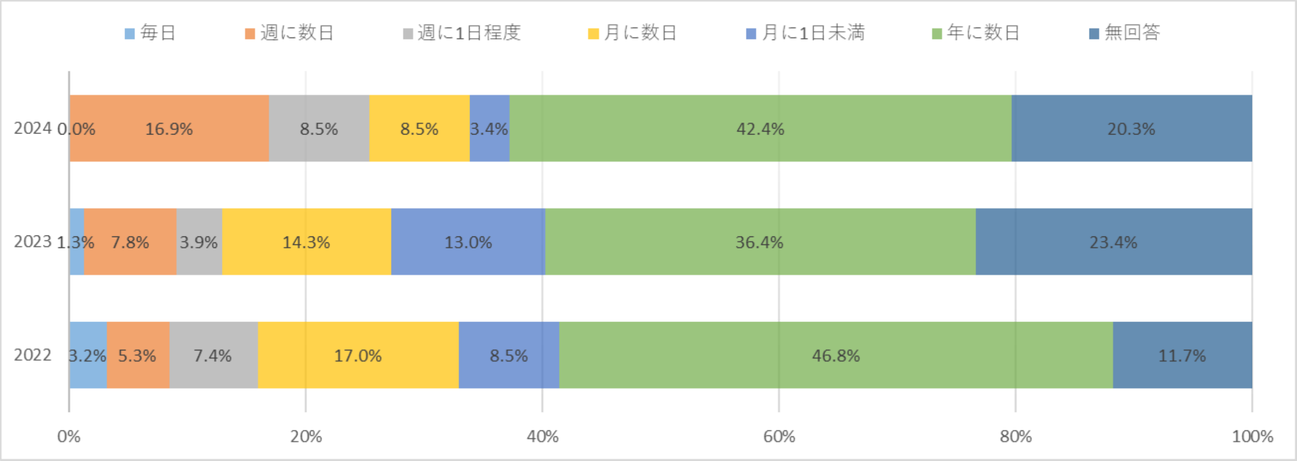
（１）サービス内容



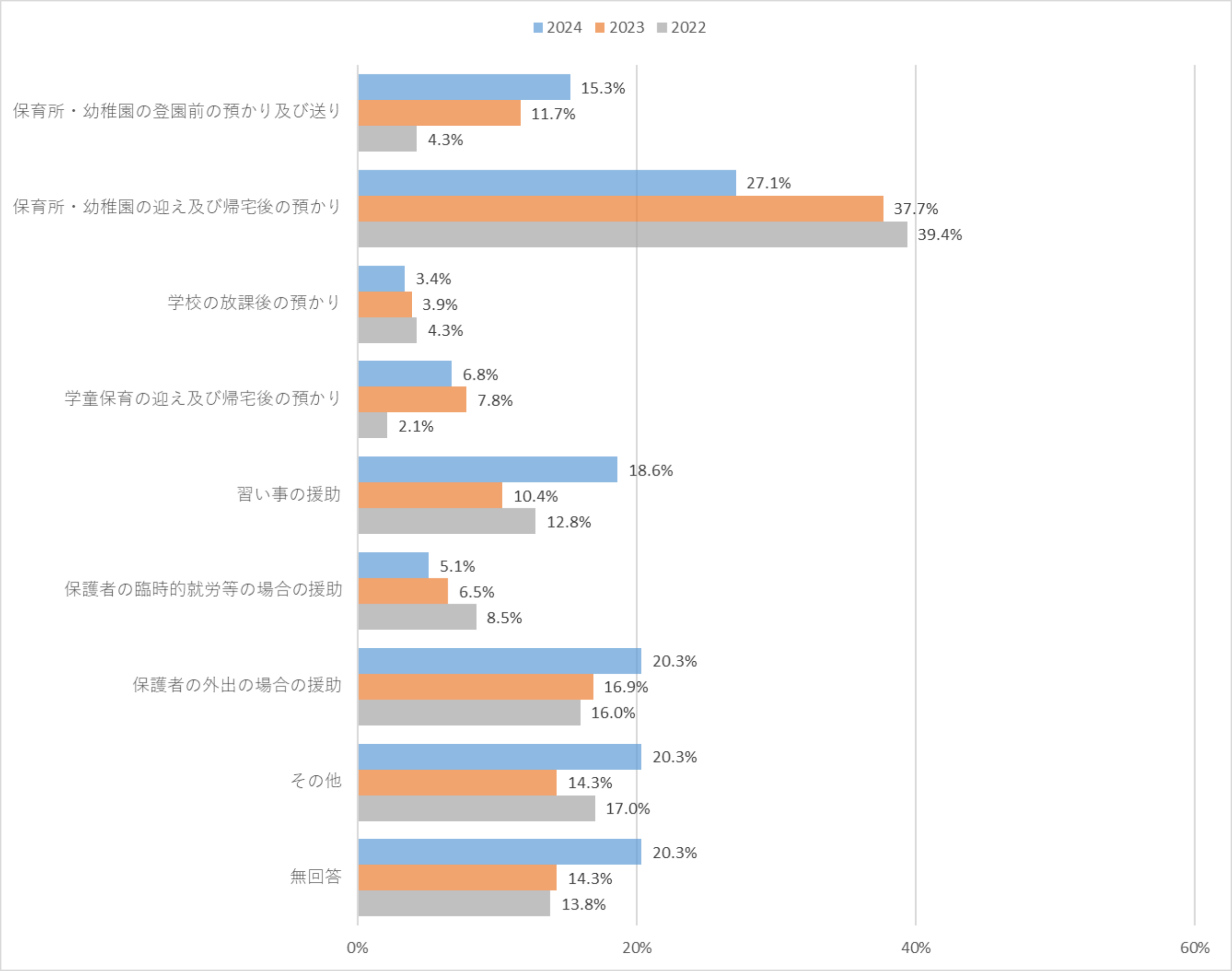
（２）サポートをお願いした協力会員の対応



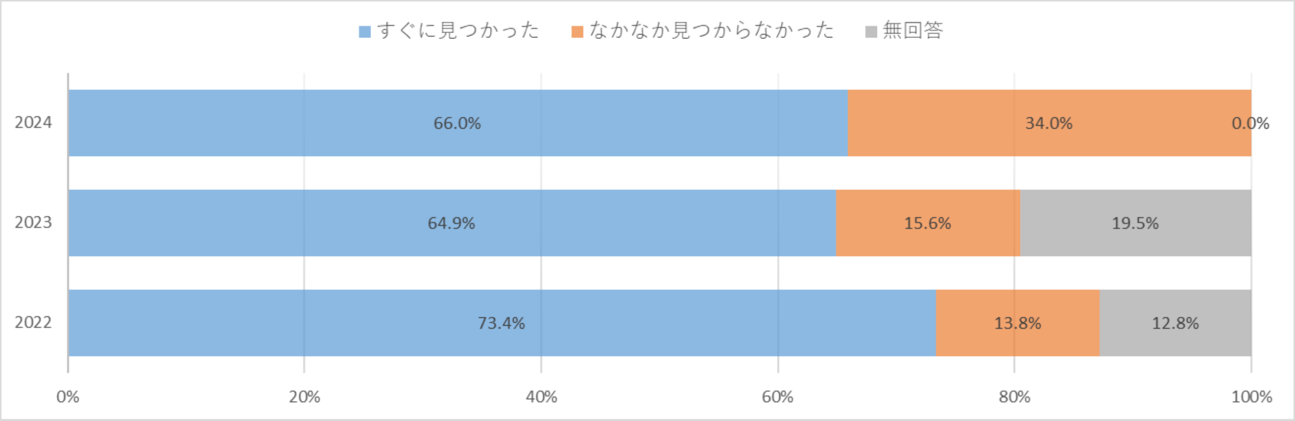
（３）利用の頻度



（４）協力会員に依頼した内容



（５）当初、依頼に合致する協力会員が見つかったか



⑪小規模保育

1　調査方法

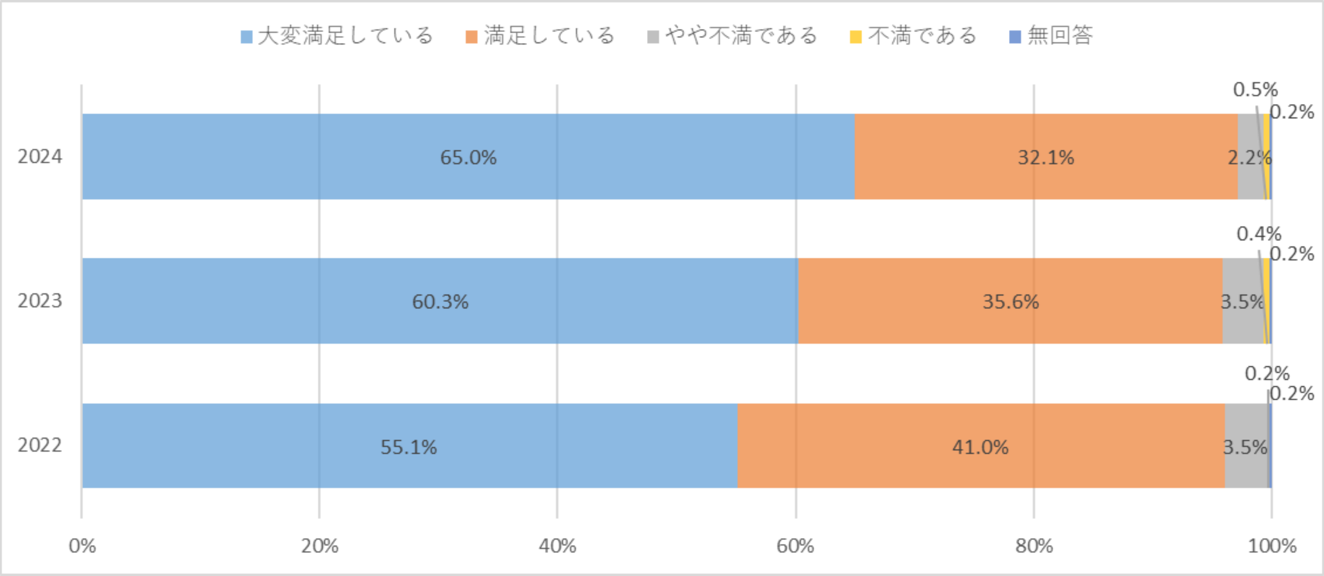
・2025年7月、小規模保育を実施している施設（137箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
・回収数414／配布数747（回収率55.4%）

2　回答者の基本情報

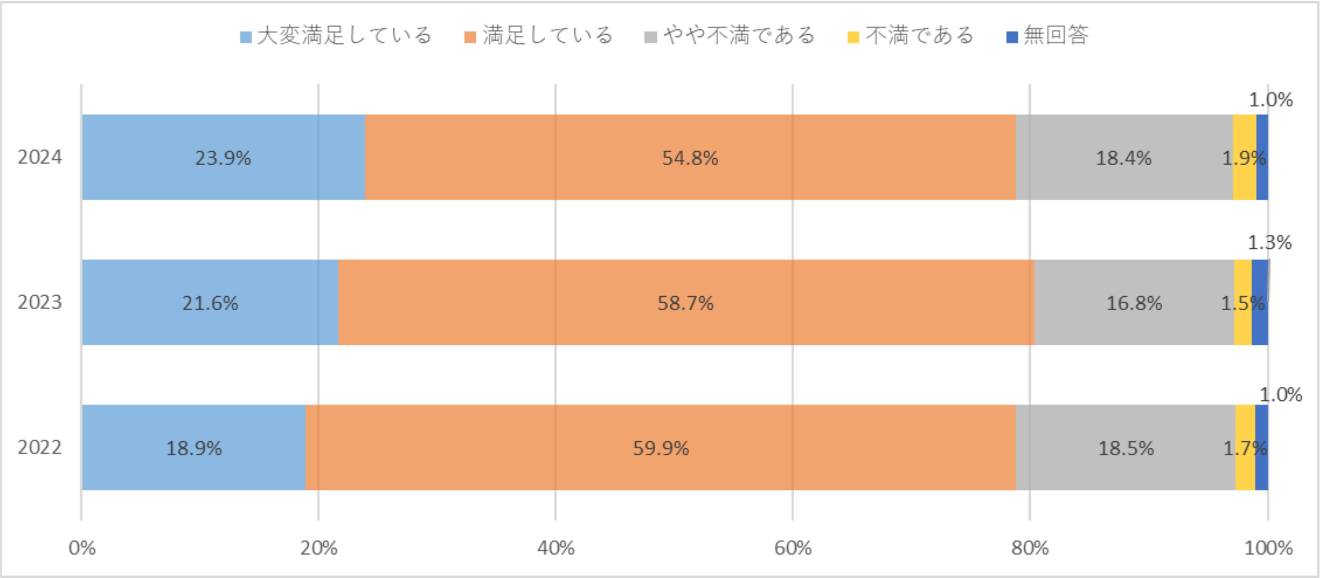
・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が6割弱、「パート」が4割弱となっている。

3　調査結果

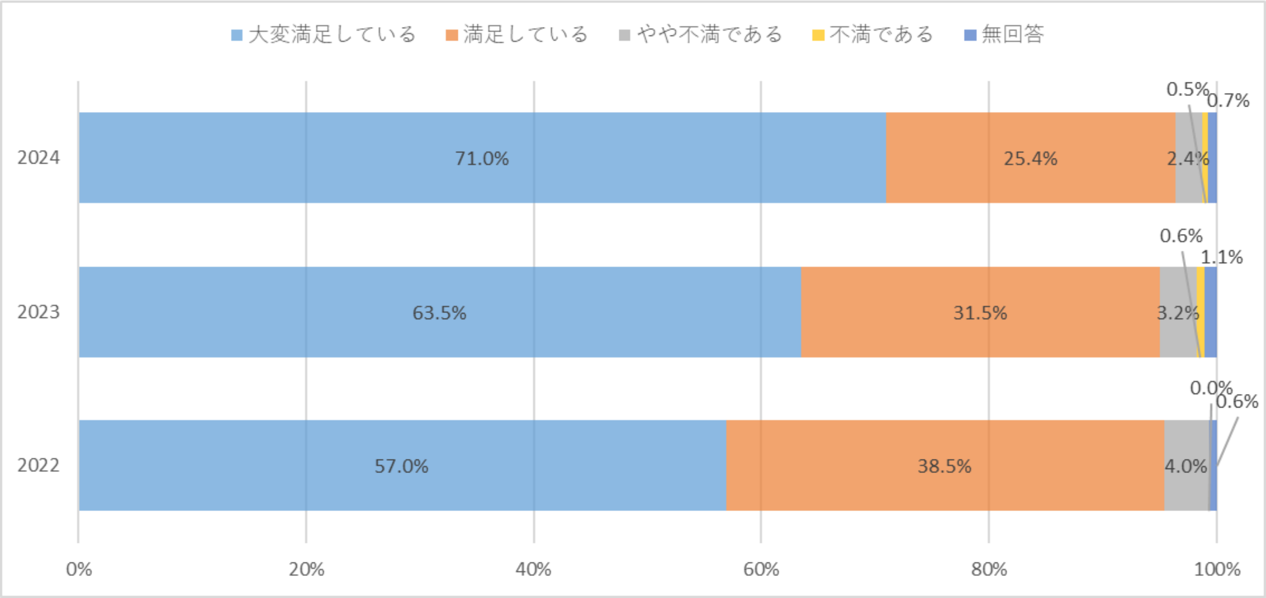
（1）保育内容全般



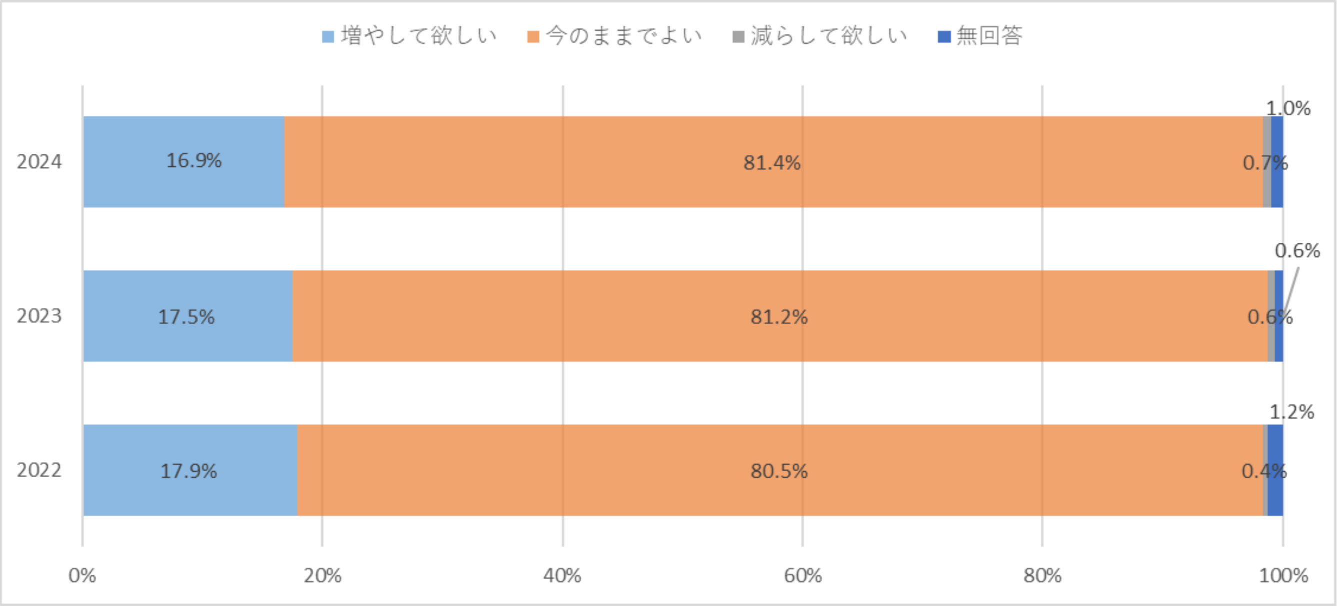
（2）建物や園庭などの施設



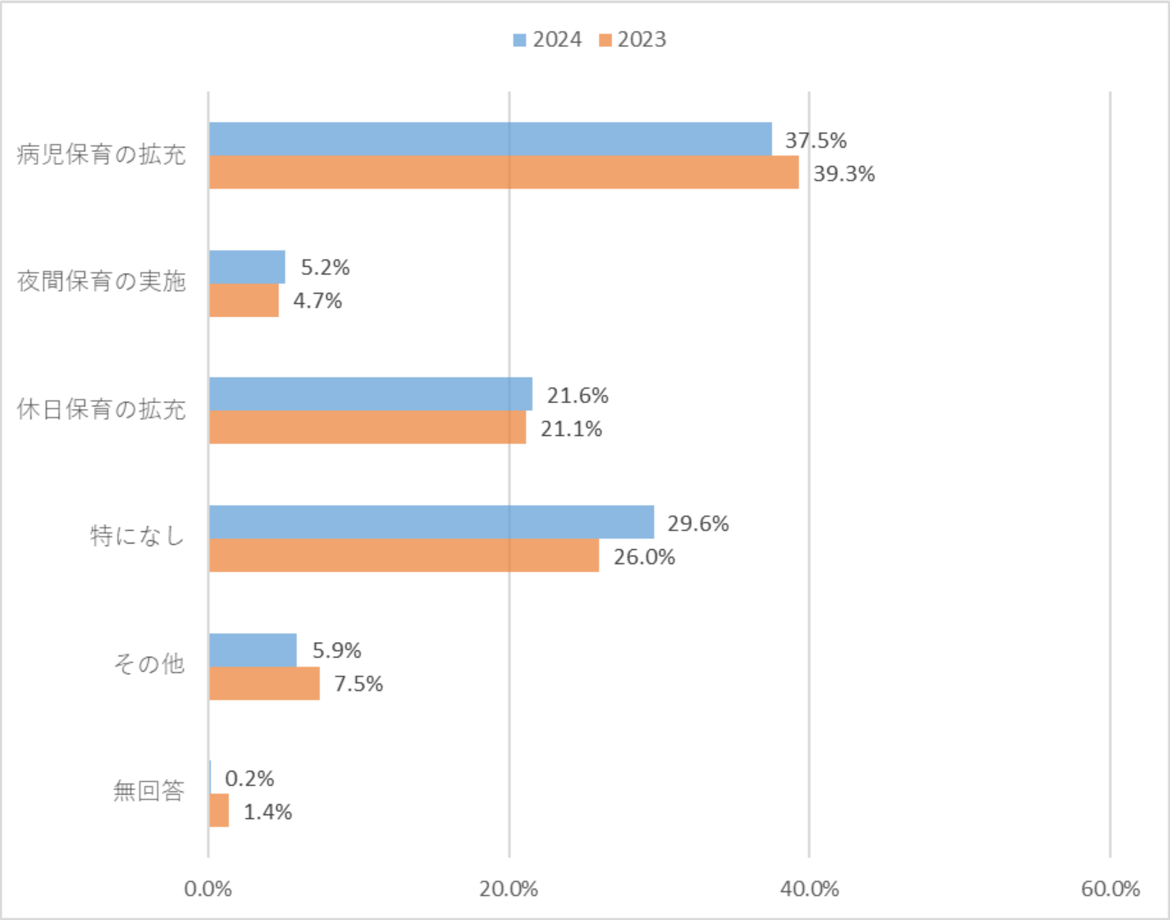
（３）職員の対応



（４）地域の親子との交流



（５）今後、特に充実してほしい支援策について（複数回答）
※2023 年度より追加



⑫事業所内保育

１　調査方法

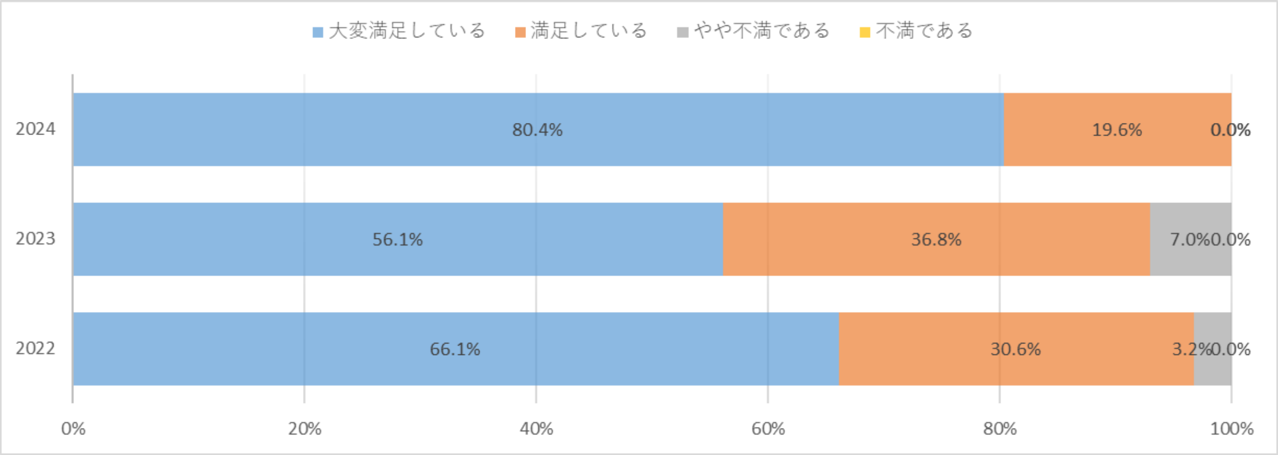
・2025 年７月、事業所内保育を実施している施設（20 箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集
・回収数 56／配布数 102（回収率 54.9%）

２　回答者の基本情報

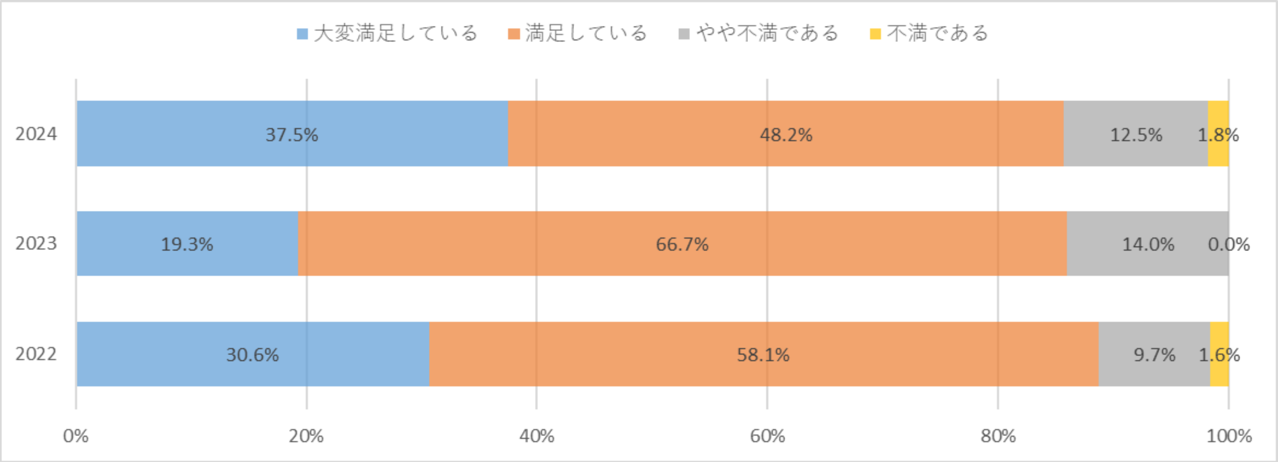
・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が６割弱、「パート」が３割強となっている。

３　調査結果

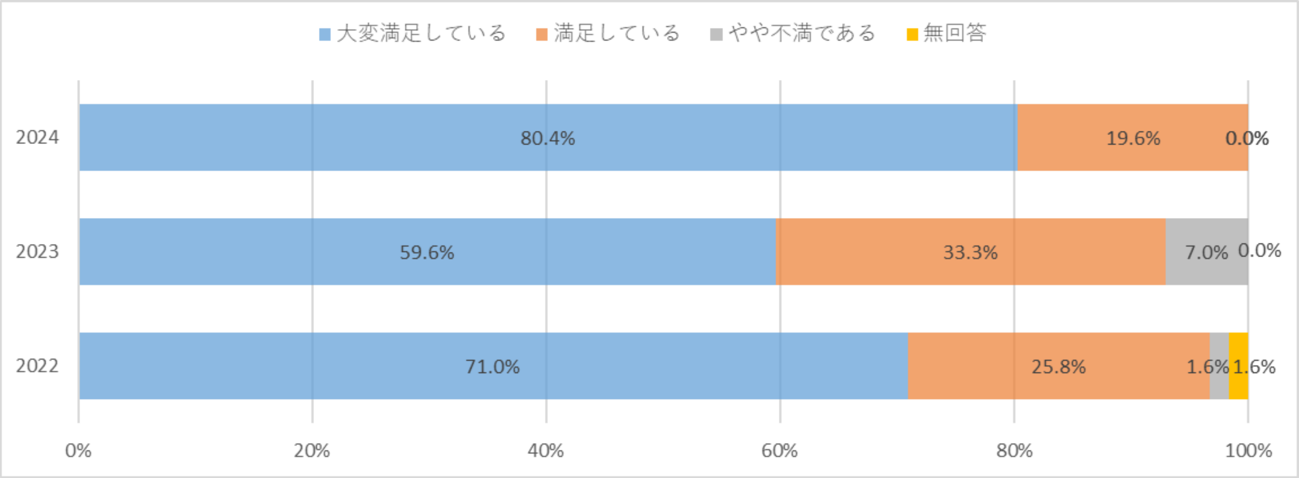
（１）保育内容全般



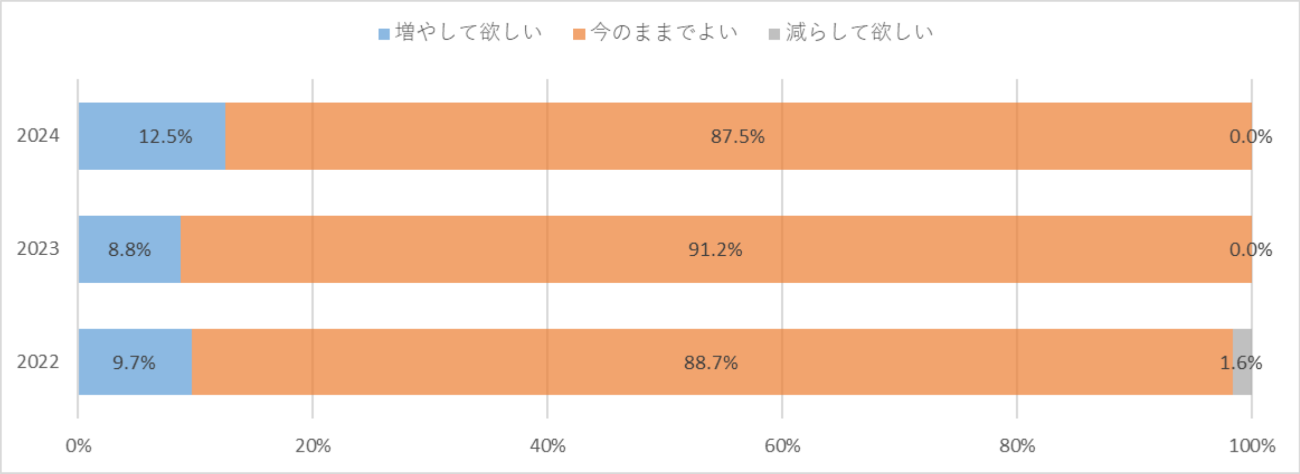
（２）建物や園庭などの施設



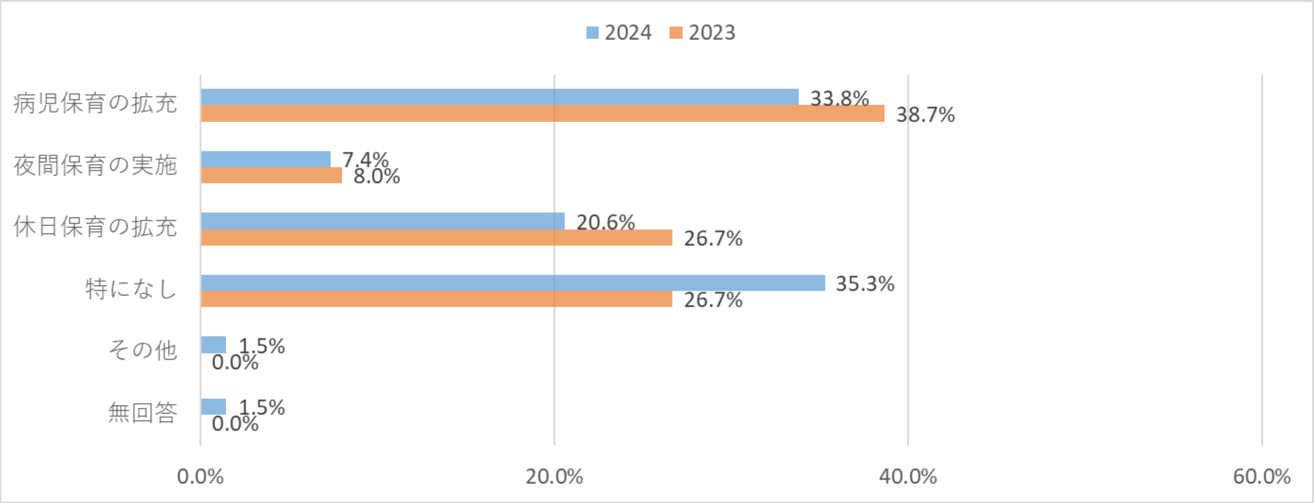
（３）職員の対応



（４）地域の親子との交流



（５）今後、特に充実してほしい支援策について（複数回答）　※2023 年度追加



⑬家庭的保育

1　調査概要

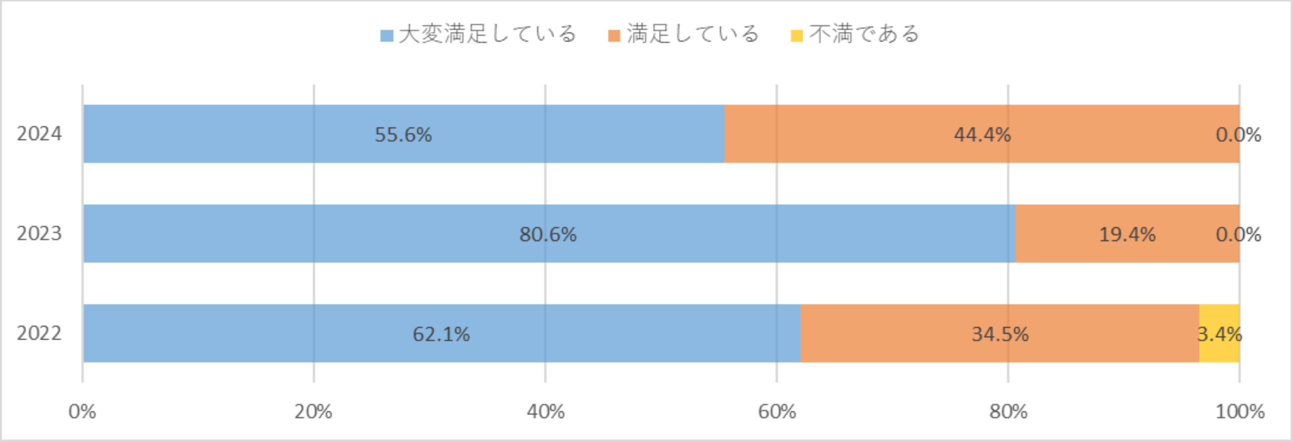
・2025 年７月、家庭的保育を実施している施設（18 箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
・二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集
・回収数 18／配布数 82（回収率 22.0%）

2　回答者の基本情報

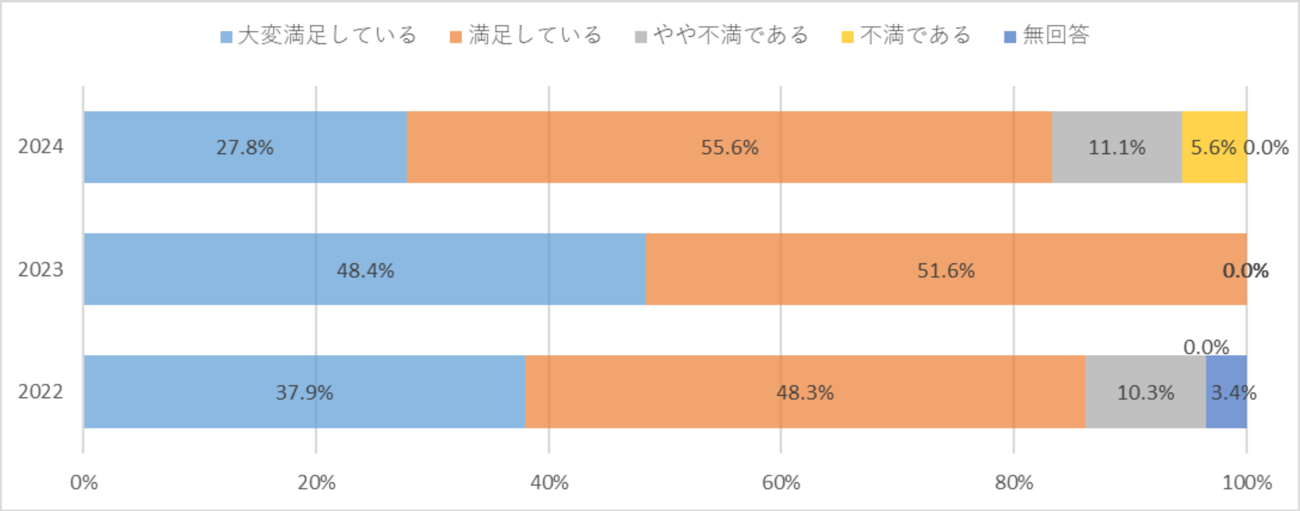
・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が４割程度、「パート」が３割程度となっている。

3　調査結果

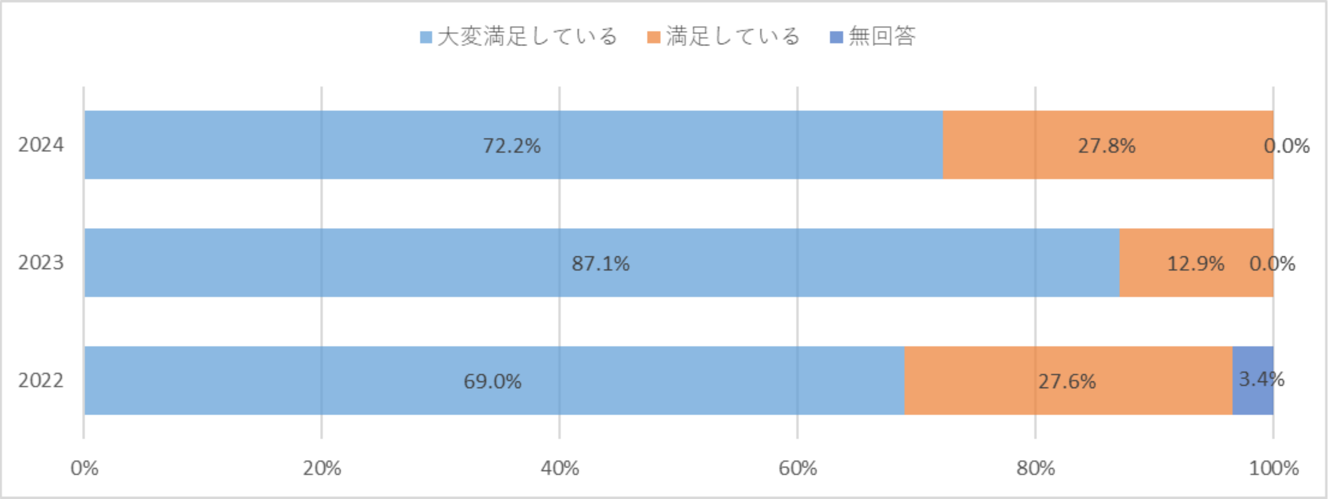
（１）保育内容全般



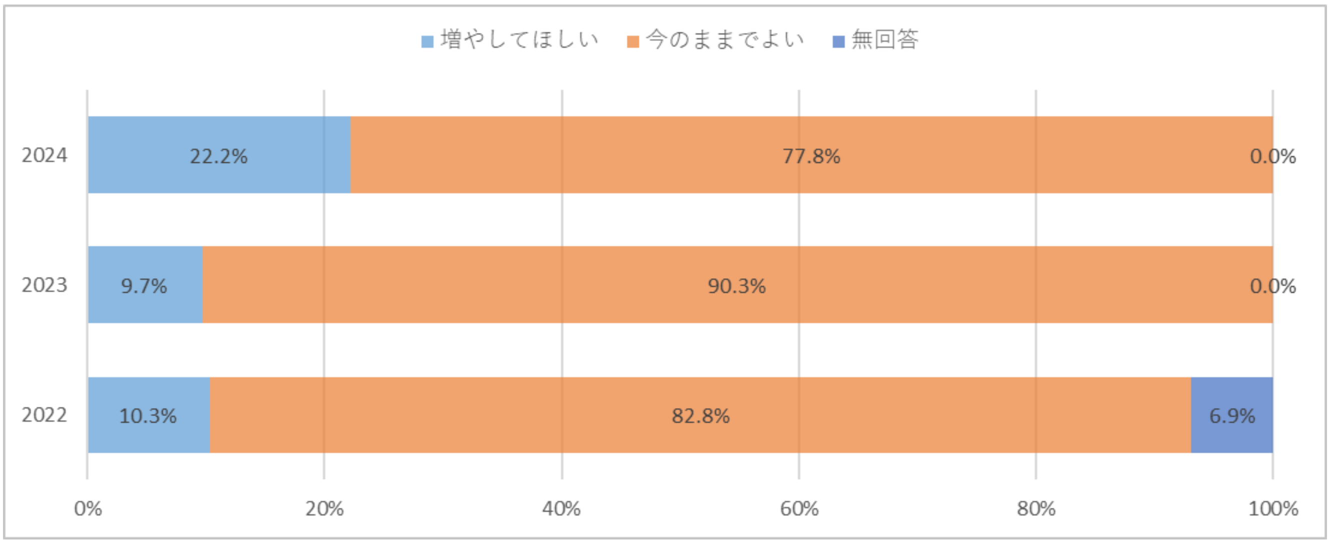
（２）建物や園庭などの施設



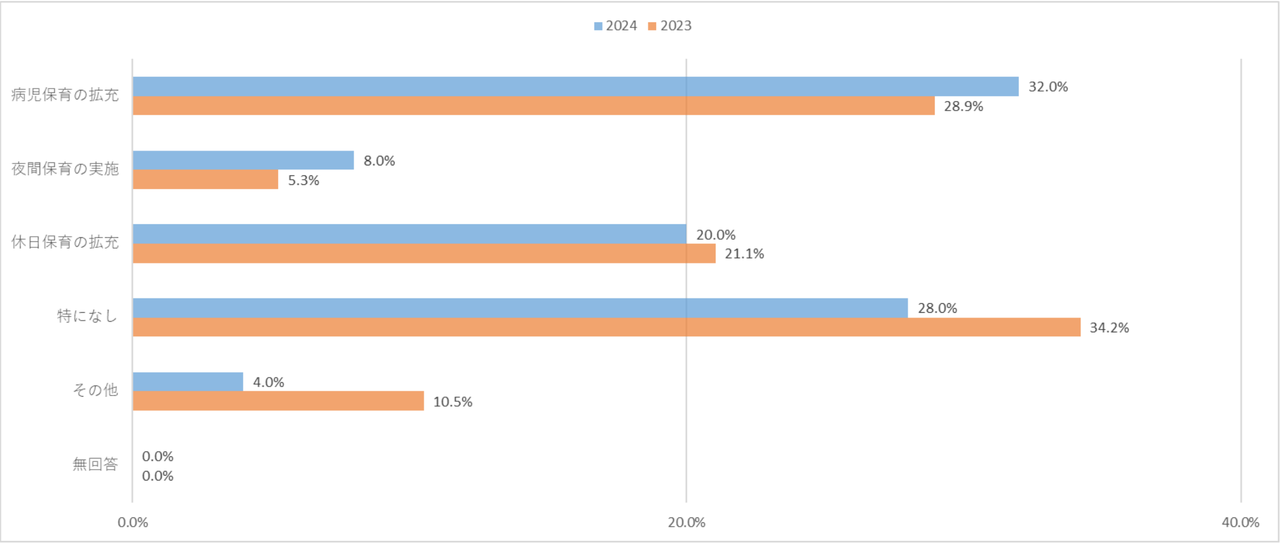
（３）職員の対応



（４）地域の親子との交流



（５）今後、特に充実してほしい支援策について（複数回答）　※2023 年度追加



⑭おやこふらっとひろば

1　調査概要

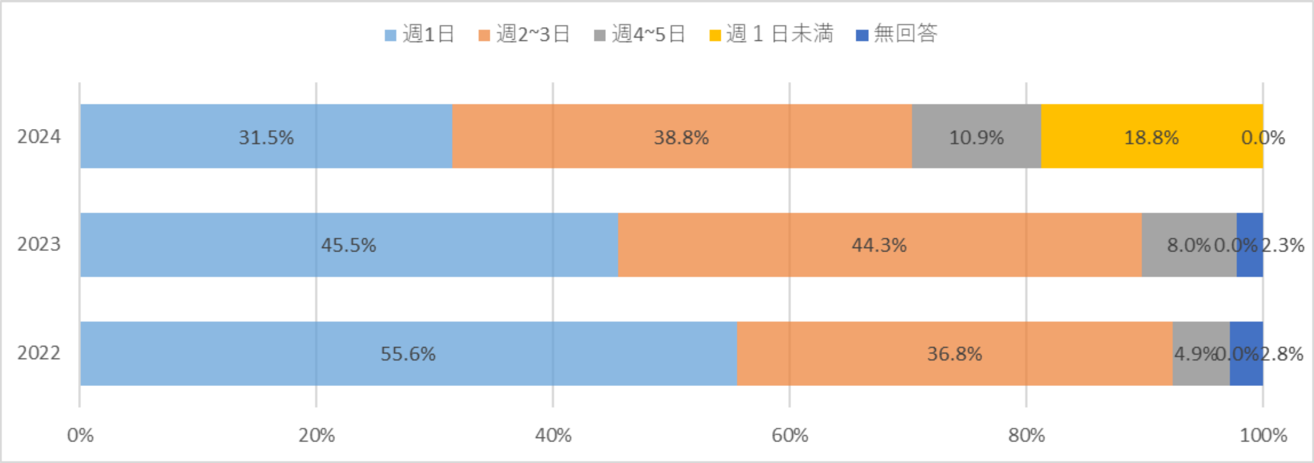
・2025 年 7 月、親子が気軽に立ち寄れる場所を提供している施設(10 箇所)で、調査期間中の利用者を対象に実施
・二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集
・回収数 165／配布数 268（回収率 61.6%）

2　回答者の基本情報

・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「働いていない」が５割強、「フルタイム」は４割弱となっている。

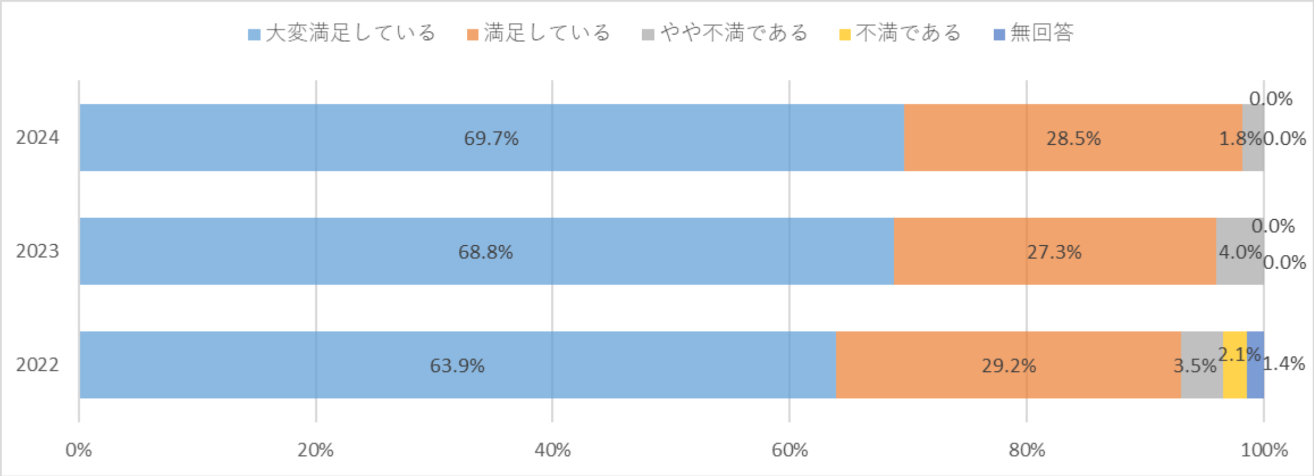
３　調査結果

（１）利用の頻度

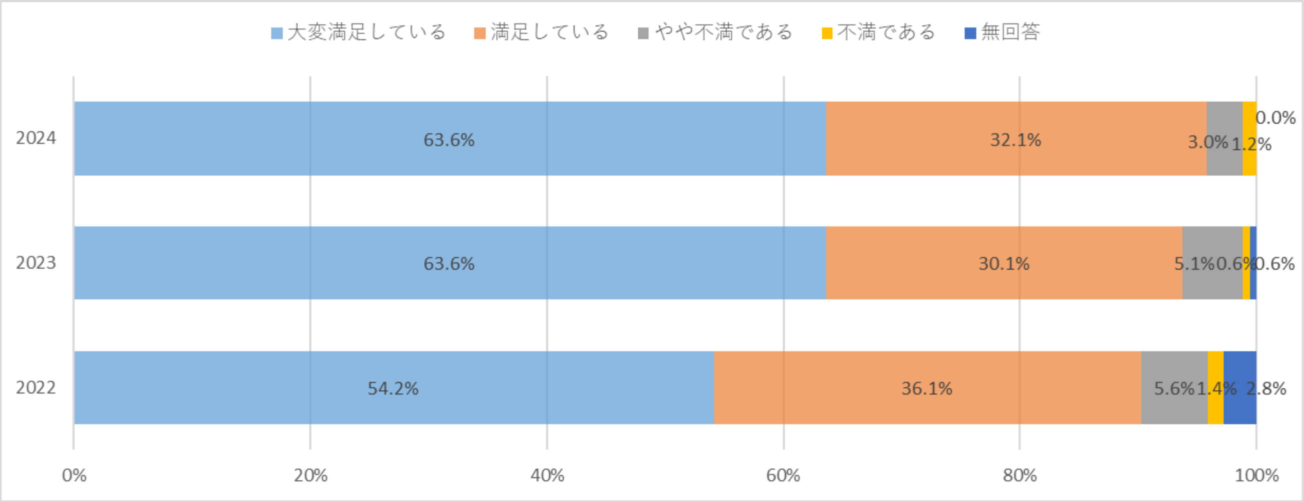


※「週１日未満」の選択肢は 2024 年度に新設

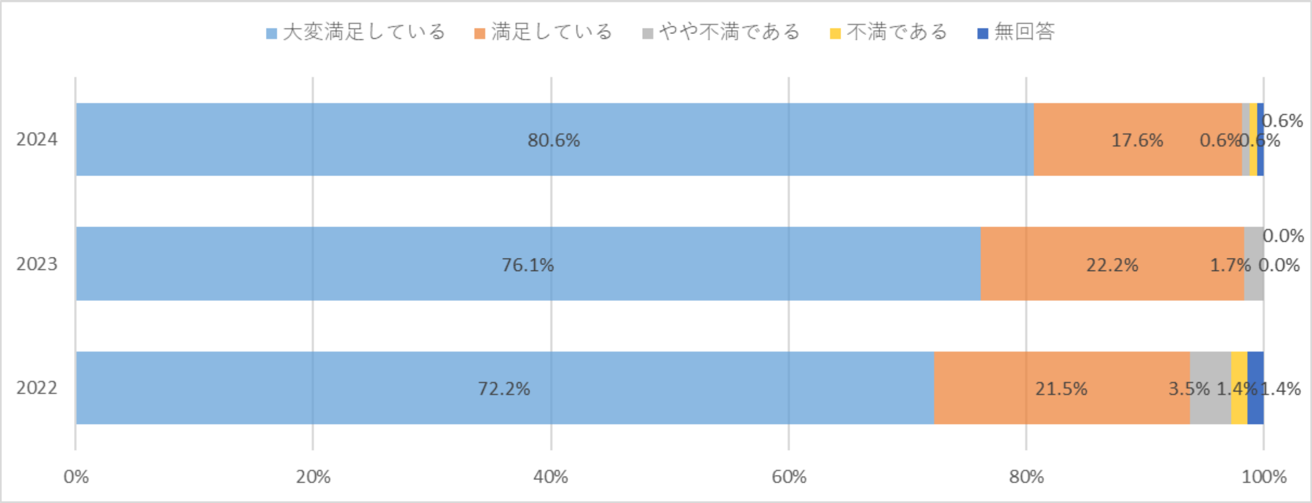
（２）サービス内容



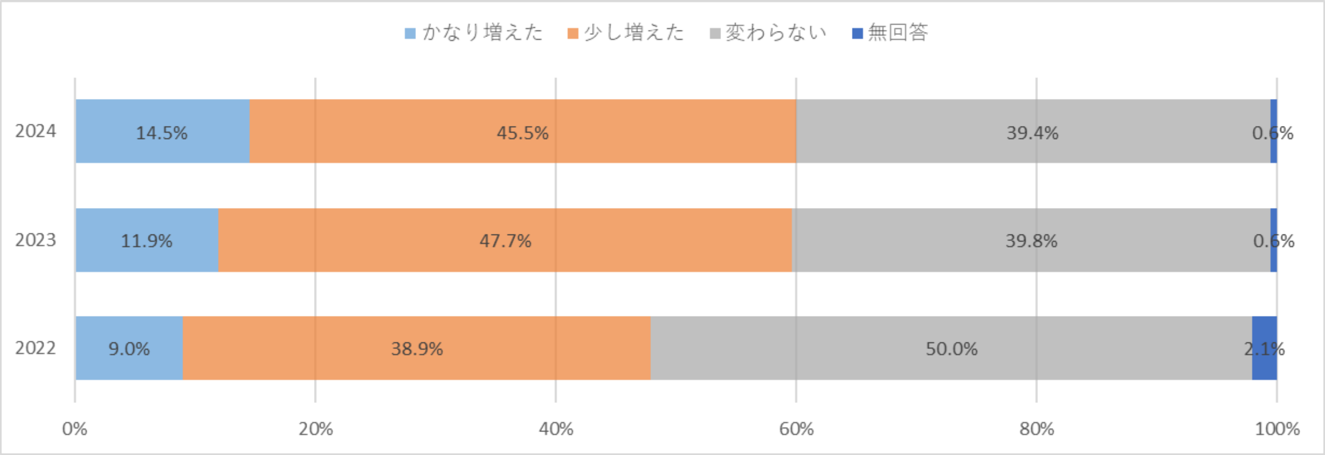
（３）施設



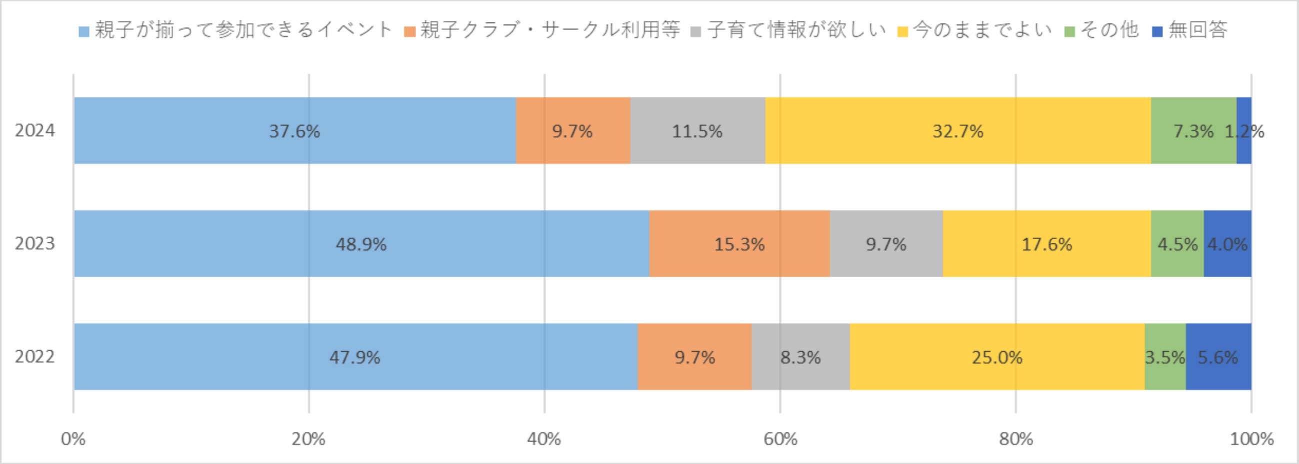
（４）職員の対応



（５）利用により新しい知人が増えたか



（６）「おやこふらっとひろば」で増やしてほしいサービス



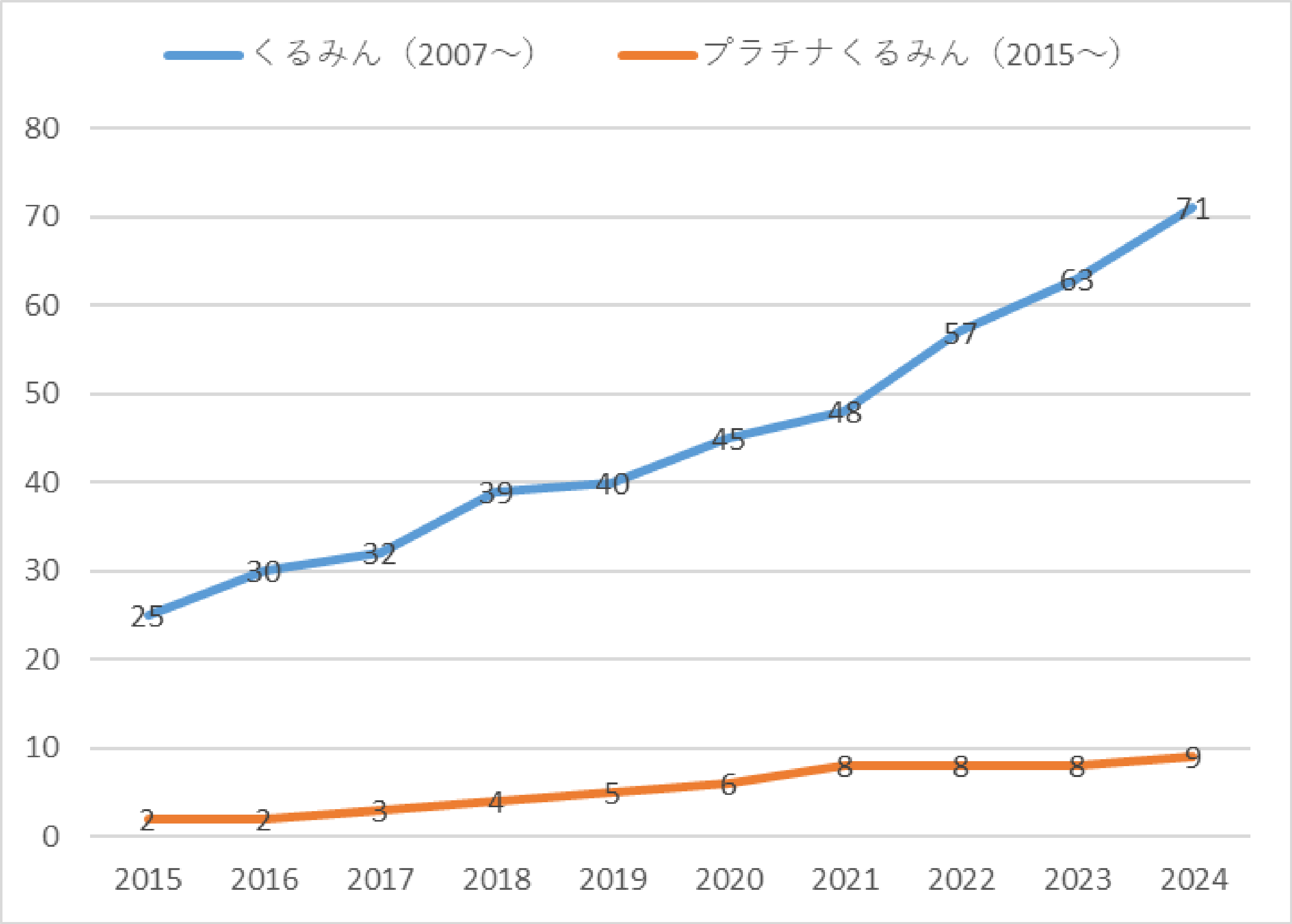
（５）「子育てしやすく働きやすい職場環境づくり」の状況

１　企業の認定制度

（１）次世代育成支援対策推進法に基づく認定・特例認定制度（兵庫労働局）

認定制度名	開始年度	概要
くるみん	2007	行動計画を策定し、一定の育児休業等取得率や、所定労働時間の短縮措置または始業時刻変更等の措置を講じているなどの認定基準を満たす企業が、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定を受ける制度。
プラチナくるみん	2015	「くるみん認定」を受けた企業のうち、男性労働者の育児休業等取得率や子どもを出産した女性労働者が継続して在籍している割合など、より高い基準を満たし、仕事と子育ての両立支援を継続的に行っている企業が特例認定を受ける制度。
トライくるみん	2022	2022 年４月に「くるみん」の男性の育児休業等・育児目的休暇取得率の認定基準の引き上げに伴い、旧来の「くるみん」認定基準を満たす企業を対象に 2022 年度から新たに創設された制度。
プラス認定	2022	上記３つの認定基準を満たしたうえで、不妊治療と仕事を両立しやすい職場環境整備に取り組む企業が認定を受ける制度。

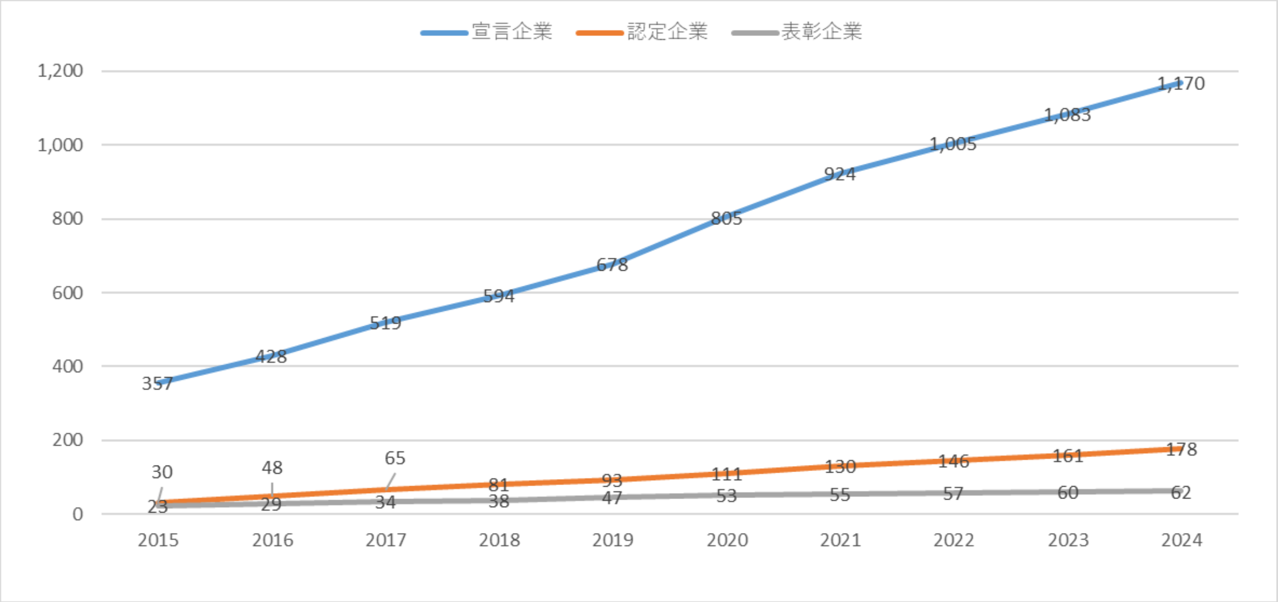
（参考）市内企業における過去 10 年間の推移



（２）ひょうご仕事と生活の調和推進企業認定制度（ひょうご仕事と生活センター）

認定制度名	開始年度	概要
宣言企業	2013	ワーク・ライフ・バランスに取り組み、推進することを、経営トップ自らが広く内外に意思表示した企業。
認定企業	2014	上記「宣言企業」のうち、仕事と育児の両立を支援する制度が整備されているか、年次有給休暇取得率の実績の状況等を踏まえた「ひょうご仕事と生活の調和推進企業自己診断」の総合評価が、センターが定める認定基準を満たし、センターから認定を受けた企業。
表彰企業	2009	多様な働き方の導入や、仕事と家庭生活の両立の促進など、「仕事と生活のバランス」の実現のために先進的な取組を実施している企業。

（参考）市内企業における過去 10 年間の推移



（３）ひょうご・こうべ女性活躍推進企業認定制度（兵庫県・神戸市）

職場における女性活躍の推進に向け、女性の登用・定着促進や多様な働き方の支援等に積極的に取り組む企業等を認定・公表する制度。

認定制度名	開始年度	概要
ミモザ企業	2022	女性活躍や多様な働き方に関する評価項目（20 項目）のうち、7 割（14 項目）以上達成している企業。2022 年度は市内企業 39 社、2023 年度は 25 社、2024 年度は 21 社を認定。
プラチナミモザ企業	2022	上記「ミモザ企業」のうち、上記評価項目を全項目達成し、かつ他社の手本になる女性活躍や先導的な取組を実施している企業。2022 年度は市内企業 1 社を認定、2023 年度、2024 年度は認定なし。
フレッシュミモザ企業	2024	上記評価項目のうち、4 割（8 項目）以上達成している企業。挑戦しやすい認定区分として 2024 年度に新設。2024 年度は 24 社を認定。

２　企業への支援制度（助成金・専門家派遣等）

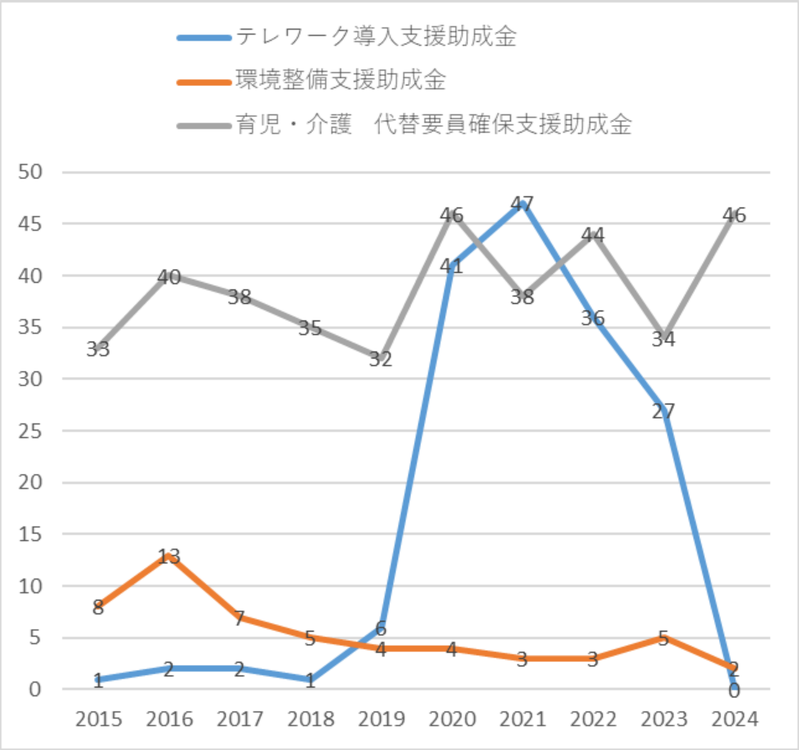
（１）兵庫労働局

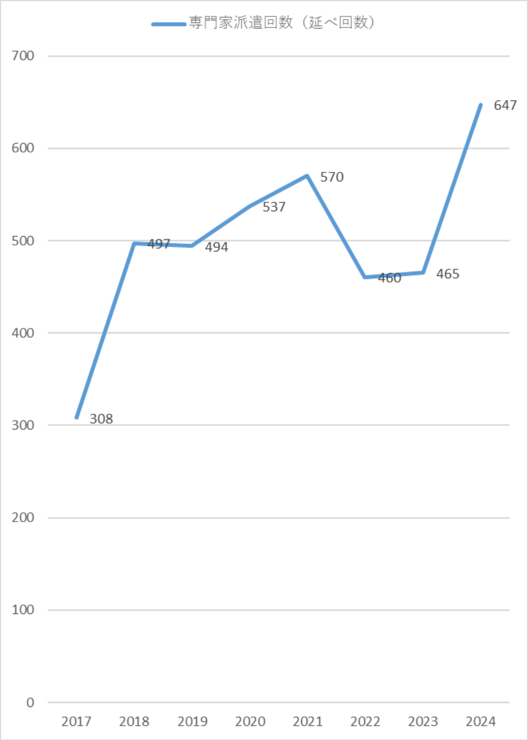
制度名称		開始年度	概要
両立支援等助成金	①出生時両立支援	2016	男性労働者が育児休業を取得しやすい雇用環境整備や業務体制整備を行い、男性労働者に子の出生後８週間以内に開始する一定日数以上の育児休業を取得させた事業主に対して助成。
	②育児休業等支援 （育休取得時・職場復帰時）	2013	「育休復帰支援プラン」を作成し、プランに沿って労働者に育児休業を取得、職場復帰させた中小企業事業主に対して助成。
	③育休中等業務代替支援	2024	育児休業取得者や育児短時間勤務を利用する労働者の業務を代替する周囲の労働者への手当支給等の取組や、育児休業取得者の代替要員の新規雇用を実施した中小企業事業主に対して助成。
	④柔軟な働き方選択制度等支援	2024	育児期の柔軟な働き方に関する制度（柔軟な働き方選択制度等）を複数導入した上で、「育児に係る柔軟な働き方支援プラン」に基づき、制度利用者を支援した中小企業事業主に対して助成。
	⑤不妊治療両立支援	2021	不妊治療と仕事との両立に資する職場環境の整備に取り組み、不妊治療のために利用可能な休暇制度や両立支援制度を労働者に利用させた中小企業事業主に対して助成。

（２）ひょうご仕事と生活センター

制度名称	開始年度	概要
テレワーク導入支援助成金	2013	働く人々の多様で柔軟な働き方を促進するために、中小企業の事業主が行うテレワーク環境の整備に要する費用に対して助成。
環境整備支援助成金	2013	女性・高齢者等の職域拡大や従業員のコミュニケーションを活性化させるために、職場環境整備に要する費用に対して助成。
育児・介護 代替要員確保支援助成金	2010	育児・介護休業の取得及び短時間勤務制度の利用を促進するとともに、休業者が職場復帰しやすい環境の整備に要する費用に対して助成。
専門家派遣	2009	企業が研修を実施する場合に専門家を講師として派遣。 また企業に対して、センターのスタッフや専門家を派遣し、「仕事と生活の両立」や「組織風土」等への実践的なアドバイス、継続的なフォローを実施。

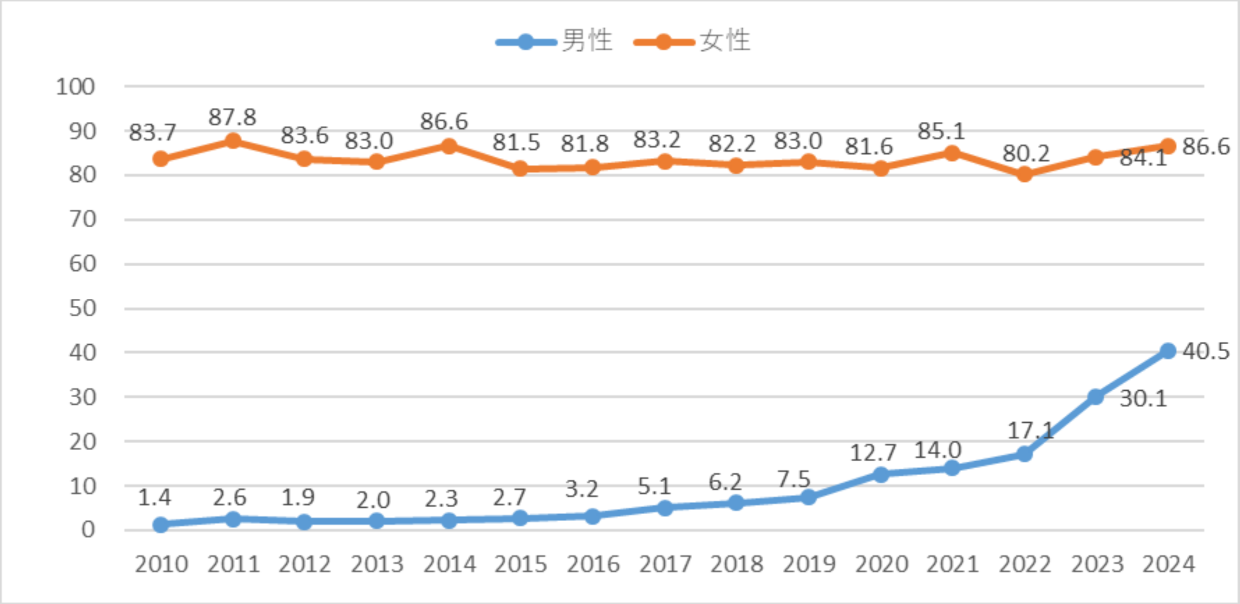
（参考）市内企業における過去 10 年間の推移



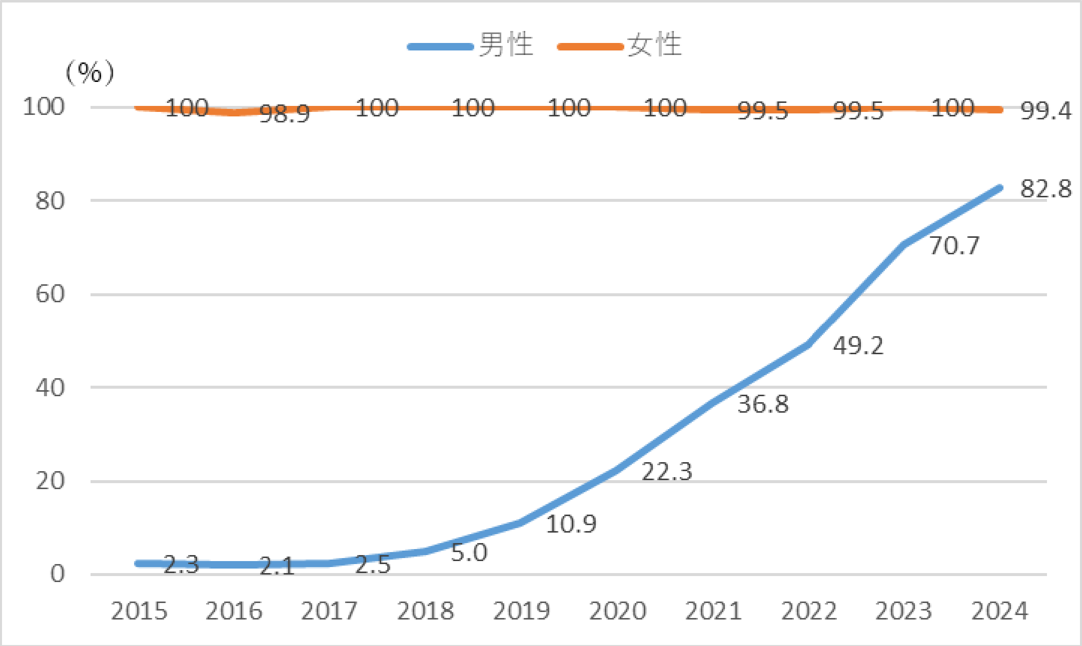


３　育児休業取得率等

（１）全国の企業と事業所における育休取得者の割合（雇用均等基本調査）

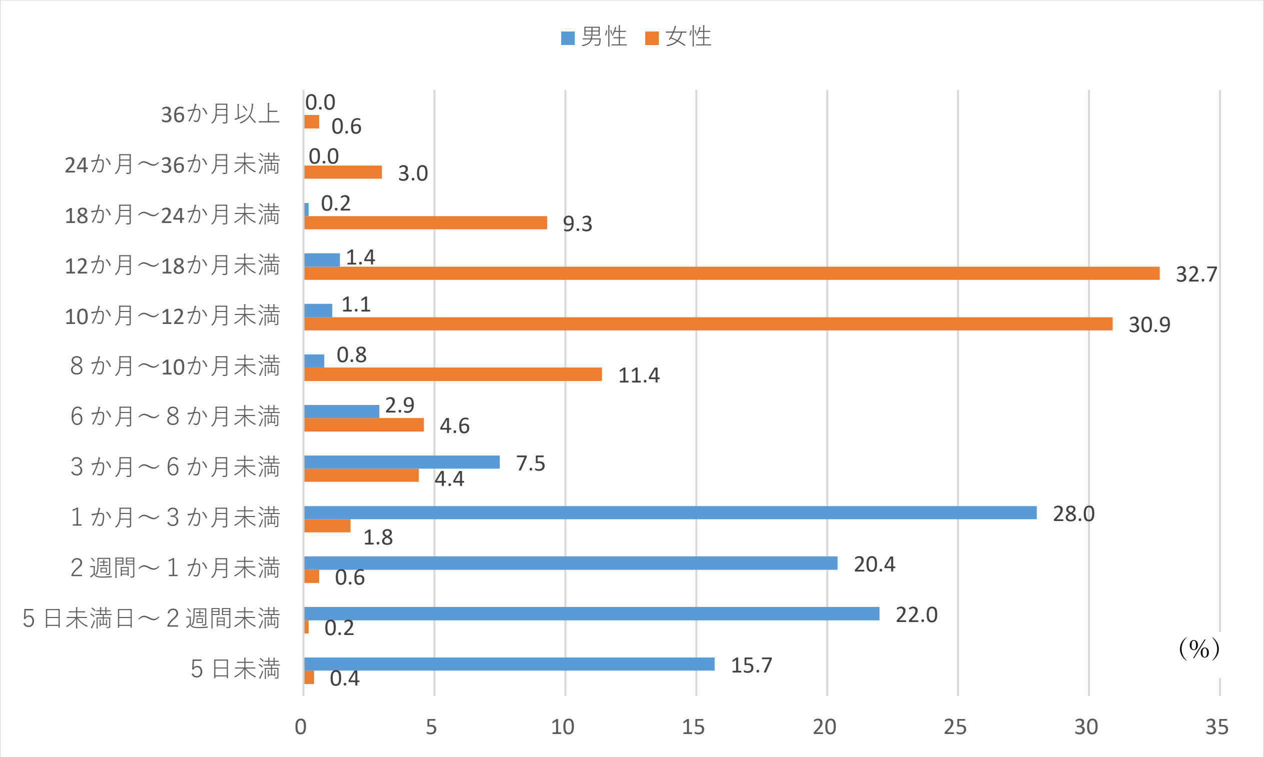


（２）神戸市職員（※）における育児休業取得率



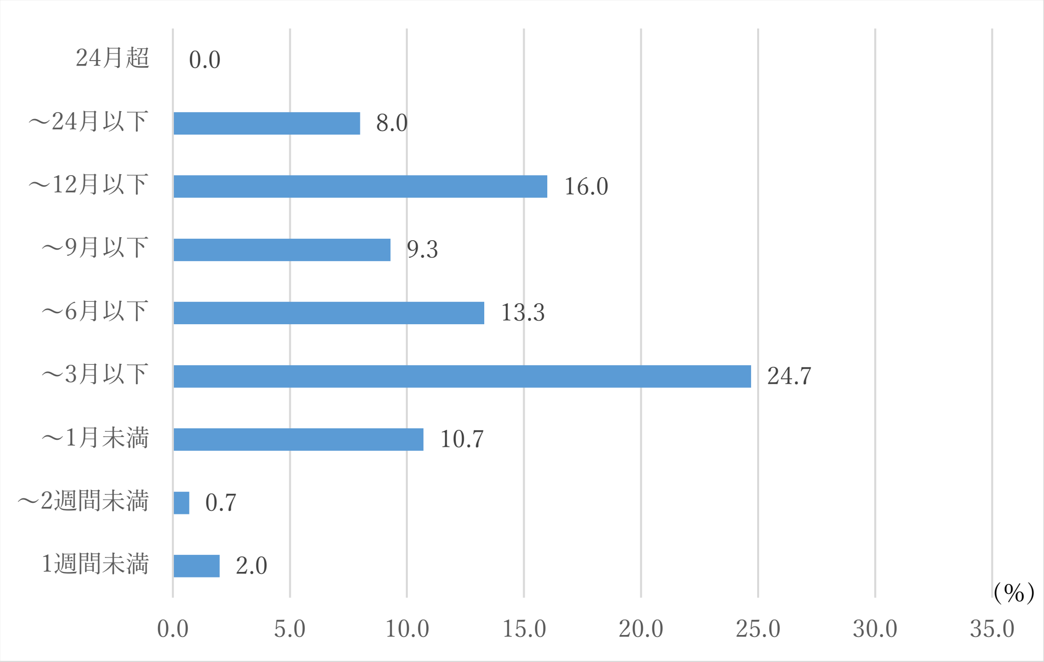
※学校園職員を含まない。

（３）全国の企業と事業所における育児休業取得期間内訳（雇用均等基本調査）



※令和５年度実績

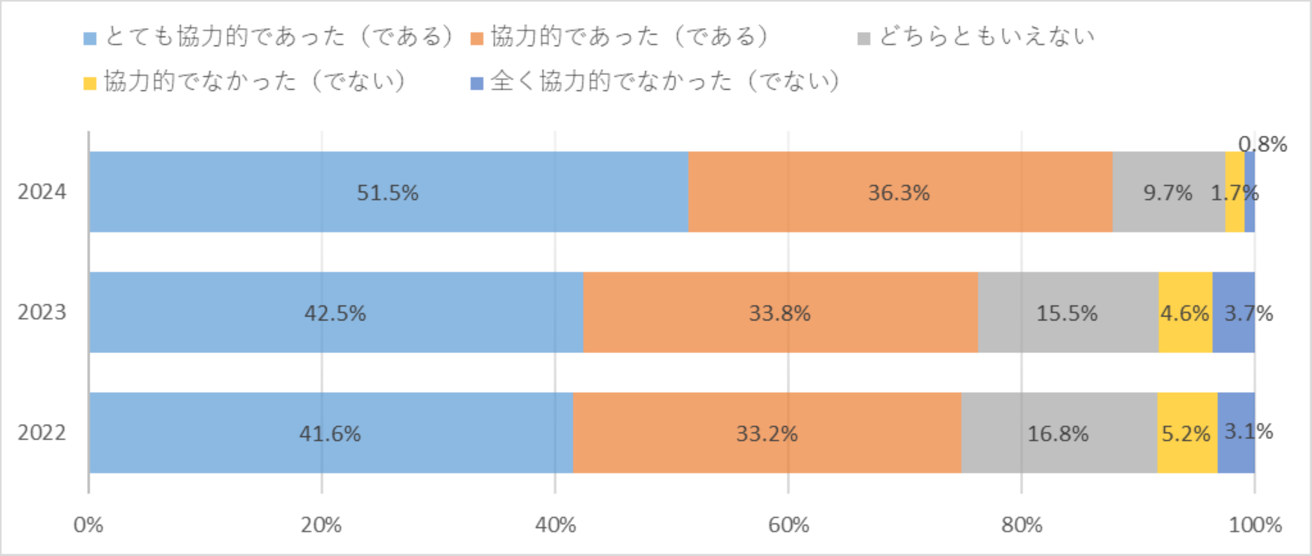
（４）神戸市男性職員（※）における育児休業取得期間内訳



※市長部局所属の職員のみ

（５）育児休業等の利用に関する職場の状況（市民（保護者）調査より引用）

育児休暇制度・短時間勤務制度の利用について、職場は協力的か。（2024 年度　n=237）



3　地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

本市事業名		指標（単位）		2023年度 計画値	2023年度 実績値	2024年度 計画値	2024年度 実績値
延長保育事業	量の見込み	実人数（人）		3,704	3,201	3,696	3,209
	確保方策			3,704	3,201	3,696	3,209
幼稚園預かり保育事業	量の見込み	延べ人数（人日）		866,537	791,877	854,451	771,178
	確保方策			866,537	791,877	854,451	771,178
一時保育事業	量の見込み	延べ人数（人日）		70,982	53,684	69,846	52,093
	確保方策			70,982	53,684	69,846	52,093
病児保育事業	量の見込み	延べ人数（人日）		20,754	14,542	20,704	14,503
	確保方策			25,680	34,080	25,680	37,872
保育サービスコーディネーター	量の見込み	箇所数（箇所）		12(16人)	12(15人)	12(16人)	12(14人)
	確保方策			12(16人)	12(15人)	12(16人)	12(14人)
子育てリフレッシュステイ事業	量の見込み	延べ人数（人）	ショートステイ	1,516	1,648	1,355	1,906
			デイサービス	1,632	1,352	1,484	1,375
	確保方策		ショートステイ	1,516	1,648	1,355	1,906
			デイサービス	1,632	1,352	1,484	1,375
地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター事業・大学と連携した子育て支援事業・児童館における親子館事業　等）	量の見込み	延べ人数（人日）		50,020	-	49,118	-
	確保方策	箇所数（箇所）		141	149	141	150
ファミリー・サポート・センター事業	量の見込み	週あたり延べ人数（人）		536	205	519	207
	確保方策			451	205	519	207
新生児訪問指導事業	量の見込み	実人数（人）		9,782	8,447	9,589	8,099
	確保方策	実施体制（人）		160	257	160	237
保健師による相談・指導	量の見込み	延べ回数（回）		2,139	2,310	2,168	2,537
	確保方策	実施体制（人）		58	171	58	180
産前産後ホームヘルプサービス事業	量の見込み	延べ回数（回）		3,062	2,155	3,368	4,372
	確保方策	実施体制（事業所）		17	12	17	12

本市事業名		指標 （単位）	2023年度		2024年度	
			計画値	実績値	計画値	実績値
養育支援ヘルパー派遣事業	量の見込み	延べ回数 （回）	201	210	216	262
	確保方策	実施体制 （事業所）	17	12	17	12
妊婦健康診査事業	量の見込み	妊娠届出数 （人）	10,801	9,333	10,588	8,584
		受診回数 （回）	136,093	111,757	133,409	106,554
	確保方策	実施場所 実施体制	産科婦人科医療機関・助産所			
放課後児童クラブ	量の見込み	小学１年生	5,654	5,364	5,767	5,402
		小学２年生	4,646	4,829	4,716	5,129
		小学３年生	3,644	3,921	3,692	4,128
		小学４年生	2,137	2,347	2,189	2,685
		小学５年生	802	1,081	811	1,245
		小学６年生	583	475	585	617
		合計	17,466	18,017	17,760	19,206
	確保方策		17,466	18,017	17,760	19,206

４．2024 年度　主な事業進捗状況

１．仕事と子育ての両立支援

保育所の地域の保育ニーズに適切に対応し、待機児童ゼロを維持しながら、こども誰でも通園制度の試行実施や病児保育事業の拡充を行った。放課後こども対策として、夏休み期間限定の学童保育受け入れを 20 施設で開始したほか、注文システム等で弁当などの昼食を提供できる事業者と提携し、学童保育施設 40 施設においてサービスを開始した。

２．妊娠・出産・子育て期の支援

見守り支援・親と子の健康確保増進として、こべっこウェルカム定期便を開始するとともに、産前・産後ホームヘルプサービス事業の利用期間・回数を拡充したほか、１か月児健康診査費用の助成を開始した。さらに、経済的負担の軽減として、市内在住の高校生等が市内高校等に通う場合の通学定期代を 2024 年９月より無料化した。

３．特に支援が必要な子どもたち・家庭への支援

社会的養育体制等の充実として、こども家庭センターの専門職を増員するなどの体制強化を行うとともに、児童家庭支援センターの増設、里親委託の促進等に取り組んだほか、発達相談支援体制の充実として、発達相談の待機期間短縮等を図る「こべっこ発達専門チーム」の対象地域を拡充した。

また、ひとり親家庭への支援、子育て世帯への食を通じたつながり支援や学びへつなぐ地域型学習支援に、引き続き取り組んだ。

４．地域における子育て支援・青少年の健全育成

北須磨支所の移転にあわせ、新北須磨支所内に「おやこふらっとひろば名谷」を新たに開設し、地域の身近なところで親子が集える場所の提供に向けた支援等を行った。青少年の居場所・活動拠点の機会を提供するため、青少年会館やユースプラザ、ユースステーション等を運営するとともに、こどもの居場所づくりに対する支援を継続した。

新たに全児童館へ「子育てチーフアドバイザー」を配置し、子育て相談に常時対応できるよう体制を強化するとともに、各児童館が特色を活かしながら、地域のニーズに合わせた子育てプログラムを実施した際の支援を行った。

また、小学校において、登校時刻前から児童を受入れ、見守りを行うことで、児童が安心して過ごせる環境を提供する早朝受入れを試行実施した。

５．幼児期の教育・保育の質の向上・小学校教育との連携

市内の公立・私立の保育所（園）、認定こども園等の職員の合同研修を実施するとともに、神戸大学と神戸市で共同研究を行う乳幼児保育研究部会において、市内の公立・私立の保育所（園）、認定こども園、幼稚園等が参加し、公開保育による実践研究を実施した。

また、こどもや教員・保育者間の交流、カリキュラムの交換等を促進することで幼児期と小学校以降の学びをつなぐ「幼保小の学びの接続事業」の取り組みを推進すべく、全ての幼児教育・保育施設がいずれかの小学校と連携・接続できる体制の構築に着手した。

６．子育てしやすい社会環境づくりと啓発

子育て支援施策について、「こどもっとＫＯＢＥ」等の媒体を活用し、市内外に発信したほか、今後取り組むべき子育て施策の目標・方向性を定める「神戸っ子すこやかプラン 2029」を策定した。ＳＮＳ等を活用した親目線の市内の魅力的な子育て情報の提供などに取り組んだ。

また、中学生以下の親子連れを対象に、土日祝日における市営駐輪場の一時利用料金を親子ともに全額免除とする「親子おでかけサポート制度」を導入した。さらに、市内に在住・通学している高校生を対象に、王子動物園や六甲山牧場など新たに市内９施設の入場料を無料とするなど、子育て世帯の外出支援に取り組んだ。